平成27年度授業評価実施結果についての概要

東京医療保健大学医療保健学部
助産学専攻科

〇本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については当該教員に配布し、記述内容を確認した後、調査結果に対する感想及び授業内容・方法への改善などの取り組みについて記述したレポートを各教員から直接各学科長等に提出することとしており、各学科長等は感想をまとめ学科長会議で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

〇授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため平成25年度から「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」について尋ねる記述式の質問を新たに加えております。

〇授業評価結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」のそれぞれの割合（%）により表記しております。
また、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する要望等」及び「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。

〇平成27年度の授業評価結果では「講義・演習科目」と「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合の前年度との比較でみるとポイントの高い順では、次のとおりです。

		前年度
・学生として、自分自身の授業態度について	81.2%	(79.2%)
・教員の姿勢について	76.6%	(75.2%)
・教員の教え方について	75.9%	(69.9%)
・授業内容について	74.6%	(72.7%)

〇授業評価結果の経年比較では、年度によって各項目のポイントに多少の増減が見られますが、授業評価実施の効果が確実に上がっており学生及び教員の双方に、良い結果をもたらしていると評価することができます。
これらの集計結果を公表することにより、授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容･方法の改善･充実がより一層図られるものと判断されます。

平成 27 年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本　すが

１．授業評価の結果について

○ 全科目平均よりも低めの得点であった項目については、真摯に受け止めたいと思います。

○ 平均以上の項目については、日頃の努力や工夫の成果であったと思い、これまでの努力や工夫の方向性が間違っていないと考えました。

○ 昨年の授業評価で点数が低かった項目や学生からの改善への指摘を受けたところを徹底的に見直し、改善を図った科目については、どの項目も平均を上回る高評価を得ており、その成果が反映されたものと受け止めています。

○ 同じ質問に対して、クラスによって評価の差が大きいものがありました。学生間の学力差、積極性の差が大きくなっているように感じます。

○ 満足度の高い学生とそうでない学生がいることは、実際の履修中にも感じ工夫や改善の努力をしたことと一致していると感じます。しかし、工夫や改善の努力が効果的でなかった学生も存在していたと理解しています。

○ 自由記載欄に、「アドバイスによって混乱することがあった」と記載がありました。方針となる指導の方向性は一致していますが、細かい指導についてはそれぞれの教員あるいは指導者の考えを学生に伝えているため、教務能力向上のための研修会での課題としていきたいと思います。

○ アクティブラーニングを取り入れた科目では、知識を記憶する学習方法から知識を使い考えて自分で答えを出す学習方法に切り替わり戸惑った学生も多かったです。答えは１つではないことが多いのですが、教員へ正解か不正解かを求める学生も多くいました。主体的に学び、考え続けられる力をつけるよう支援を行っていきたいと思います。

○ カリキュラム改正により新規開講した科目では、レジメが授業内に終了しないこともありました。授業構成を再考し、改善したいと思います。

２．授業において工夫した点について

○ 講義においては、最新のデータや制度を伝えるよう内容を更新しました。また、反転授業を含め事前課題を提示して予習を促すとともに、授業での質問に対して学生が発言しやすくしたり、アクティブラーニングにつなげることで、双方向・多方向の講義を実施し、学生が授業に主体的に取り組む機会を提供しました。事前課題については、講義時に課題の模範解答を配布したり、フィードバックを行い、知識の確実な理解を促しました。

○ 講義の順序や形態については、学生自身が調べて発表することから始めテーマに関心をもてるようにしたり、講義途中に視聴覚教材を使い学生の集中を喚起したり、視聴覚教材とワークシートを連動させ確実な理解を促したり、録画システムを用いて授業をネット配信する等工夫をしました。

○ 学習内容は実習で活用できるよう事例を設定しシミュレーション演習を行いました。グループワークや演習では、前年度の評価を反映させ学生が

わかりにくい内容については回数を増やしたり、学生が責任をもってチームでの作業に参加できるよう事前課題を提示したりグループを少人数にする、発表をポスターセッション形式とする、等の工夫をしました。

○ 中間または小テストを行い知識の確実な定着をはかるとともに、結果を講義内容に反映させ、学生の学修状況に応じた講義となるよう工夫しました。
レポートについては課題の意図を理解しやすいよう具体的な指示を心がけるとともに、個別にコメントをし学生の習熟状況に応じた指導を工夫しました。

○ 実習については、学生個々の既習授業の習熟状況や学習スタイルの特徴に応じて指導を行うとともに、臨地指導者や管理者と連携し、学生の達成状況に即した実習となるよう工夫しました。その他、評価の視点を事前に十分に説明し科目ごとの目標を理解できるようにしたり、特に重要と考える内容についてはカンファレンスのテーマとし、重点的に学べるようにしました。

○ 平成 27 年度からの新カリキュラム科目については、講義と技術演習及び実習とが往還するよう連動させた内容とし、教材や進行を工夫しました。また複数領域が協働で実施する科目においては科目の会議を重ね、見学実習先の臨地施設とも検討を重ねて、効果的な授業が展開されるよう工夫しました。

３．今後の授業への生かし方について

○ 学生からの評価のよかった点は継続しながら、興味のわく内容や授業、要点のわかる授業構成や説明の仕方を検討して、関連科目間で科目内容の構成を見直し、到達目標を明確にして、精選を図りたいと考えます。

○ 学生の準備性や多様なニーズに対応できるプログラム作成、学生が混乱した場合、言える環境を整備し、学生自身が混乱を解消できるようにわかりやすく話す、わかりやすい資料や授業内容等支援体制を検討していきたいと考えます。

○ 学生の関心を引きだし主体的な取り組みを促進するために、グループダイナミクスの活用や学生のモチベーションに働きかける工夫や教材やテーマの工夫等、具体的には事例を取り入れたり、小テストや中間テスト等のフィードバックを充実させていきたいと思います。

○ 個人ワークやグループ学習では、学生が受け身ではなく主体的に取り組む事ができるように、目的や方法の説明を十分に行い、学生が時間的余裕をもって取り組めるよう計画的に実施したいと考えます。

○ 実習については、学生個々のニーズを確認しながら共通の目標を具体的にしながら、思考力・探究力を含めた実践能力の獲得をめざしていきたいと考えます。

４．その他

○ 評価様式の質問によっては、学生の皆さんが答えにくいものや、学年によっては不要なものがあると考えています。このことについても、今後、検討していきたいと考えています。

平成27年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長
小西　敏郎

医療栄養学科では、社会で活躍できる優れた管理栄養士の育成を目指し、そして卒業時には学生全員が管理栄養士国家試験合格できることを目標に授業を行っています。そのために、学科の教員全員が、毎年学生による授業評価を参考にしながら、それぞれが授業の改善・工夫の努力をしてきています。今回の評価から、多くの学生は集中して授業に取り組めたものと判断していますが、さらなる改善を加えていく必要があると考えています。以下に教員の主な意見をまとめました。

１．授業評価に関しての感想

○ 多くの教師は予想よりも高い評価を受けたので、安心してさらなる改善に取り組む意思を表示している。しかし下記のような教師の意見もある。

・昨年よりも学生の評価点数が低い傾向にあるので、教育方法の改善が必要なのはもちろんであるが、学生の学習能力の低下もあると思われるので、それも考慮して授業の改善を図ってゆきたい。

２．授業において工夫した点について

○ これまで少なかった「アクティブラーニング」をもっと取り入れる必要があると、ほとんどの教師は感じており、授業の中に学生参加型スタイルを少しでも取り入れるように改善してきている。

たとえば、

・東京都食育フェアに全員参加するようにした。

・授業中に　Q&A 形式で学生が発言する機会を設ける。

・ミニテストを宿題形式として、次回の授業で学生が答えて、それを材料にして討論する。など

○ スライドよりも板書を重視した授業を行ってきた教師もいるが、「字が読み難い」「内容が理解しにくい」「ノートがとりにくい」との投書が多いことから、スライドとプリント配布に切り替えた。またプリントは重要な部分を空白にして、授業中に学生自身が書き込むようにすることや、重要か所はカラーや太字とすることなどで、学生の注意力・集中力を高めるようにしている。

○ 多くの教師は、できるだけシラバスに沿い、教科書に準ずる形で授業を行うようにしているが、以下のような工夫をしている。

・わかりやすい平易な言葉を使う。

・上から目線で教えるのではなく、一緒に学びましょう、との態度で教える。

○ 毎回の授業にミニテストを取り入れて、前回の授業を復習できるようにしている教員は多い。なかにはミニテストに、学生からの質問や希望を学生が書き込める欄をつくり、次回の授業でそれをとりあげることで解決を図っている。

○ 授業の終わりに「まとめ」を行うことで、学生の理解度が増してきているように感じており、このような形式の授業ごとの整理方法は引き続き行いたい。

３．今後の授業について

○ 自由記載で「レジュメがわかりやすかった」という意見もあった。評価が低い項目については、可能な限り改善し今後の授業計画や授業展開に反映したい。

○ 授業内容だけでなく、授業の時間配分にも厳しい意見が多数あり、授業進行を含め媒体なども再検討していきたい。

○ 教科書は最新のデータではなく数年前のデータで書かれているので、授業の前に最新データを調べて授業を行うようにしている。また医療政策の改訂に追いついていない教科書も多いので、国試勉強に支障のないように各省庁からの新政策内容をスライド、プリントで提示するようにしている。必ずしも追いついていない授業もあったので、気を付けたい。

○ 授業中の質問に対しては丁寧に答えているつもりであったが、学生から「十分な答えをしてくれていない」、「まったく答えていない」との指摘があった。教師もこの意外な指摘に当惑してはいるが、深く反省して改めることにしている。

○ 今回、学生から感想として書かれた指摘内容について授業中に直接学生に問いかけて、内容をより正確に把握して改善の参考にしたい。

○ 基礎学力が足りないことから授業の理解が不十分で不満をもつ学生がいるのも確かなので、そのような学生を早く見出し、理解できるように到達させる方法を考えていきたい。

４．学生に対して

○ 授業中に私語を交わす、居眠りする学生が少なくない。「授業がつまらない」、「わかりにくい」、「専門すぎる」、「なぜこの授業が自分に必要なのかわからない」、などが理由と思われるが、教員も学生がもっと熱心に授業を受けるようになればと授業の改善を考えているので、学生も具体的な改善点の希望があれば教師に伝えるようにしてほしい。
5 限目に限らず午後になると、集中力・気力が低下する学生が多いように思われるが、若い体力豊かな学生がそのようなことのないようにしてほしい。

○ 教員全員が、能力、意欲に大きく個人差のある学生諸君に対して、学生が学ぶことの楽しさや学び方に興味を持って取り組めるように熱意をもって授業改善に努めて取り組んでいる。学生諸君は、それをよく理解して、授業中に自分が理解できないことがあればみずから質問し、不満があればその都度教員に伝えてもらいたい。むしろ教員から学生諸君に質問はないか問いかけても反応がないことが多い。もし、授業中に質問するのは恥ずかしい、気後れがするようならば、授業終了後でも構わないので、どんどん質問し、また意見を述べてほしい。

平成 27 年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長
大久保　憲

１．授業評価結果アンケート結果の感想

〇科目の狙い通り、普段学べない内容で役立ったことが伺え、第一線の現場で働く人々からの話しは重要だと感じました。

〇医療会計や DPC 分析、企業や行政組織の見学については「役に立つ」とコメント欄に記載がありました。他方、「役に立たない」とコメントする学生もいましたので、引き続き学習する意味を伝え、興味を持って学習できるよう工夫していきます。

〇プログラム言語は、学生の就職に重要な科目です。特に、システム関連の企業や医療機関でアナリストとして仕事をする際に必要となる知識の基盤となる部分を含んでおります。

〇授業展開において、複数回の中間テスト、定期試験からは学生の理解度の 2 極化が進んでおり、特に十分な理解ができていない学生には、技術的側面についてさらにわかりやすく課題設定を行う必要があるように感じました。

〇成績が悪い学生には補講を行い、演習を多く取り入れ、宿題を出しました。その結果、単位を落とす学生は極端に減り、結果的にはよかったと考えております。

〇情報通信と保健医療では幅広い知識が得られたと看護学科、栄養学科にも好評でした。3 学科がそれぞれの立場で共通の学習を行い、それぞれの視点を共有するのはよい展開だと感じました。

〇ほぼすべての項目が平均点を超えていました。一方で、選択科目である臨床検査総論は平均点よりも低い項目が多く、また、全体的に科目の内容に興味を抱かせることができなかったことも予想されます。

〇学生からの意見において、検査機器を使う機会を増やしてほしいとの意見がありましたが、生理機能検査の回では、患者シミュレータや実際のスパイロメータ、患者モニタなどを使用しています。しかし、検体検査の機器については本学の設備的には難しく、また、本学科の学生が卒後それらの機器を操作あるいは、患者として実際に接する機会は皆無であり、そのような点でも機器それぞれの役割について、しっかりと伝えることができれば良かったと考えています。

〇試験を実施する科目や、必修科目の点数が低く、そうでない科目の点数が高いため、学生評価の難しさを感じました。

〇授業資料、小テストの改善を求められているので、授業準備時に工夫したいと思いました。

〇2 クラス展開の講義において、同じ講義を実施しているにも関わらず、一方のクラスはほとんどの項目が全科目平均を上回り、他方は下回るという結果になりました。この結果は、同じ内容でも学生、もしくはその集合によって満足度に差が出ることを示唆しており、教員は学生をよく知り、学生に応じて多様な対応をする必要があるように思われます。

〇授業内容を毎年更新しているが、例年の結果から大きく逸脱しておらず、従来通りの質で授業を実施できたのだと思います。

〇電子カルテシステムの体験については、学生が興味を持っている一方で、多様な画面を短時間で紹介するため、消化不良になっている可能性もうかがえました。

〇医事の基礎知識については、制度上の細かい知識を中心に据えざるを得ない面があり、病院運営にあまり関心のない学生にとっては、興味を持ちにくい可能性もうかがえました。

〇授業中の巡回について好意的な記載がありました(自由記述)。積極的に教員が学生の発言を促したり、質問を受け付けたりすることを好意的に感じていることが確認できて良かったです。

〇電子カルテクラス、医事クラスがそれぞれ 7 回しかないため、基礎知識を学ぶだけで授業が終わってしまい、十分に興味を持てていないことが調査結果からもうかがえました。

２．授業において工夫した点について

〇企業に出かけ、見学と講義を行い、新鮮な気持ちで学修に取り組めるようにしました。

〇シラバスの説明を授業 1 回目に行い、授業目標と進行、成績評価について理解を促しました。特に、授業進行は事前課題・事後課題の分量や推奨する学習時間も説明しました。

〇配布資料ではなく、重要な点を理解し、繰り返し学習するためにノートを取る機会を大きく増やしました。講義の進め方も、ノートを取る前に、すべて解説し理解を促した上で、ノートを記載してもらい、その後にもう 1 度全体を説明することとし、何度も同じことを時間をかけて説明することで理解を進める工夫をしました。この方法は多くの学生に有効であったことが独自に行っているアンケートでも確認できました。合わせて、プログラム言語Ⅰ、Ⅱを通して作成したプログラムはデスクネッツ上に置き、広く配布しました。

〇情報通信と保健医療では、オムニバスの講義形式であるため、質問の時間を多く取っています。そうすることで、他学科や上級生の考えていることが幅広く理解できると考えています。

〇前年度までの学籍番号順で 2 クラスに分けられていたものを、新入生ガイダンス内にコンピュータの取扱いに関するスキルチェックを実施し、その結果

に応じた 4 クラス編成の講義体制に切り替えました。本講義体制に切り替えることにより、少人数制の講義が可能となり、教員は学生の進捗状況や受講状況を容易に把握することが可能になると共に、教員と学生の距離も近くなることから、質問をし易い講義環境を作ることができました。

〇授業評価の結果は真摯に受け止めた上で、改善が必要と考えられる部分についてはより早期に改善を行っていきたいと思います。選択科目においては、学生が積極性を持って受講できるような内容を目指したいと考えます。

〇中間テスト等で学習レベルを事前に把握するようにしました。

〇診療情報管理士認定試験や通信教育レポート問題などを元に認定試験に近い形の小テストを作成しました。

〇わかりやすい資料、丁寧な説明、授業中に質問しやすい雰囲気作りを心掛けました。

〇3 年生科目では、実習による欠席を補てんするために、講義の録画を行い、Web から見られるようにしました。

〇情報技術力の個人差が大きいようだったため、予習のための資料を毎回 1 週間前に提示しました。

〇受講生が少人数の授業については、受講生の学習希望内容の聞き取りを行い、事前に掲示してあったシラバスと大きくはずれない範囲で対応しました。

〇他大学のピアレビューを経て、シムマンを用いた診療録記載体験を強化しました。学生からは「もっと使いたい」との声も出ており、さらに利用機会を増やすよう努力していきたいと考えています。

〇電子カルテクラスと、医事クラスの連携方法についても、他大学のピアレビュー時に案が出ており、平成 27 年度中には反映できませんでしたが、引き続き検討を進めてまいります。

〇「データベース論」の授業では、理論の説明と演習を組み合わせて授業を構成しています。平成 27 年度の授業においても、理論と演習がまるっきり分離してしまったり、演習が単なる操作方法の習得に終わってしまったりしないように、授業の順番などを工夫しました。最終課題は、授業で学んだことを活用して、自由に課題を制作させています。データベースを一から設計して作り上げることは簡単ではありませんが、各自興味のあるテーマを選ぶことでモチベーションをあげて課題に取り組めるようにしています。

〇「聞こえにくい」・「見えにくい」というコメントに対応するために話し方を変え、また音響機材や補助ディスプレイを導入することで対応しています。

３．今後の授業にどう生かすか

〇内容の理解度を上げるために演習問題を増やし、解説を行うようにしたいと考えています。

〇これまで、学習管理システムを用いて同一内容の練習問題や教材を提供指定しました。今後、学生の学習進度に応じた練習問題やその解説提示を行い、

学生の理解度向上を支援します。

〇2 極化が進む学生の状況において、すべての学生に同じ理解を促すことは困難であるため、理解度が十分でない学生には補講や他のサポートを行うことで引き続き対応しようと考えております。

〇すべての学生が前向きに学べるよう対話を行いながら授業展開いたします。

〇継続の科目がないが、学生目線でのフォローを心がけます。

〇小テストの問題形式に希望があるので、基本は診療情報管理士認定試験の形式を使用して、反映させていきたいと考えます。

〇学生の講義への満足度を目安とし、より良い講義作りに尽力していきたいと思います。

〇おおむね、良い評価が得られた授業については、同様の方針で今後も授業運営を続けていくこととします。

〇理解度・習熟度の個人差が大きいため、一律な説明や課題では、受講生には適さないかもしれません。課題の難易度を複数段階用意するなどの対応が必要かと思います。

〇新カリキュラムでは授業回数が増えるため、より体験的要素を強化する等の改善を図っていきたいと考えております。

〇昨年より「インタラクティブ・ティーチング」について勉強してきました。授業中に学生の主体的な学びを促す方法として「シィンク・ペア・シェア法」を次年度の授業では取り入れたいと思っています。また、シラバスを学習のツールとして活用するように、記述そのものを見直したり、学生へのアナウンスを工夫したりしてみたいと思います。

４．その他

〇シラバスを授業の実態に近づける工夫が必要と感じます。

〇集計値(結果)は、平均の他に度数分布も知らせていただくことは可能でしょうか。高評価群と低評価群に値が分かれる二極分布なのか、平均値付近に値が集まっている正規分布なのか、分布とコメントをあわせて改善のヒントにしたいと感じています。

〇今、学んでいる知識をどのように活用するか？それがどのように他の知識と関連するかについて幅広い話を授業の中に取り入れたいと思います。

〇クラスの間の比較や全科目平均との比較のために、レイダーチャートなど一目で確認できる集計方法をぜひご検討いただきたいと感じました。

平成 27 年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

助産学専攻科長　坂本　すが

１．授業評価に関して

１）助産学専攻科の科目全体において、4.0 以上の評価でした。学生が自ら評価する意欲的に授業に出席したかどうかの項目では、学生の出席率が高い点になっていました。学生にとってより重要である「授業内容がよく理解できたか」という評価も同様でした。

２）幅広い知識や技術を得るために、医師や多分野の講師による授業展開、また、授業の一環としてセミナーや学会に参加する等を盛り込むことで周産期医療の最新の動きを理解することに繋がっていると考えています。

３）教員の姿勢については、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱなど、課題に対してグループワークが多く、多くの時間を費やすが実際の記録の方法は学ぶのが難しいや教員による指導の違いがある等の評価をいただきました。今後も学生が授業を理解し、意欲が持てるように、さらに、分かる授業を目指していきます。

４）実習前の事前課題が実習に取り組むために効果的であったと感想があったため、今後も継続していきたいと考えます。

２．授業において工夫した点について

１）授業等では、授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせて具体的な支援方法について教員間であらかじめ詳細にすり合わせをして授業に臨むことを継続しています。

２）演習形式の授業は、学生の理解度が図れるように、デモンストレーションや質問への対応などのため、複数の教員で対応しています。

３）授業ごとに学生の意見、感想を聞き、それを資料などに反映させています。

４）学生の実践力を高めるために、シナリオディベイトなどを導入して、実践の中から学生の聞く力や伝える力、考える力などの育成に反映させています。

３．今後の授業について

授業や実習の評価を分析し、課題やグループワークの持ち方など、教員間での授業や実習などの教育目標や指導方針を十分に共有して、よい授業・教育が行えるように発展させていきます。

４．学生に対して

○ 教員は学生が将来において問題を抱えたとき、自ら考え行動できる能力を培える教育を探求し、実行していきます。

○ 助産学専攻科においては、大学を卒業し、すでに看護師の国家試験に合格し、国家資格を持った方々を対象として、助産師を育成しております。
助産学の修得には、大変な分娩介助実習等の壁を越えなければいけませんが、そのためにも学生の皆さんには学びに対して自立した姿勢が求められます。一緒に頑張っていきましょう。

○ 今後も学生が助産師として自ら考え行動できる能力を培える教育を行ってまいります。

平成27年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数　340科目　○調査対象者数　24,002人（延人数）
○総回答数　20,563枚（回答率 85.7%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉
〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の授業態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)態度はよかったと思うか。	(39.5) 41.2	(36.5) 38.5	(18.1) 17.1	(2.7) 2.3	(0.7) 0.5	(2.5) 0.4	(100) 100
2(2) 出席率はよかったと思うか。	(62.1) 60.1	(23.4) 26.0	(11.4) 11.8	(1.4) 1.4	(0.4) 0.5	(1.3) 0.2	(100) 100
3(3) 積極的に取り組んだと思うか。	(39.0) 40.2	(37.0) 37.8	(20.2) 18.8	(2.2) 2.5	(0.5) 0.5	(1.1) 0.2	(100) 100
計	(46.9) 47.1	(32.3) 34.1	(16.6) 15.9	(2.1) 2.1	(0.5) 0.5	(1.6) 0.3	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)に興味・関心が持てたと思うか。	(35.2) 34.8	(39.8) 40.7	(20.1) 19.5	(3.0) 3.4	(0.9) 1.1	(1.0) 0.5	(100) 100
5(5) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(28.4) 29.2	(40.5) 41.4	(24.3) 23.3	(4.2) 4.4	(1.2) 1.2	(1.4) 0.5	(100) 100
6(6) この授業(実習･実験)内容は将来役立つと思うか。	(37.5) 40.8	(36.7) 37.0	(19.5) 18.1	(2.5) 2.6	(0.9) 1.1	(2.9) 0.4	(100) 100
計	(33.7) 34.9	(39.0) 39.7	(21.3) 20.3	(3.2) 3.5	(1.0) 1.1	(1.8) 0.5	(100) 100
Ⅲ　教員の教え方について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(7) 授業(実習･実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。	(29.4) 39.8	(36.5) 37.5	(25.6) 19.0	(4.1) 2.2	(1.7) 0.8	(2.7) 0.7	(100) 100
14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(38.4) 37.6	(35.5) 36.8	(20.6) 20.8	(2.7) 2.7	(1.0) 1.2	(1.8) 0.9	(100) 100
計	(33.9) 38.7	(36.0) 37.2	(23.1) 19.9	(3.4) 2.4	(1.4) 1.0	(2.2) 0.8	(100) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15(10) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(39.5) 40.3	(35.8) 37.3	(17.8) 17.8	(2.3) 2.7	(1.0) 1.2	(3.6) 0.7	(100) 100
16(11) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(42.8) 41.9	(34.5) 36.4	(17.4) 17.2	(1.9) 2.2	(0.8) 1.1	(2.6) 1.2	(100) 100
17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(36.8) 36.0	(36.1) 37.9	(21.0) 20.2	(3.0) 3.4	(1.1) 1.6	(2.0) 0.9	(100) 100
計	(39.7) 39.4	(35.5) 37.2	(18.7) 18.4	(2.4) 2.8	(1.0) 1.3	(2.7) 0.9	(100) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18(13) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。	(34.0) 34.5	(35.3) 37.7	(19.6) 19.3	(2.9) 3.0	(1.9) 1.4	(6.3) 4.1	(100) 100
全質問項目の平均	(38.6) 39.7	(35.6) 37.1	(19.6) 18.6	(2.8) 2.7	(1.0) 1.0	(2.4) 0.9	(100) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

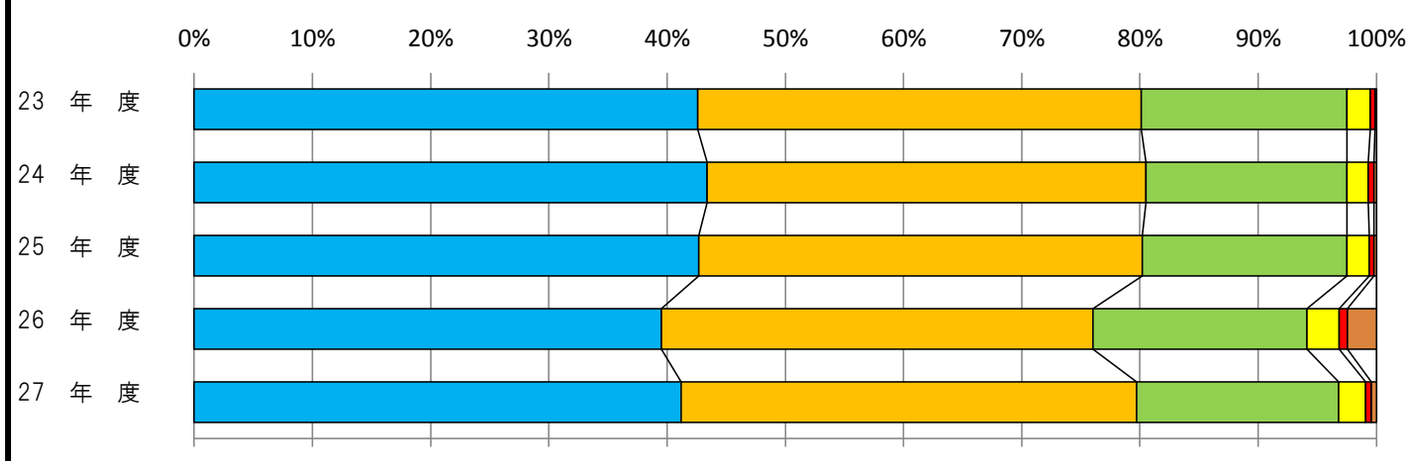
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	317科目	324科目	314科目	327科目	340科目
調査対象者数	29,104人	29,322人	25,791人	25,157人	24,002人
総回答数（回答率）	19,868枚（68.3%）	19,599枚（66.8%）	20,937枚（81.2%）	22,510枚（89.5%）	20,563枚（85.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

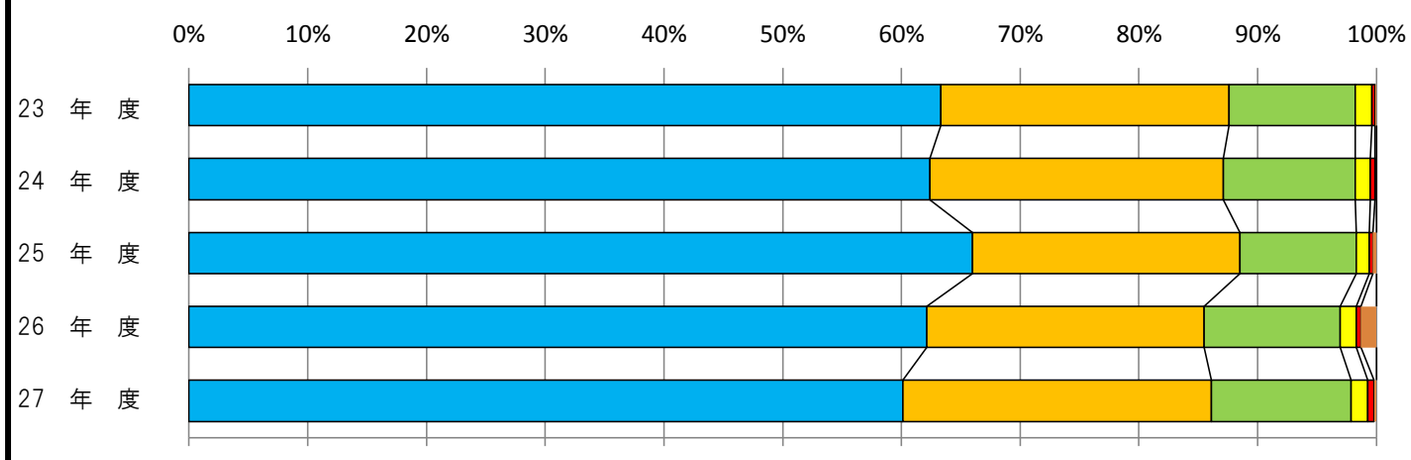
Ⅰ 学生として、自分自身の授業態度について

1(1) 授業(実習･実験)態度はよかったと思うか。



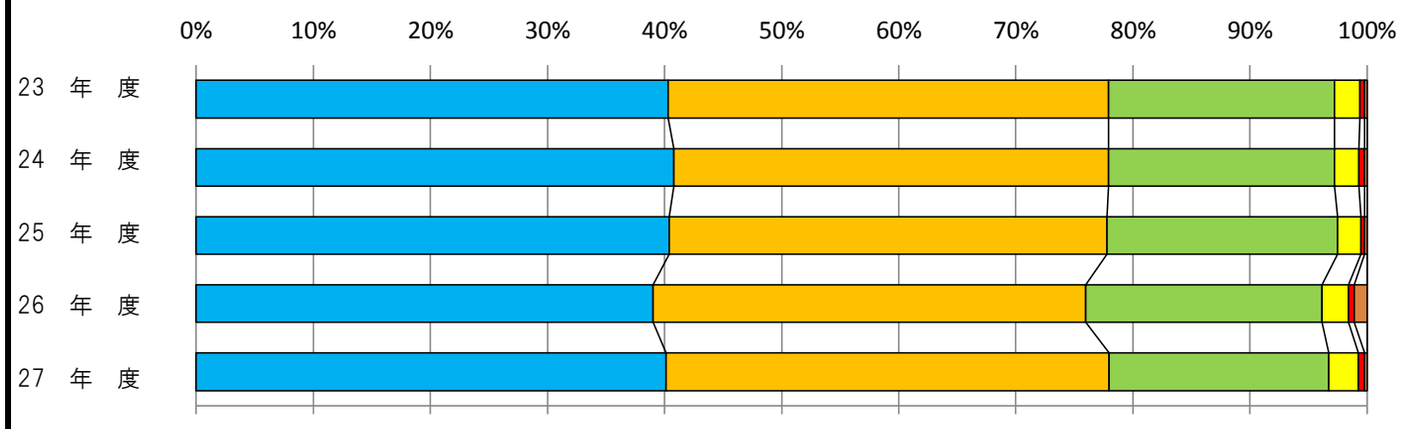
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.6	37.5	80.1	－
43.4	37.1	80.5	＋ 0.4
42.7	37.5	80.2	△ 0.3
39.5	36.5	76.0	△ 4.2
41.2	38.5	79.7	＋ 3.7

2(2) 出席率はよかったと思うか。



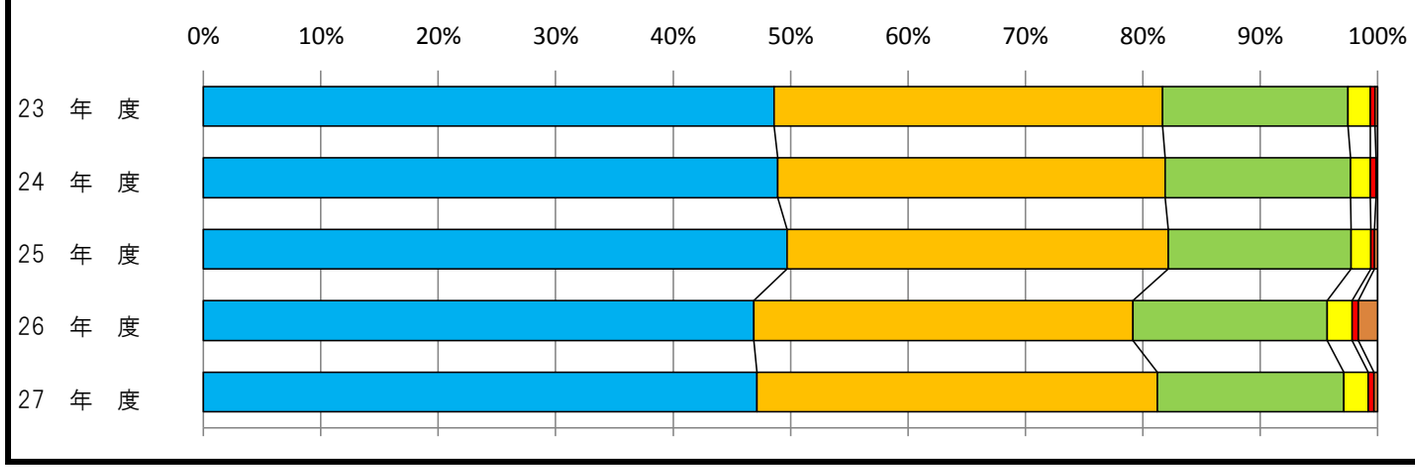
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.3	24.3	87.6	－
62.4	24.7	87.1	△ 0.5
66.0	22.5	88.5	＋ 1.4
62.1	23.4	85.5	△ 3.0
60.1	26.0	86.1	＋ 0.6

3(3) 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.3	37.6	77.9	－
40.8	37.1	77.9	0
40.4	37.4	77.8	△ 0.1
39.0	37.0	76.0	△ 1.8
40.2	37.8	78.0	＋ 2.0

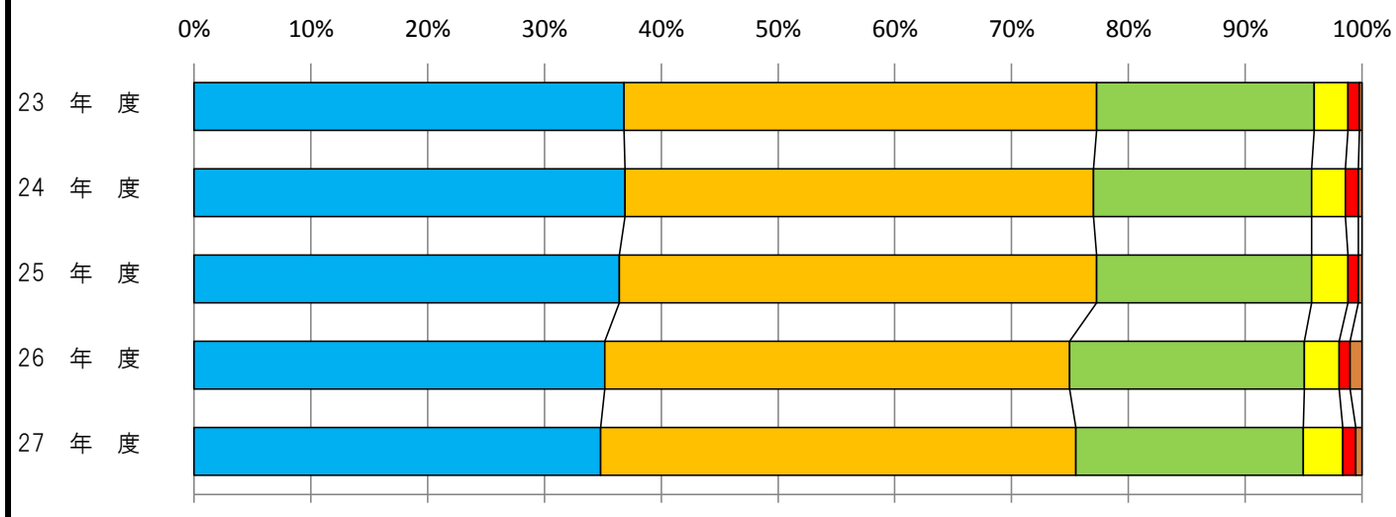
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3)）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.6	33.1	81.7	－
48.9	33.0	81.9	＋ 0.2
49.7	32.5	82.2	＋ 0.3
46.9	32.3	79.2	△ 3.0
47.1	34.1	81.2	＋ 2.0

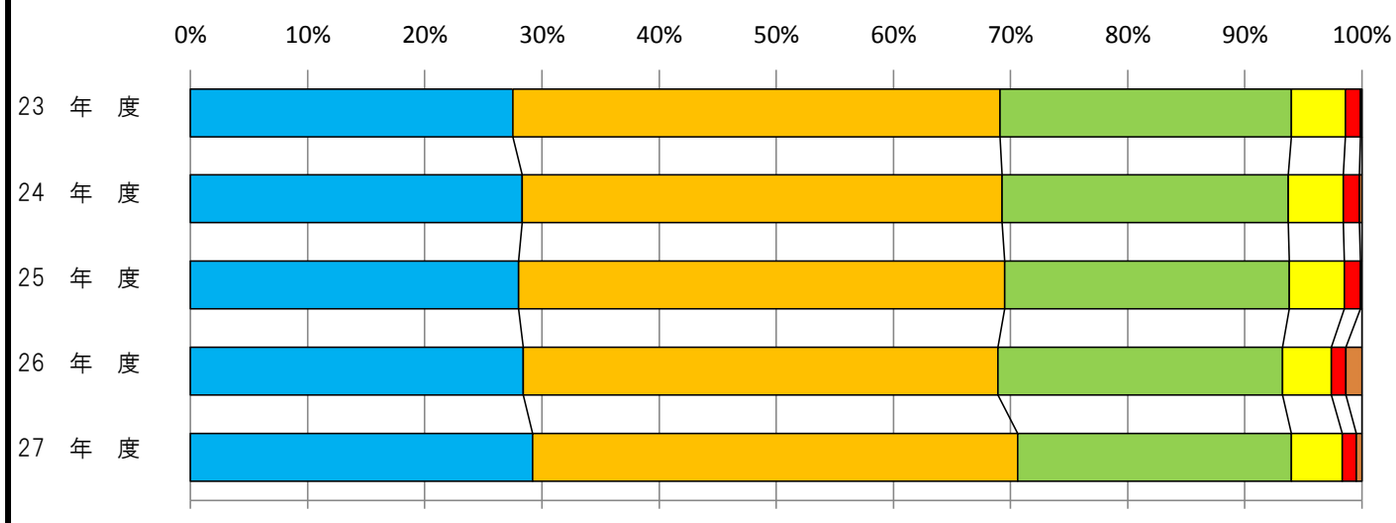
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)に興味・関心が持てたと思うか。



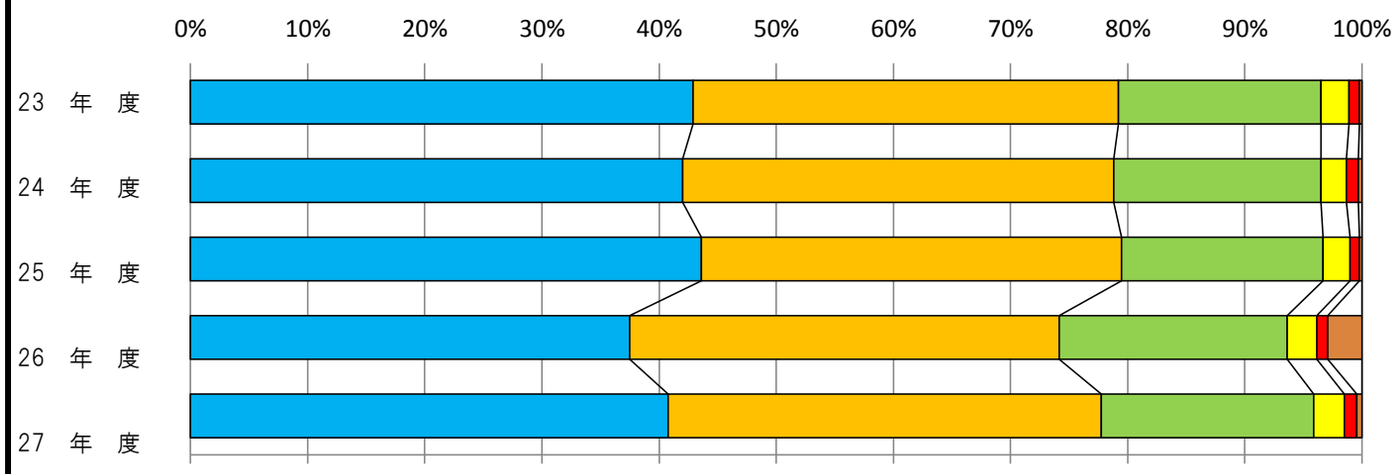
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.8	40.5	77.3	－
36.9	40.1	77.0	△ 0.3
36.4	40.9	77.3	＋ 0.3
35.2	39.8	75.0	△ 2.3
34.8	40.7	75.5	＋ 0.5

5(5) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



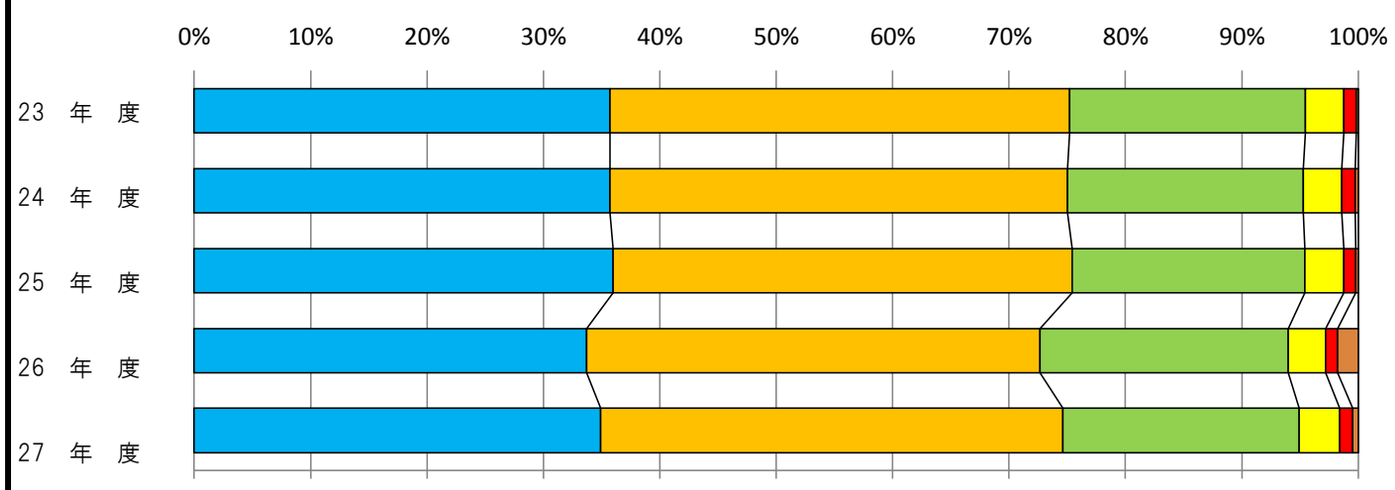
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
27.5	41.6	69.1	－
28.3	41.0	69.3	＋ 0.2
28.0	41.5	69.5	＋ 0.2
28.4	40.5	68.9	△ 0.6
29.2	41.4	70.6	＋ 1.7

6(6) この授業(実習･実験)内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.9	36.3	79.2	－
42.0	36.8	78.8	△ 0.4
43.6	35.9	79.5	＋ 0.7
37.5	36.7	74.2	△ 5.3
40.8	37.0	77.8	＋ 3.6

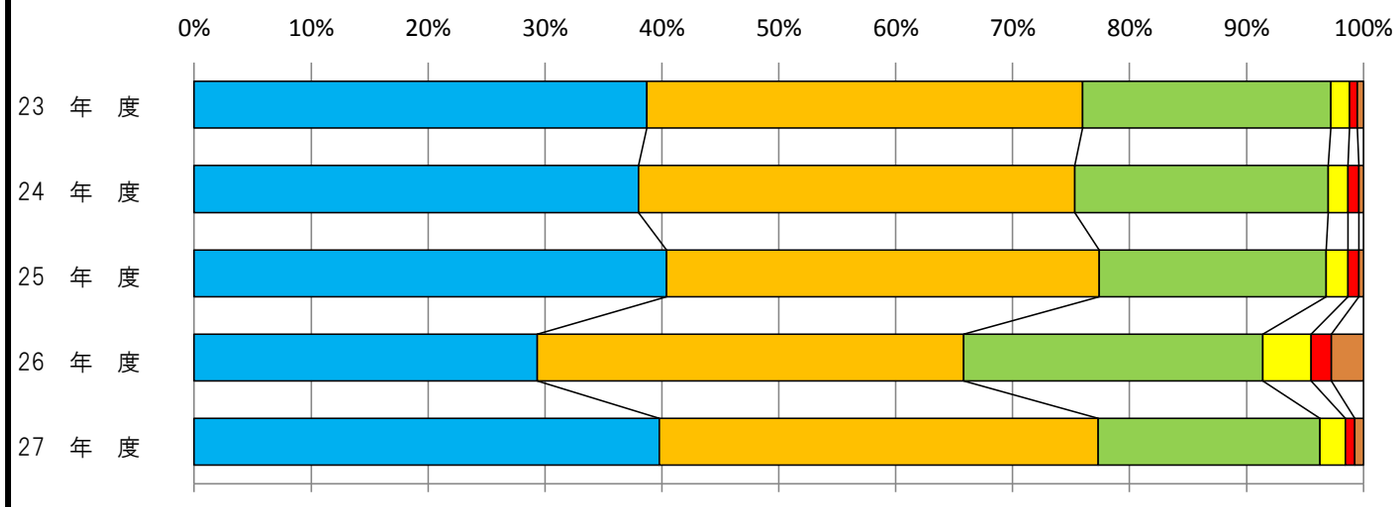
「計」（質問項目 4(4) ～ 6(6) ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.7	39.5	75.2	－
35.7	39.3	75.0	△ 0.2
36.0	39.4	75.4	＋ 0.4
33.7	39.0	72.7	△ 2.7
34.9	39.7	74.6	＋ 1.9

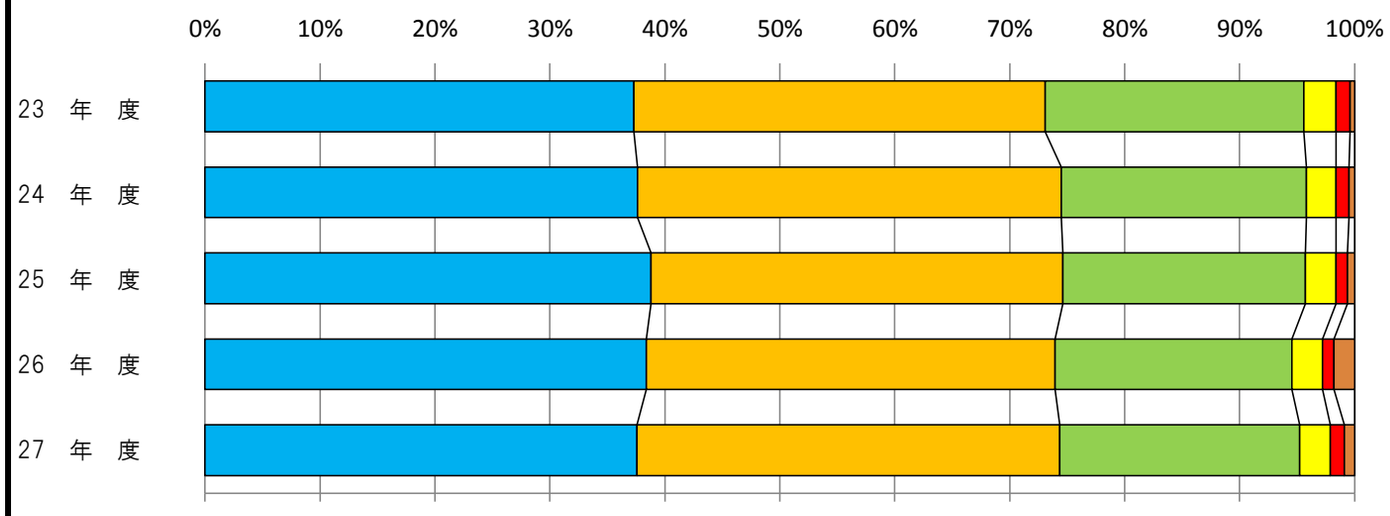
Ⅲ　教員の教え方について

8(7) 授業(実習･実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。



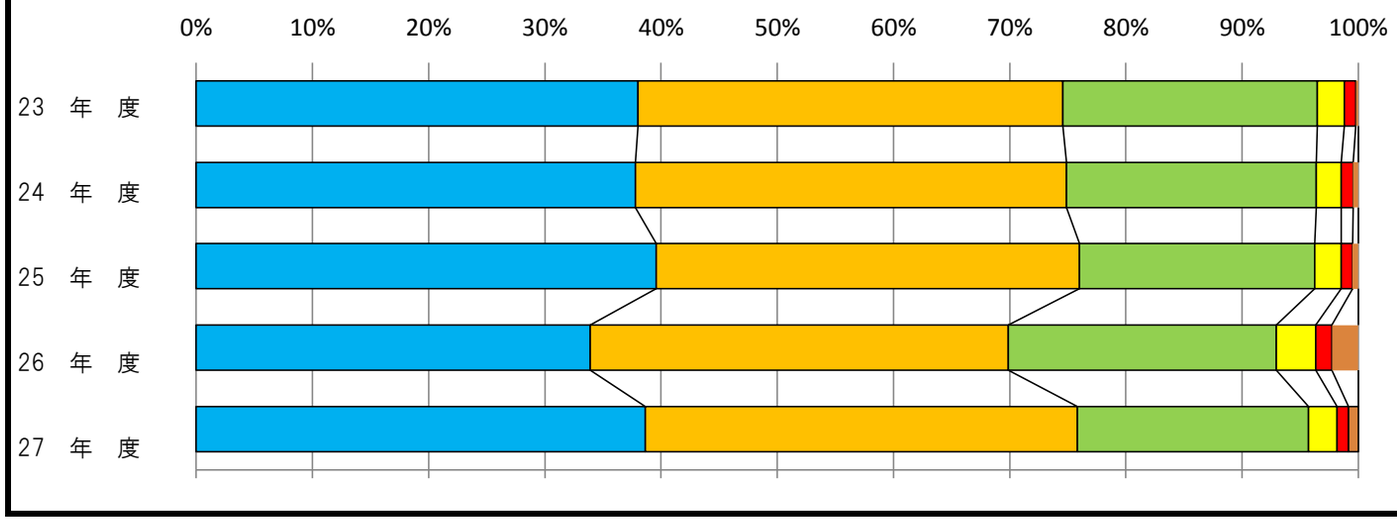
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.7	37.3	76.0	－
38.0	37.3	75.3	△ 0.7
40.4	37.0	77.4	＋ 2.1
29.4	36.5	65.9	△ 11.5
39.8	37.5	77.3	＋ 11.4

14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.3	35.8	73.1	－
37.6	36.9	74.5	＋ 1.4
38.8	35.8	74.6	＋ 0.1
38.4	35.5	73.9	△ 0.7
37.6	36.8	74.4	＋ 0.5

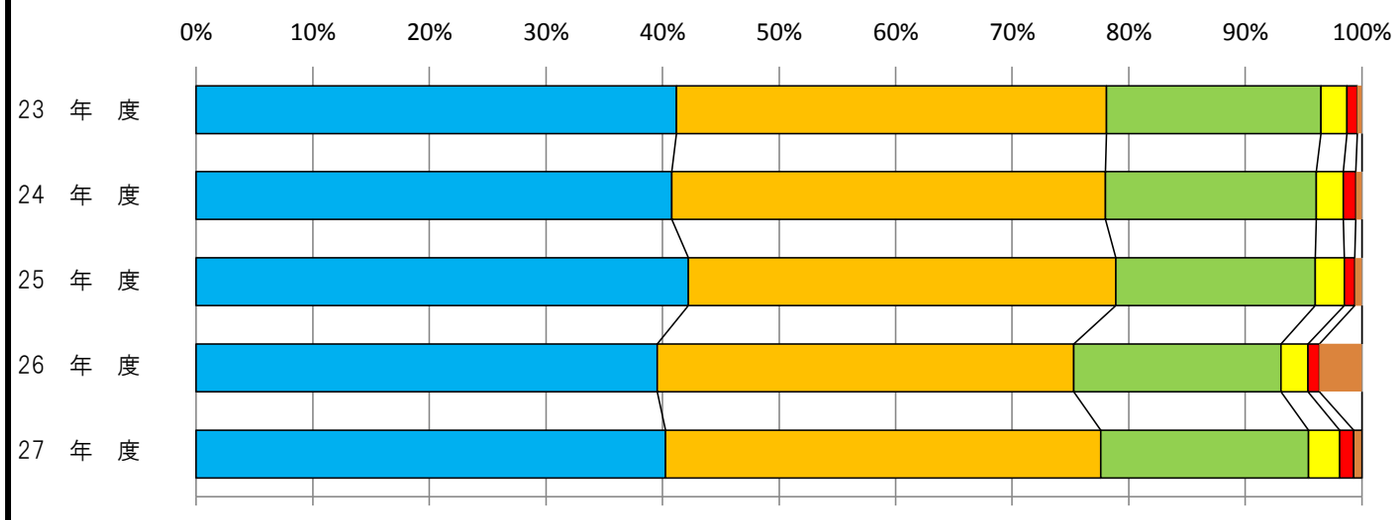
「計」(質問項目 8(7) ・14(9))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.0	36.6	74.6	－
37.8	37.1	74.9	＋ 0.3
39.6	36.4	76.0	＋ 1.1
33.9	36.0	69.9	△ 6.1
38.7	37.2	75.9	＋ 6.0

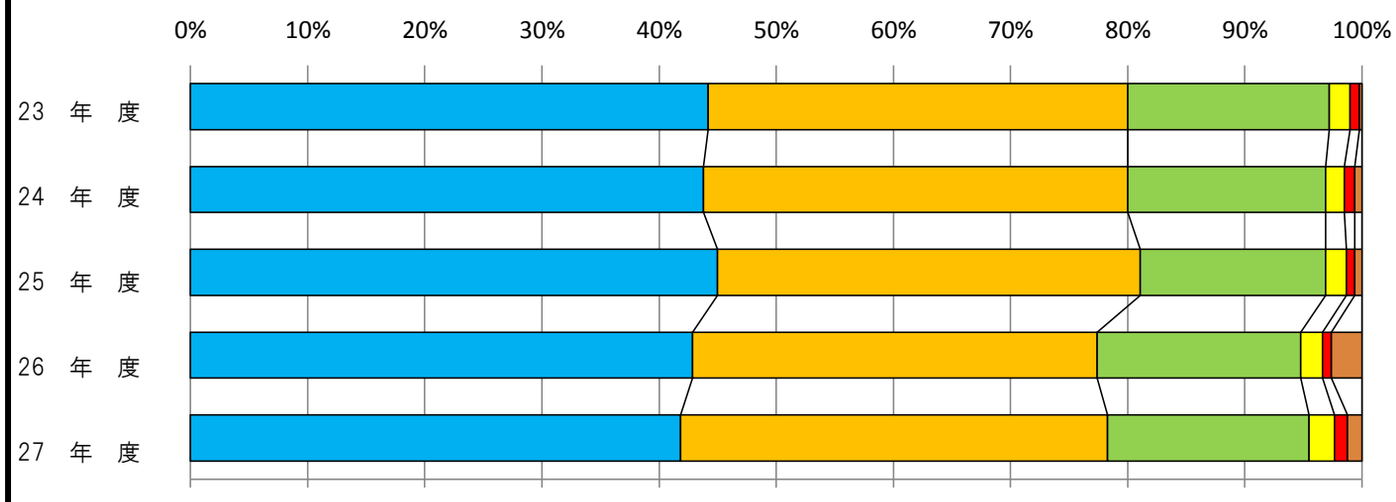
Ⅳ　教員の姿勢について

15(10) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



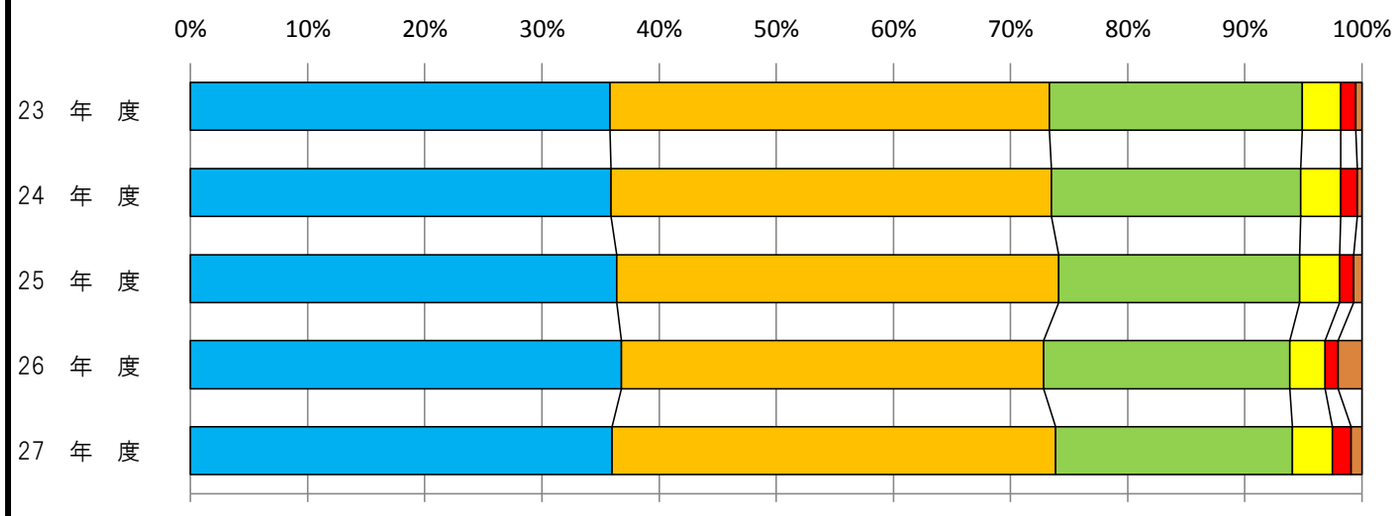
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.2	36.9	78.1	－
40.8	37.2	78.0	△ 0.1
42.2	36.7	78.9	＋ 0.9
39.5	35.8	75.3	△ 3.6
40.3	37.3	77.6	＋ 2.3

16(11) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。



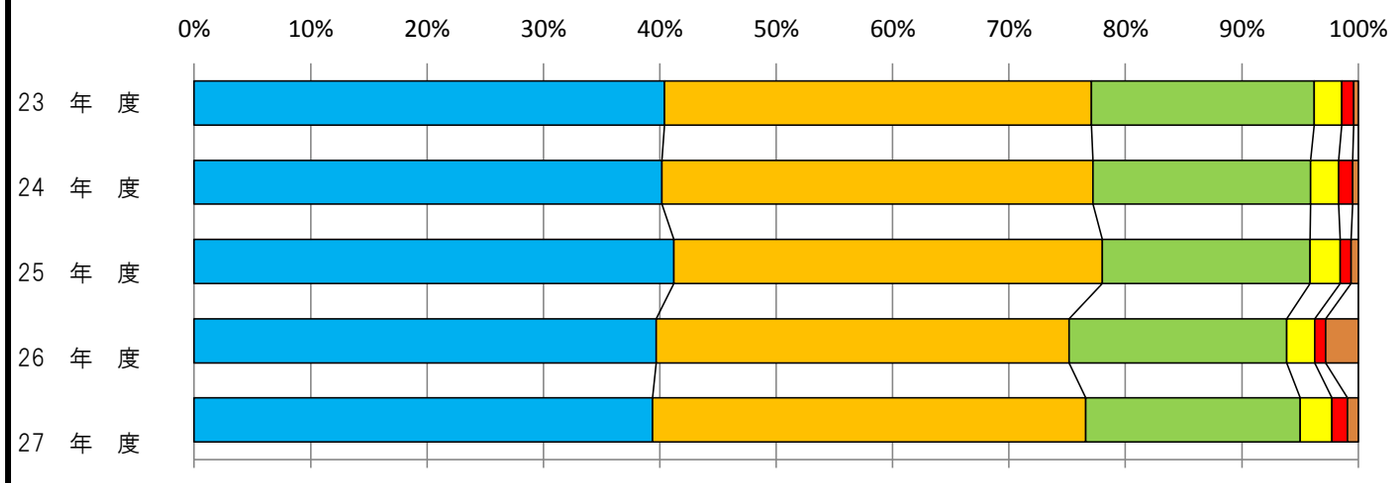
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.2	35.8	80.0	－
43.8	36.2	80.0	0
45.0	36.1	81.1	＋ 1.1
42.8	34.5	77.3	△ 3.8
41.9	36.4	78.3	＋ 1.0

17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.8	37.5	73.3	－
35.9	37.6	73.5	＋ 0.2
36.4	37.7	74.1	＋ 0.6
36.8	36.1	72.9	△ 1.2
36.0	37.9	73.9	＋ 1.0

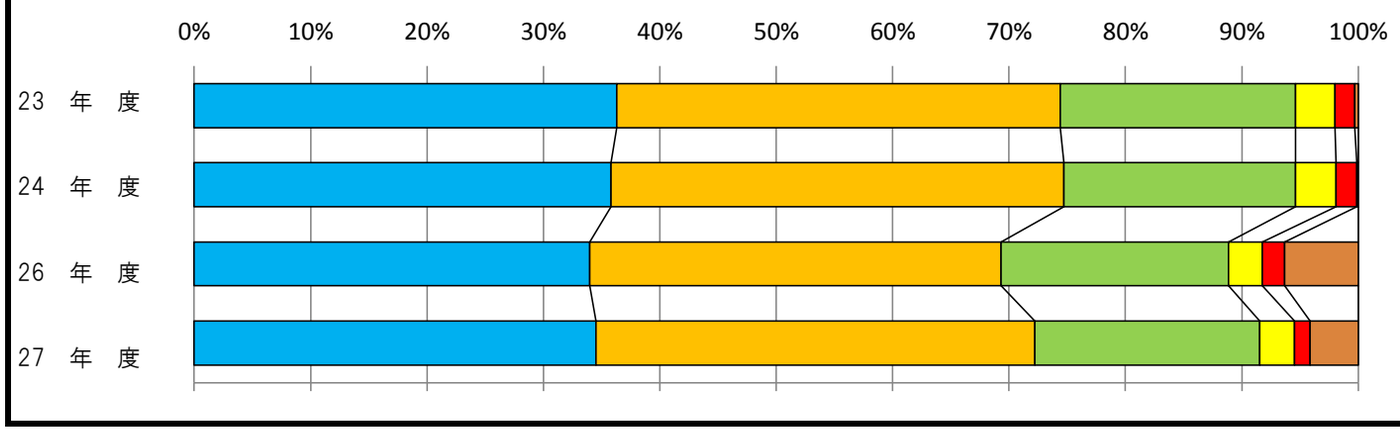
「計」(質問項目 15(10) ～ 17(12))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.4	36.7	77.1	－
40.2	37.0	77.2	＋ 0.1
41.2	36.8	78.0	＋ 0.8
39.7	35.5	75.2	△ 2.8
39.4	37.2	76.6	＋ 1.4

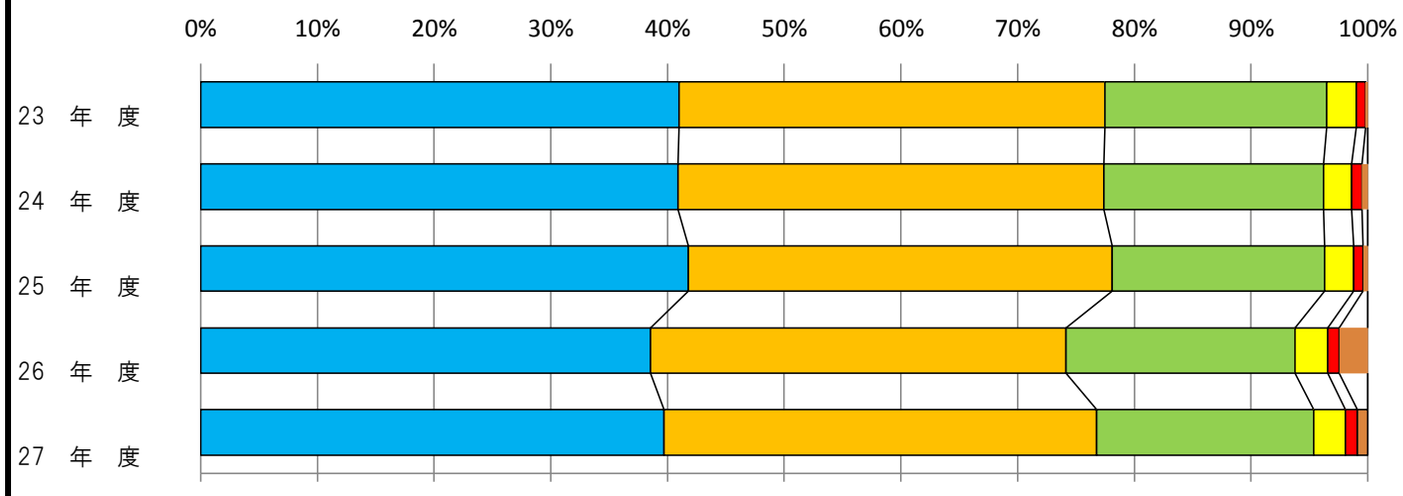
Ⅴ 総合評価

18(13) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	38.1	74.4	－
35.8	38.9	74.7	＋ 0.3
34.0	35.3	69.3	△ 5.4
34.5	37.7	72.2	＋ 2.9

全質問項目の平均

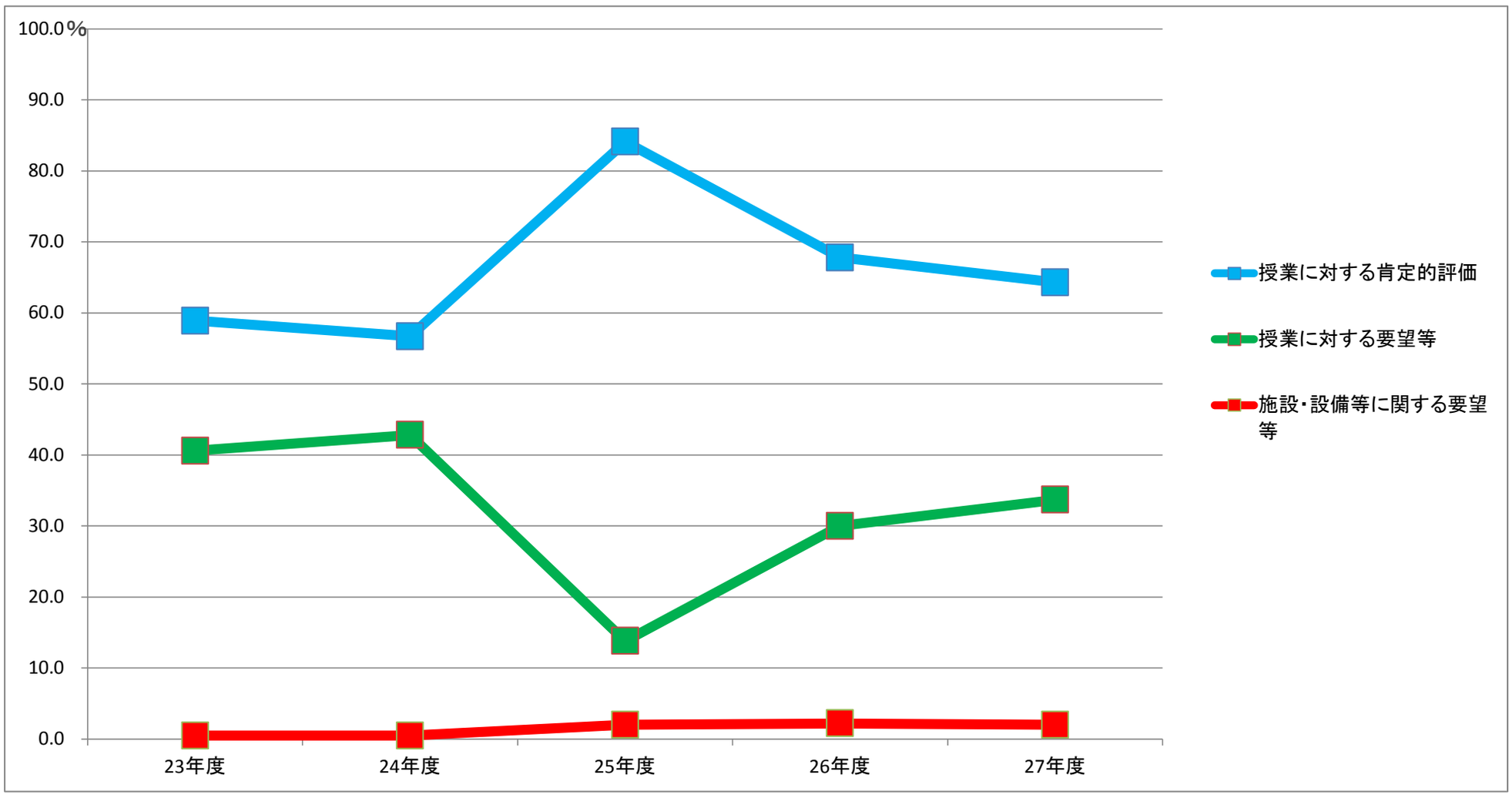


そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.0	36.5	77.5	－
40.9	36.5	77.4	△ 0.1
41.8	36.3	78.1	＋ 0.7
38.6	35.6	74.2	△ 3.9
39.7	37.1	76.8	＋ 2.6

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(58.9%)	1,081	(56.7%)	546	(84.2%)	745	(67.8%)	429	(64.3%)	383
授業に対する要望等	(40.6%)	744	(42.8%)	413	(13.8%)	122	(30.0%)	190	(33.7%)	201
施設・設備等に関する要望等	(0.5%)	9	(0.5%)	5	(2.0%)	18	(2.2%)	14	(2.0%)	12
総件数	(100.0%)	1,834	(100.0%)	964	(100.0%)	885	(100.0%)	633	(100.0%)	596

※（　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	383	・難しい内容は多かったけど毎授業、達成感をえられるものでした。 ・シミュレーションなど参加型の授業形式（特にＢＬＳ、ＡＣＬＳなど）をとると、先生方は大変だが、学生の能力を向上させられると思う。 ・講義内容が難しいと感じることもありましたが、先生方の助言で少しでも学んだことを自分の中に吸収できたのではないかと感じています。貴重な講義を受けることができて本当に良かった ・小児の実習は、とても不安だったけど先生方とメンバーに助けられ、楽しく実習ができた。 ・動物の解剖実験は初めてだったので、貴重な体験になりました。 ・去年の調理実習とは一味違う感じで楽しめました。考察も、先生方が親身になって考えてくれたので、安心して取り組むことができました。 ・一回一回分かりやすく力の入った授業で、受けていてとても充実した授業でした。
授業に対する要望等	201	・科目によって決まりが違うので、初回講義時に出席等の説明をしていただきたいです。 ・外部の先生が来てくださっていたが、授業の内容が助産管理だったり地域母子を含むものもあり、１回１回の授業の達成目標が分からなかったので、明確にしてほしい。 ・マイクを使っていても声が小さく、声が聞きとりづらかった。 ・スライドを書くことに精一杯で話を聞きとれないから、プリントがほしいです。 ・テストの内容や日程ほとんど英語で話すので何を言っているのか理解できなかった。英語を聞く力を向上、慣れさせるためには大事だと思うが、大切な部分は日本語で言ってほしい。 ・医療等に関係のないジャンルの人からも話等を聞いてみたいです。
施設・設備等に関する要望等	12	・ホワイトボードのペンのインクが薄いものが多くあったので、揃えてほしい。 ・照明の関係で、細かい字の多いスライドが見えづらい。 ・教室内(AB01教室など)が暑すぎて、授業に集中できなかった。
計	596	

平成27年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数　293科目　　○調査対象者数　20,440人（延人数）
○総回答数　17,520枚（回答率 85.7%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉

	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の授業態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業態度はよかったと思うか。	(36.4) 38.4	(37.3) 39.8	(19.8) 18.5	(3.0) 2.4	(0.8) 0.5	(2.7) 0.4	(100) 100
2. 出席率はよかったと思うか。	(59.9) 58.3	(24.6) 26.8	(12.3) 12.7	(1.4) 1.4	(0.4) 0.5	(1.4) 0.3	(100) 100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(35.6) 37.0	(38.1) 39.1	(22.2) 20.4	(2.5) 2.6	(0.6) 0.6	(1.0) 0.3	(100) 100
計	(44.0) 44.6	(33.3) 35.2	(18.1) 17.2	(2.3) 2.1	(0.6) 0.6	(1.7) 0.3	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。	(31.8) 32.1	(41.1) 41.5	(21.8) 21.0	(3.3) 3.6	(1.0) 1.2	(1.0) 0.6	(100) 100
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(26.1) 26.9	(41.0) 41.6	(26.0) 24.8	(4.5) 4.7	(1.4) 1.5	(1.0) 0.5	(100) 100
6. この授業内容は将来役立つと思うか。	(37.5) 38.1	(36.7) 37.7	(19.5) 19.7	(2.5) 2.9	(0.9) 1.1	(2.9) 0.5	(100) 100
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。	(29.5) 30.2	(36.4) 35.9	(25.6) 26.4	(4.1) 4.6	(1.7) 2.1	(2.7) 0.8	(100) 100
計	(31.2) 31.8	(38.8) 39.2	(23.2) 23.0	(3.6) 3.9	(1.3) 1.5	(1.9) 0.6	(100) 100
Ⅲ　教員の教え方について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。	(35.5) 37.1	(37.1) 38.4	(20.2) 20.6	(1.9) 2.3	(0.7) 0.8	(4.6) 0.8	(100) 100
9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。	(34.5) 34.0	(37.5) 39.1	(20.6) 21.2	(3.4) 3.7	(1.1) 1.4	(2.9) 0.6	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(37.6) 37.0	(35.3) 37.2	(19.9) 20.2	(3.6) 3.4	(1.2) 1.5	(2.4) 0.7	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。	(31.9) 32.0	(35.2) 37.0	(24.8) 24.0	(3.9) 4.1	(1.4) 1.5	(2.8) 1.4	(100) 100
12. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(33.3) 33.9	(36.0) 37.8	(23.5) 22.4	(3.3) 3.7	(1.2) 1.5	(2.7) 0.7	(100) 100
13. 12の場合に、ﾌﾟﾘﾝﾄ等が配布された際にﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄによる説明を聞くだけではなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。	(31.3) 32.1	(34.5) 37.2	(24.7) 24.5	(3.2) 3.7	(1.3) 1.5	(5.0) 1.0	(100) 100
14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(35.5) 35.2	(36.5) 37.3	(22.1) 22.6	(2.9) 2.9	(1.1) 1.2	(1.9) 0.8	(100) 100
計	(34.2) 34.5	(36.0) 37.7	(22.3) 22.2	(3.2) 3.4	(1.1) 1.3	(3.2) 0.9	(100) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(37.0) 38.0	(37.1) 38.2	(19.1) 19.3	(2.4) 2.7	(1.0) 1.2	(3.4) 0.6	(100) 100
16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(40.3) 39.4	(35.8) 37.1	(18.7) 18.6	(2.0) 2.3	(0.8) 1.2	(2.4) 1.4	(100) 100
17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。	(34.1) 33.6	(37.5) 38.6	(22.5) 21.8	(3.2) 3.6	(1.1) 1.6	(1.6) 0.8	(100) 100
計	(37.1) 37.0	(36.8) 38.0	(20.1) 19.9	(2.5) 2.9	(1.0) 1.3	(2.5) 0.9	(100) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(31.8) 32.1	(36.6) 38.3	(20.8) 20.9	(2.9) 3.2	(1.4) 1.4	(6.5) 4.1	(100) 100
全質問項目の平均	(35.5) 35.9	(36.4) 37.7	(21.3) 21.1	(3.0) 3.2	(1.1) 1.2	(2.7) 0.9	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

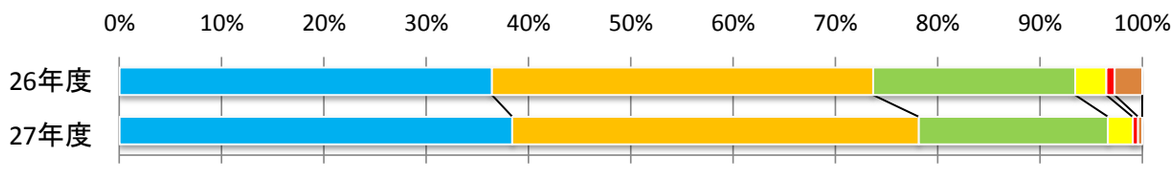
	26年度	27年度
全科目数	280科目	293科目
調査対象者数	21,734人	20,440人
総回答数（回答率）	19,137枚（88.1%）	17,520枚（85.7%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

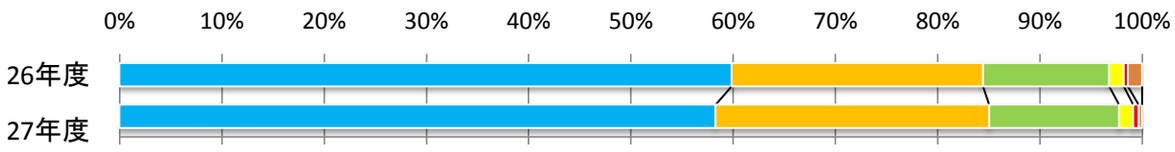
Ⅰ 学生として、自分自身の授業態度について

1. 授業態度はよかったと思うか。



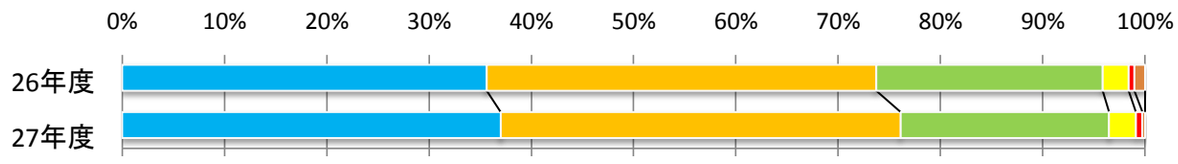
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.4	37.3	73.7	－
38.4	39.8	78.2	＋ 4.5

2. 出席率はよかったと思うか。



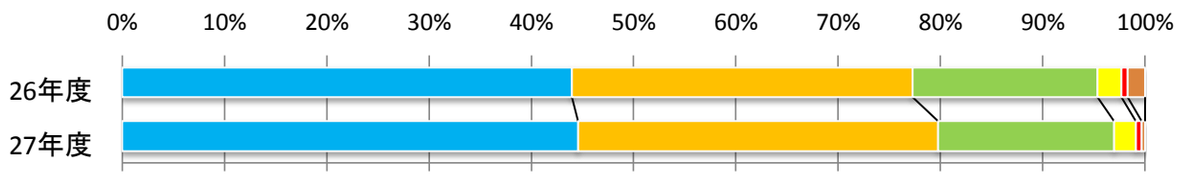
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.9	24.6	84.5	－
58.3	26.8	85.1	＋ 0.6

3. 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
35.6	38.1	73.7	－
37.0	39.1	76.1	＋ 2.4

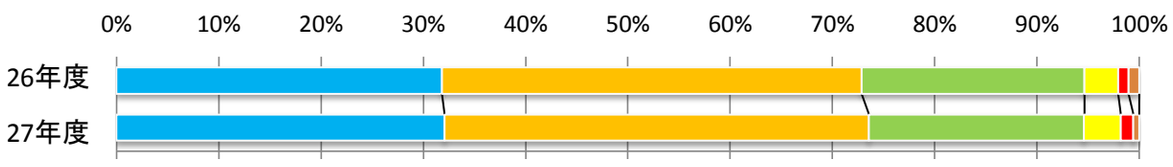
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
44.0	33.3	77.3	－
44.6	35.2	79.8	＋ 2.5

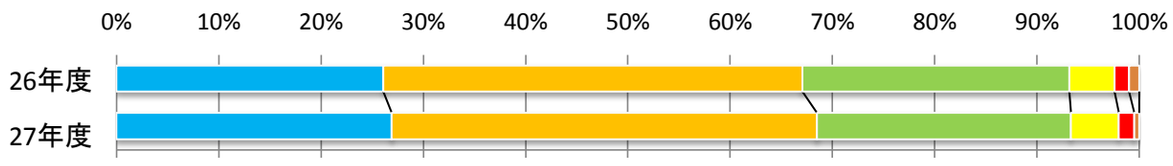
Ⅱ 授業内容について

4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。



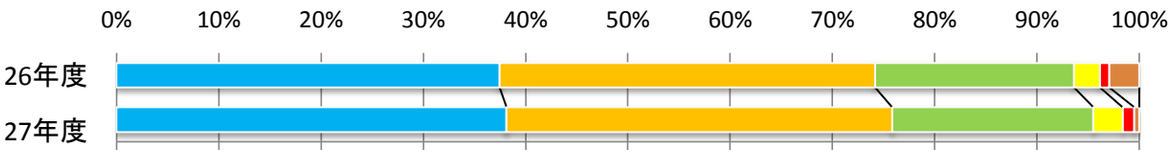
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.8	41.1	72.9	－
32.1	41.5	73.6	＋ 0.7

5. 授業内容をよく理解できたと思うか。



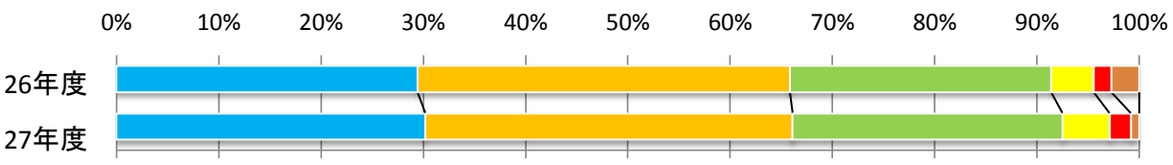
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
26.1	41.0	67.1	－
26.9	41.6	68.5	＋ 1.4

6. この授業内容は将来役立つと思うか。



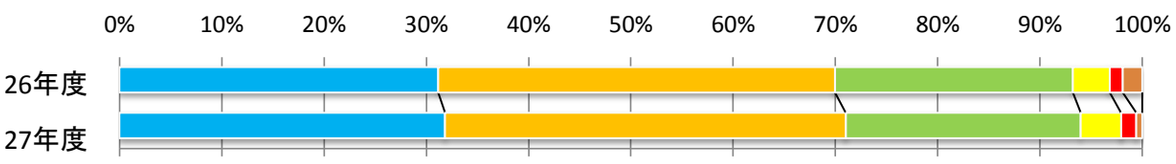
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.5	36.7	74.2	－
38.1	37.7	75.8	＋ 1.6

7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
29.5	36.4	65.9	－
30.2	35.9	66.1	＋ 0.2

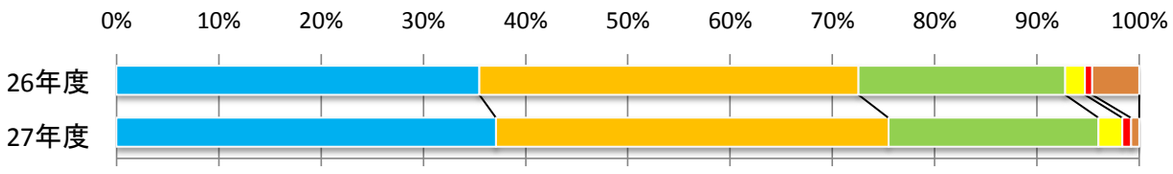
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.2	38.8	70.0	－
31.8	39.2	71.0	＋ 1.0

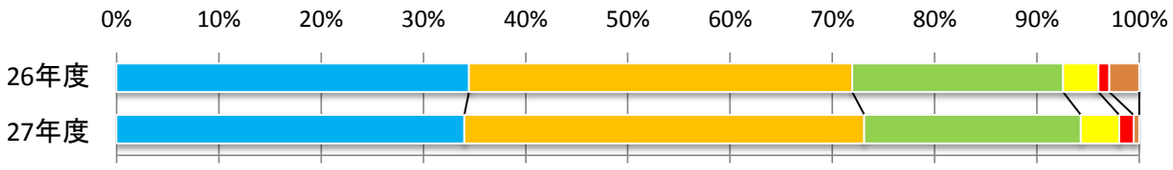
Ⅲ　教員の教え方について

8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。



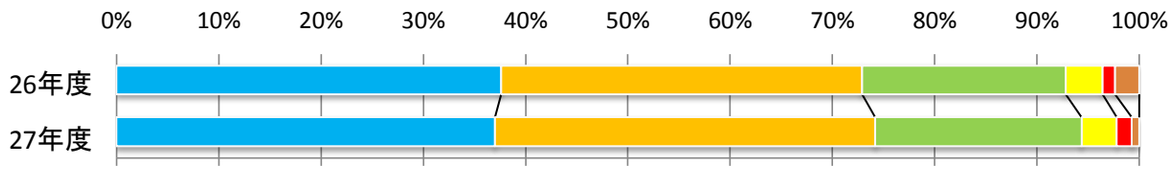
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.5	37.1	72.6	―
37.1	38.4	75.5	＋ 2.9

9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。



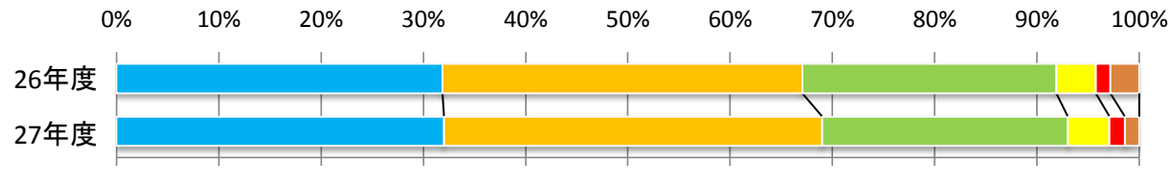
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.5	37.5	72.0	―
34.0	39.1	73.1	＋ 1.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



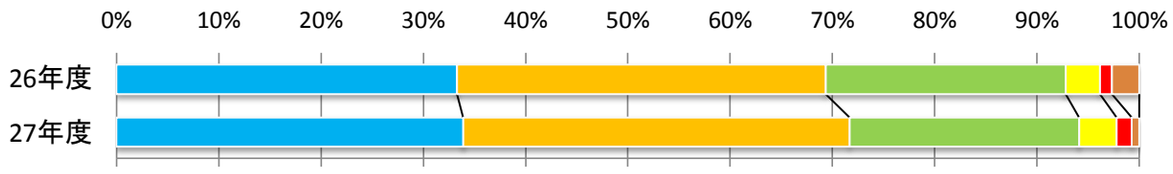
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.6	35.3	72.9	―
37.0	37.2	74.2	＋ 1.3

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。



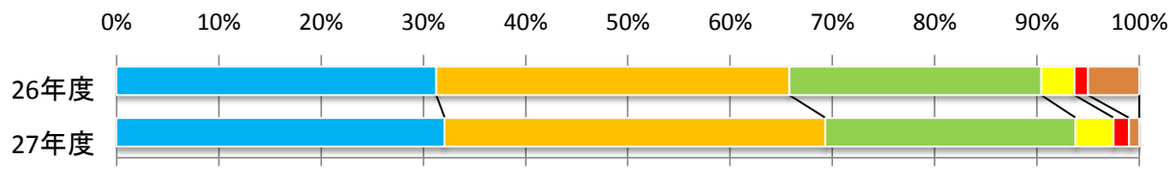
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.9	35.2	67.1	―
32.0	37.0	69.0	＋ 1.9

12. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。



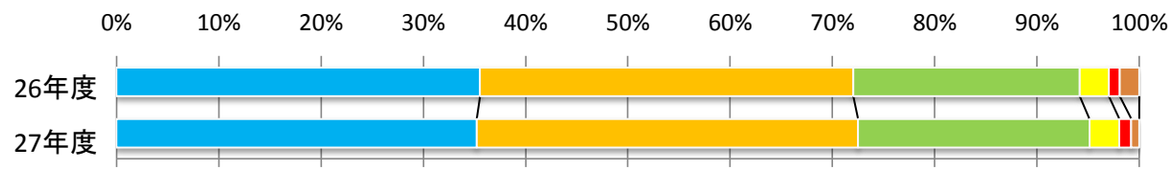
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.3	36.0	69.3	―
33.9	37.8	71.7	＋ 2.4

13. 12の場合に、プリント等が配布された際にﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄによる説明を聞くだけではなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。



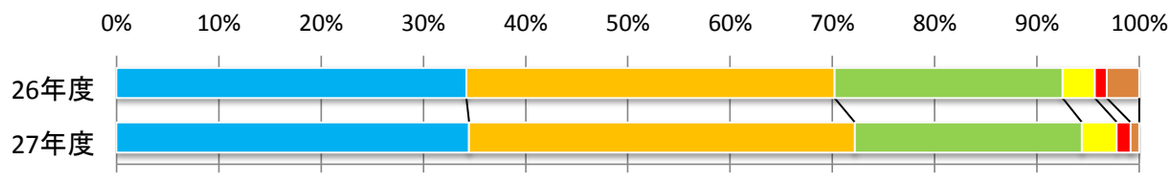
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.3	34.5	65.8	―
32.1	37.2	69.3	＋ 3.5

14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.5	36.5	72.0	―
35.2	37.3	72.5	＋ 0.5

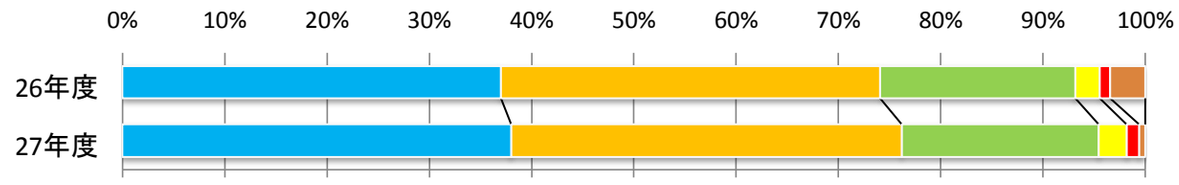
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.2	36.0	70.2	―
34.5	37.7	72.2	＋ 2.0

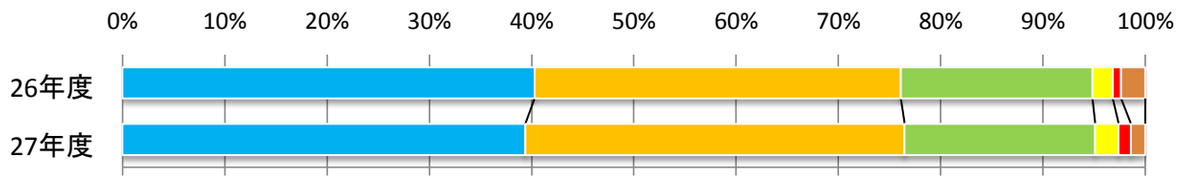
Ⅳ　教員の姿勢について

15.　教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



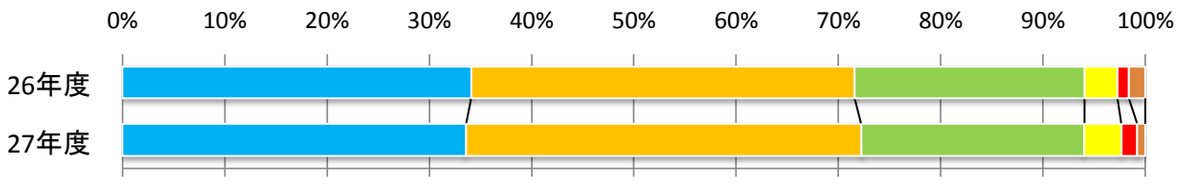
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.0	37.1	74.1	－
38.0	38.2	76.2	＋ 2.1

16.　教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。



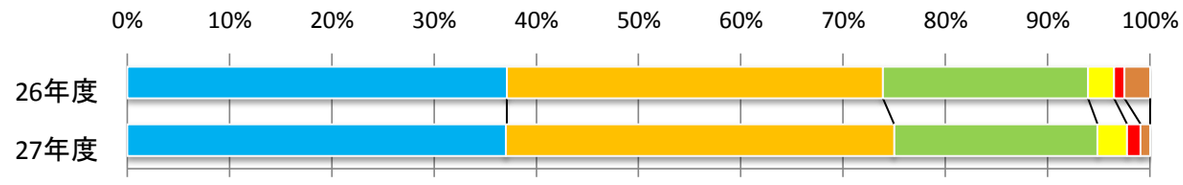
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
40.3	35.8	76.1	－
39.4	37.1	76.5	＋ 0.4

17.　教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.1	37.5	71.6	－
33.6	38.6	72.2	＋ 0.6

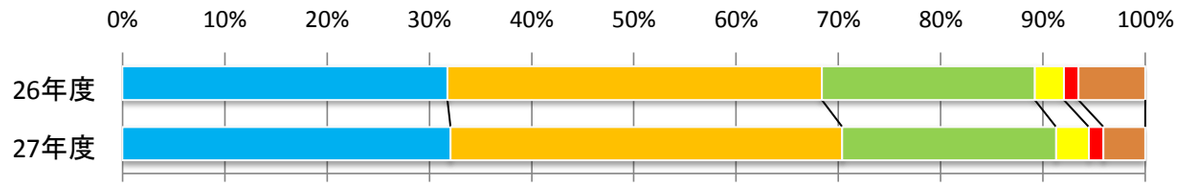
「計」（質問項目 15 ～ 17 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.1	36.8	73.9	－
37.0	38.0	75.0	＋ 1.1

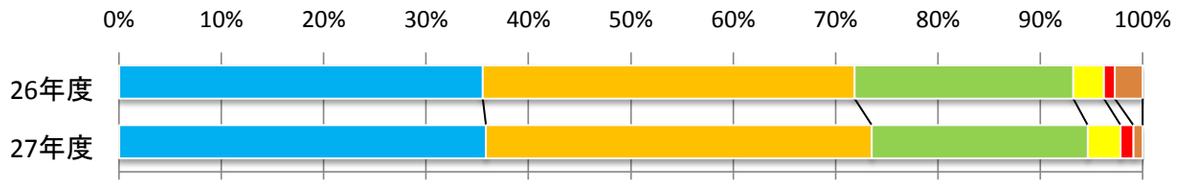
Ⅴ 総合評価

18.　この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.8	36.6	68.4	－
32.1	38.3	70.4	＋ 2.0

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.5	36.4	71.9	－
35.9	37.7	73.6	＋ 1.7

◆　Ⅶ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　733】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学概論 【1年次前期】	9	看護とは何か理解できて良かった。 看護についての学びが深まった。 看護の概念についておおまかに理解することができた。
	機能看護学Ⅰ 【1年次前期】	7	自分の考え方、行動に直接関わってくる内容だったので、授業を受けてとてもよかったと思いました。 人前で発表することに、少し慣れることができた。いろいろな視点から物事を考えることができた。 発表するという機会があったことが良かった。
	病態生理学 【1年次後期】	7	炎症、腫瘍、循環障害等が何を原因にして発生するのかを学ぶことができた。 将来在宅看護に行きたい身にとって、良い授業だと感じました。 面接形式で新鮮でとてもおもしろかったです。
	国際看護論 【3年次前期】	3	死亡率には必ず国の背景があって自分で調べることによってより深くたくさんのことを理解することができてとても楽しかったです。 少人数で質問もしやすく、分かりやすかった。
医療栄養学科	社会福祉総論 【1年次前期】	4	社会福祉についてたくさんのことを知れたので良かったです。 手話を覚えることができた。
	調理学 【1年次後期】	12	実際に調理する際の注意点等も組み込まれていて、とても役立つ授業だった。 授業内容にプラスして役立つことを話してくれて、実用的な知識が沢山あった。 食材についてより深く知れ、調理により興味がわいた
	食育論 【1年次後期】	7	学外授業(食育フェア)に参加できて良い経験になりました。 ボランティア活動ができてよかった。
	食品学Ⅰ 【1年次後期】	4	管理栄養士の国家試験の過去問題をたくさん、配ってくださったおかげで、勉強がしやすかったです。 説明の際、色々な例や体を使っていて、見ていて、おもしろくて、分かりやすかったです。
医療情報学科	医学医療入門 【1年次前期】	5	医学がどこから始まったのか神話からの事を知れてよかった。昔から現代へと進んでいてよかった。 高校では、教わることがなかったおもしろいことが学べた。
	生体情報演習 【1年次後期】	6	初めはＥｘｃｅｌを作ってグラフとか全く作れなかったけれどできるようになり、いろんなことを知れてよかった。 とても勉強になりました。普段使わない器具に触れられてよかったです。
	応用情報処理技術 【2年次後期】	4	テキストにそって、分かりやすく説明して下さり、とても良い授業だった。提出したレポートに書き込みや解答を付けてくれたので、自主勉強がはかどった。 基礎理論とアルゴリズムの解説がとても分かりやすかったと思います。例え話も頭に残りました。

◆　Ⅷ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　449】

	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	社会福祉論 【2年次前期】	8	レジュメやプリントを作るなどして、話したいこと、伝えたいことなど、要点をまとめてほしい。 何を話しているか分からないうえ、話に統一性をもたせてほしい。 重要なことをもっと分かりやすくおしえてほしい。
	クリティカル・シンキングⅠ 【1年次前期】	6	時間配分が悪かった。授業の進むスピードを調整してほしい。 授業が詰めこみすぎで、何をすべきかわからない状態の授業が多かった。
	治療学総論 【1年次後期】	9	専門知識ばかりだったので少々難しさがありました。もう少しわかりやすい説明が欲しかったです。 重要な所をもう少し強調してほしい。レジュメをつくることを統一してほしい。 １時間半の授業時間なはずですが、ほとんどその時間より（３０分ほど）早く終わったので改善してほしい。
	老年看護援助論Ⅲ 【3年次前期】	5	レジュメの字が読めなさすぎる。カラフルすぎて重要ポイントがわからない。 先生によって内容が違ってくることがあったので、統一してもらいたいです。
医療栄養学科	栄養教育論Ⅲ 【3年次前期】	21	スライドが早すぎて書ききれないことが多くありました。スライド配布をするか、書く時間を十分にとってほしいです。 パワーポイントの内容を一部で良いから配布してほしい。内容を全て書き写すことに必死になり、授業内容が頭に入りづらかった。
	解剖生理学特論 【3年次前期】	9	学生に教科書を読ませるのは効率悪い 白板に図を書く時、ごちゃごちゃ書きすぎてまったく読みとれない　語尾の声がぼそぼそ言っていて、聞きとりづらい。もっとはっきり話してほしい。
	公衆栄養学Ⅰ 【3年次前期】	10	マイクを回すのに時間がかかるため、教科書を読ませるのは時間の無駄であるかなと感じた。 ノートを各自で作成するよりも、分かりやすい資料の配布があったほうが興味が持て、勉強になったと感じた。
	栄養教育論Ⅱ 【2年次後期】	6	レジュメの記入欄、若しくは余白スペースを考えてつくってほしい。 講義中に教科書のページをもう少し言ってくれるとうれしいです。
医療情報学科	プログラム言語Ⅱ 【2年次後期】	7	しゃべって説明するだけでなく、もう少し板書がほしかった。 答えのソースをコンパイルしてもコンパイルが通らない事が何度かあったので、アップロード前に確認を行ってほしい
	コンピュータシステムⅡ 【1年次後期】	6	パワーポイント情報量が多すぎてごちゃごちゃしているので整えてほしい 先生の声が聞こえません。もっとはきはきとしゃべってほしい。
	医学医療入門 【1年次前期】	12	グループワークなど考える、考させる時間がほしい。 もう少し声が通るようにしてほしい。パソコンの文字を大きくしてほしい。

平成27年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数　47科目　　○調査対象者数　3,562人（延人数）
○総回答数　3,043枚（回答率 85.4%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の実習・実験態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。	(57.2) 57.2	(32.1) 31.4	(8.6) 9.0	(0.9) 1.6	(0.2) 0.2	(1.0) 0.6	(100) 100
2. 出席率はよかったと思うか。	(74.9) 70.3	(16.5) 21.5	(6.4) 6.3	(0.8) 1.2	(0.2) 0.4	(1.2) 0.3	(100) 100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(58.2) 58.4	(30.6) 30.4	(9.0) 9.6	(0.7) 1.3	(0.2) 0.0	(1.3) 0.3	(100) 100
計	(63.4) 62.0	(26.4) 27.7	(8.0) 8.3	(0.8) 1.4	(0.2) 0.2	(1.2) 0.4	(100) 100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。	(54.1) 50.7	(32.7) 36.1	(10.7) 10.4	(1.2) 2.0	(0.4) 0.5	(0.9) 0.3	(100) 100
5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(41.6) 42.2	(37.9) 40.0	(14.2) 14.5	(2.7) 2.4	(0.3) 0.5	(3.3) 0.4	(100) 100
6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。	(56.0) 55.6	(27.8) 33.0	(10.6) 9.2	(1.1) 1.5	(0.3) 0.5	(4.2) 0.2	(100) 100
計	(50.6) 49.5	(32.8) 36.4	(11.8) 11.3	(1.7) 2.0	(0.3) 0.5	(2.8) 0.3	(100) 100
Ⅲ　教員の実習・実験指導について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。	(57.8) 55.1	(28.5) 32.8	(9.8) 9.9	(1.2) 1.3	(0.4) 0.6	(2.3) 0.3	(100) 100
8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。	(52.1) 52.3	(28.0) 34.0	(11.1) 9.7	(1.5) 2.4	(0.7) 1.1	(6.6) 0.5	(100) 100
9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(54.8) 51.2	(29.9) 34.2	(11.9) 10.6	(1.5) 2.1	(0.6) 0.9	(1.3) 1.0	(100) 100
計	(54.9) 52.9	(28.8) 33.7	(10.9) 10.1	(1.4) 1.9	(0.6) 0.8	(3.4) 0.6	(100) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(54.0) 53.2	(28.1) 32.3	(10.5) 9.5	(1.7) 2.2	(0.7) 1.2	(5.0) 1.6	(100) 100
11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(57.2) 56.0	(26.9) 32.3	(9.7) 9.0	(1.2) 1.4	(0.5) 1.1	(4.5) 0.2	(100) 100
12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。	(51.9) 50.2	(29.5) 33.8	(12.6) 11.3	(2.0) 2.2	(0.9) 1.5	(3.1) 1.0	(100) 100
計	(54.4) 53.1	(28.2) 32.8	(10.9) 9.9	(1.6) 2.0	(0.7) 1.2	(4.2) 1.0	(100) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(46.5) 48.4	(28.1) 34.3	(12.6) 10.2	(3.0) 1.9	(4.9) 0.9	(4.9) 4.3	(100) 100
全質問項目の平均	(55.1) 53.9	(29.0) 32.8	(10.6) 9.9	(1.5) 1.8	(0.8) 0.7	(3.0) 0.9	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

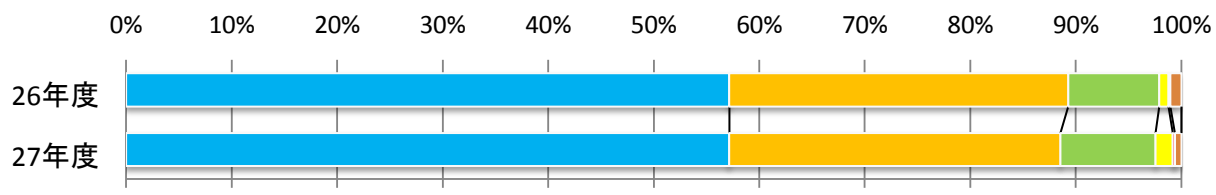
	26年度	27年度
全科目数	47科目	47科目
調査対象者数	3,423人	3,562人
総回答数（回答率）	3,373枚（98.5%）	3,043枚（85.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

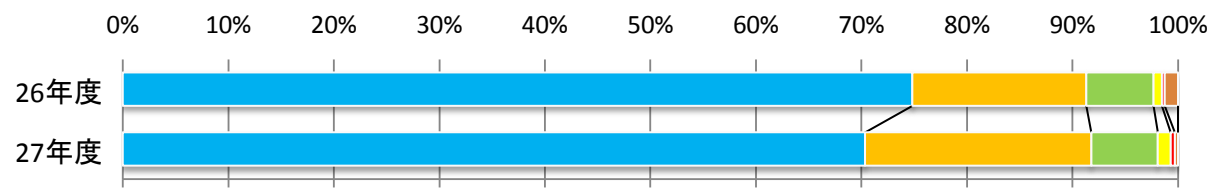
Ⅰ　学生として、自分自身の実習・実験態度について

1. 実習・実験態度はよかったと思うか。



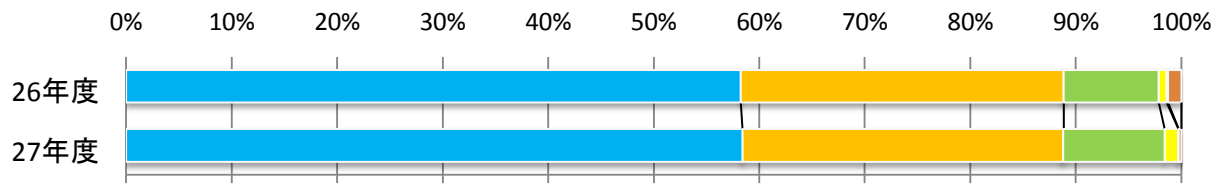
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.2	32.1	89.3	―
57.2	31.4	88.6	△ 0.7

2. 出席率はよかったと思うか。



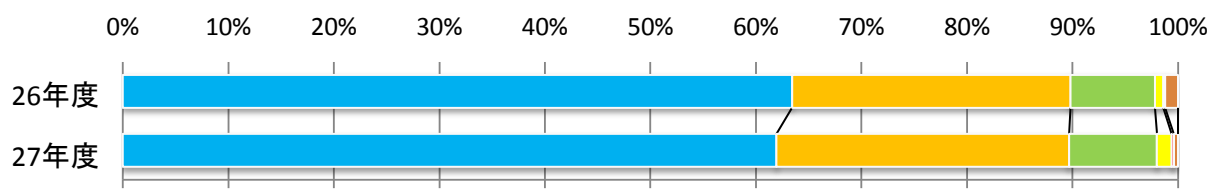
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
74.9	16.5	91.4	―
70.3	21.5	91.8	＋ 0.4

3. 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
58.2	30.6	88.8	―
58.4	30.4	88.8	0

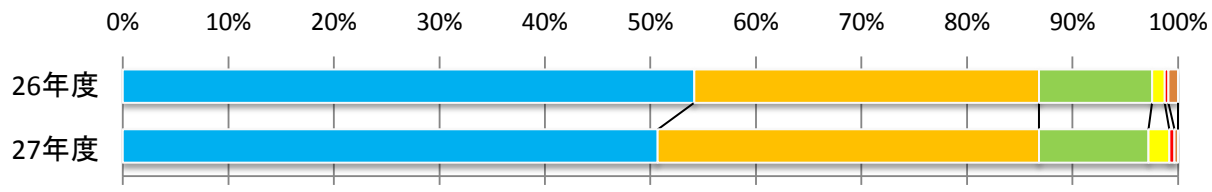
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.4	26.4	89.8	―
62.0	27.7	89.7	△ 0.1

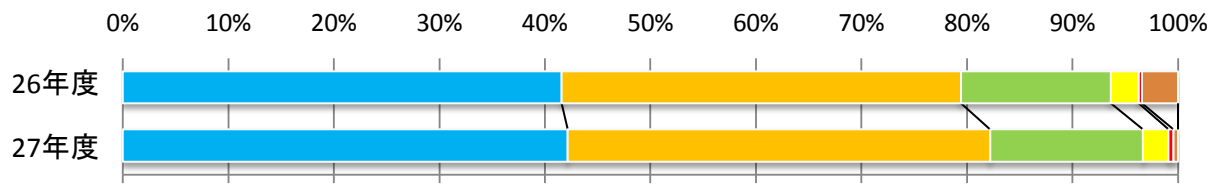
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。



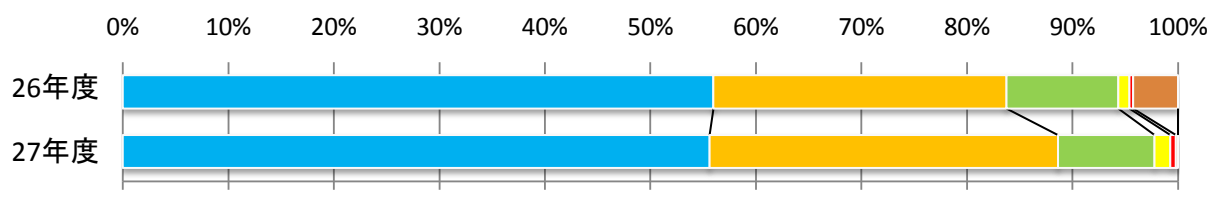
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.1	32.7	86.8	―
50.7	36.1	86.8	0

5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



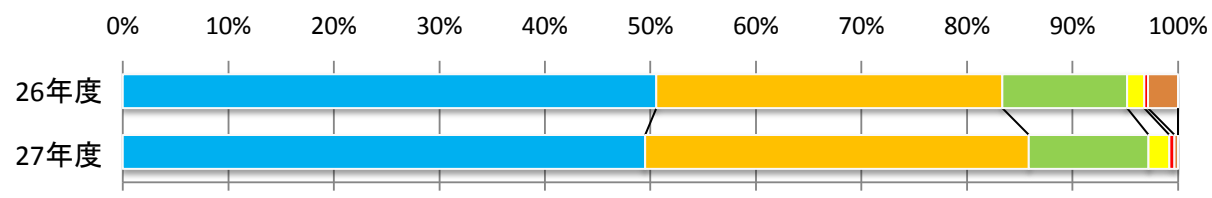
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
41.6	37.9	79.5	―
42.2	40.0	82.2	＋ 2.7

6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.0	27.8	83.8	―
55.6	33.0	88.6	＋ 4.8

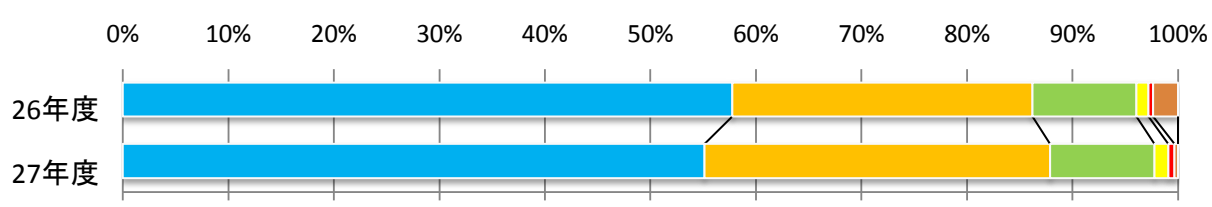
「計」（質問項目 4 ～6 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
50.6	32.8	83.4	―
49.5	36.4	85.9	＋ 2.5

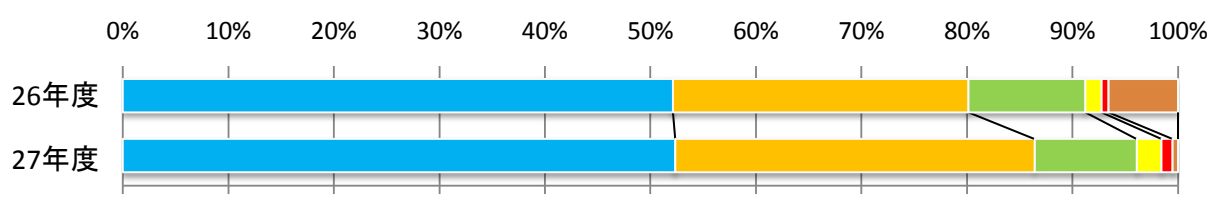
Ⅲ　教員の実習・実験指導について

7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。



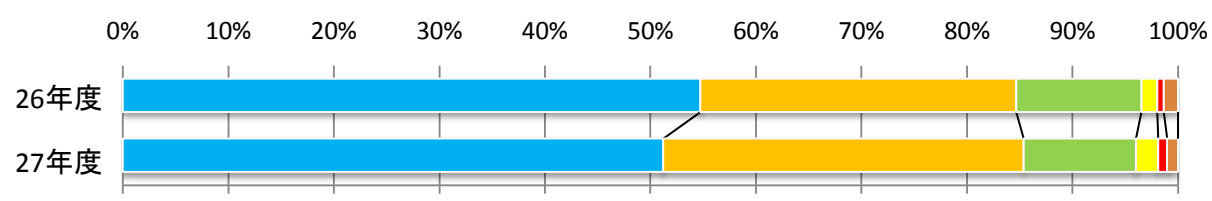
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.8	28.5	86.3	―
55.1	32.8	87.9	＋ 1.6

8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。



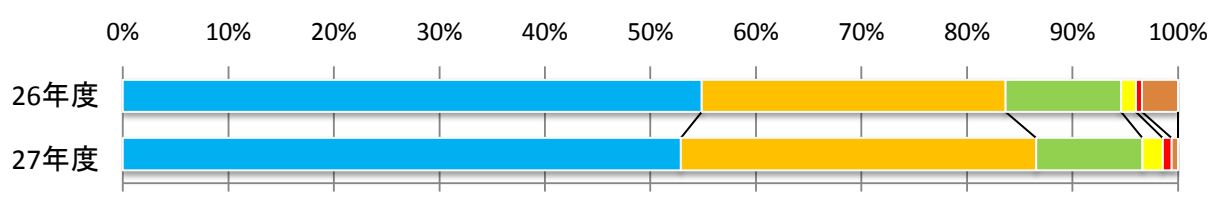
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
52.1	28.0	80.1	―
52.3	34.0	86.3	＋ 6.2

9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.8	29.9	84.7	―
51.2	34.2	85.4	＋ 0.7

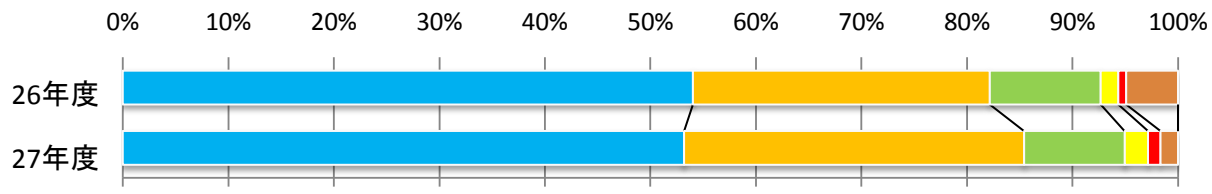
「計」（質問項目 7 ～ 9 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.9	28.8	83.7	―
52.9	33.7	86.6	＋ 2.9

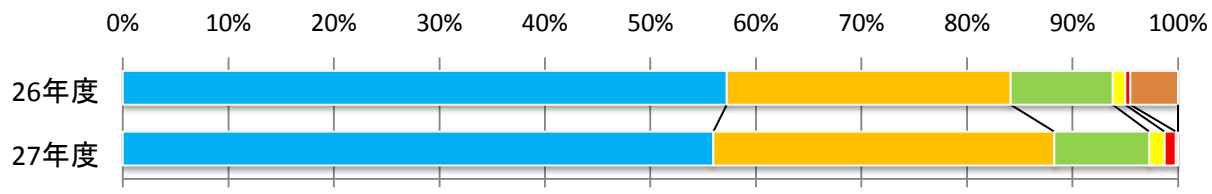
Ⅳ　教員の姿勢について

10.　教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



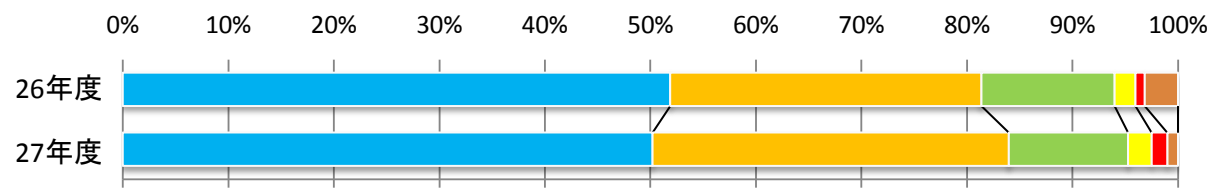
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.0	28.1	82.1	―
53.2	32.3	85.5	＋ 3.4

11.　教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



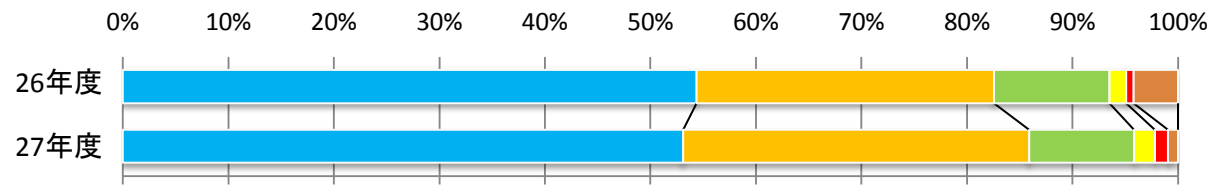
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.2	26.9	84.1	―
56.0	32.3	88.3	＋ 4.2

12.　教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.9	29.5	81.4	―
50.2	33.8	84.0	＋ 2.6

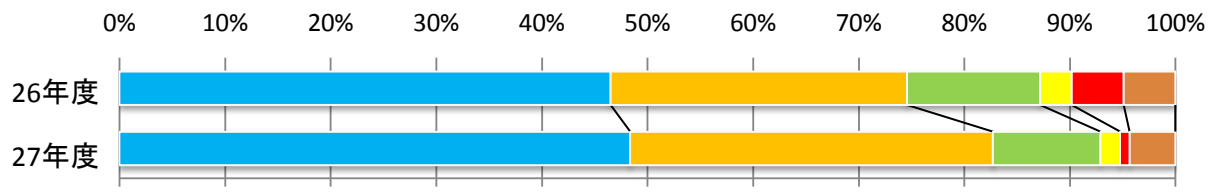
「計」（質問項目 10 ～ 12 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.4	28.2	82.6	―
53.1	32.8	85.9	＋ 3.3

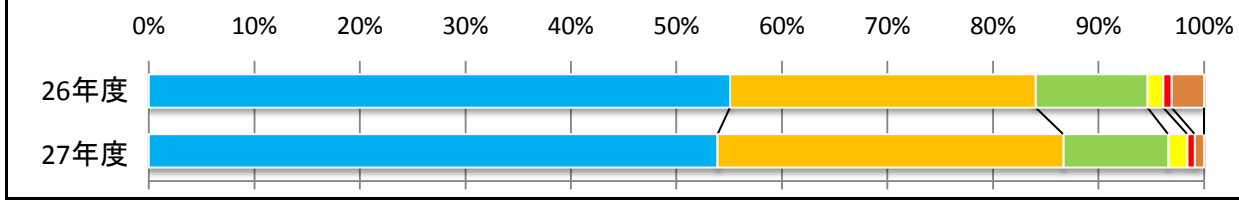
Ⅴ 総合評価

13.　この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
46.5	28.1	74.6	―
48.4	34.3	82.7	＋ 8.1

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.1	29.0	84.1	―
53.9	32.8	86.7	＋ 2.6

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　126】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ 【1年次後期】	22	この時期に実際に病院に行き、学習したケアをすることができたのは学びが深められてよかった。 これから看護技術を提供する基礎固めになった。清潔の援助については、学内演習をしてすぐ実習をすることができたので効果的だった。 患者と接する時間が多かったのはもちろんのこと、看護師からの指導ももらえたので自分のためになった。 病棟のＮＳがとても尊敬できる人で、こんな人になりたいと思うことができた。
	老年看護学実習 【3年次後期･4年次前期】	2	学生の理解度を理解した上で関わってくれているため、とても指導がわかりやすかった。 対象と共にケアを考えていくことを助けてくれて、とても充実した実習になった。 教員の支導が適切で難しい内容であったが理解を深めることができたのでよかったと思う。
医療栄養学科	調理学実習Ⅰ 【1年次前期】	20	初めは、怒られたり注意されることが多くて心が折れそうだったけど、慣れていくにつれて自分の成長を感じられて自信が持てました。 最初は、怖かったけど、何度も実習していくうちに、管理栄養士として働いているという気持ちを持ってやると、とても楽しかったし、勉強になりました。
	調理学実習Ⅱ 【1年次後期】	13	調理の基本が学べた。管理栄養士の基本となる調理が学べた。 毎回実習が楽しくできました。美味しい料理を学ぶことができて良かったです。
	応用栄養学実習Ⅱ 【3年次前期】	5	応用栄養学実習Ⅰとはまたちがう内容で楽しく受けることが出来た 目で食材のｇ数がわかるようになった。
	解剖生理学実験Ⅰ 【1年次後期】	5	実際に人骨に触れることで疑問も生まれ非常に考えることが出来る授業で良かったと思う。 豚の解剖と本物の骨を見て触った実験のときは本当に楽しかったし、理解と興味を持つことができた。
医療情報学科	情報システム実験 【2年次前期】	2	Ｌｉｎｕｘについて学ぶことが出来た。
	情報ネットワーク実験 【2年次後期】	2	指導書が分かりやすくよかったです。
	病院実習 【3年次後期】	3	コーディングだけでなく、医療経営について、深く教えてくれたのでとても勉強になった。 実際に病院を見られてよかった。 病院で実習をし、患者の時の印象しかなかったので、病院職員としての雰囲気がわかって良かった。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 89】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習Ⅰ 【1年次後期】	7	ルーブリックをもう少しレベルによっての違いなどが明確に区切ったものにしてほしい。 「一部」など曖昧な表現は改善してほしい。 担当ナースと教員と学生での考え方・捉え方の違いが出たことで、実習内容が予定とは 違うものになってしまった。
	小児看護学実習 【3年次後期･4年次前期】	14	病院・コース別に負担の差が大きいため、平等じゃないと思いました。 病棟と保育園・外来に分かれたため、そこでの具体的な学びを共有する機会がほしかった。
医療栄養学科	臨床栄養学実習Ⅰ 【3年次前期】	10	スライドや口頭で言うことが早くて、書ききれない。プリントがほしかったです。 書くことが多いのに、スライドを送るのが早すぎて間に合わなかった。こんなに書くことがたくさん だと話を聞くことができない。
	公衆栄養学実習 【3年次前期】	12	講義の時間配分を調整してほしい。 自分たちがやりたかった事業で食育推進全国大会に参加したかった。スマートと食育両方やりたかった。
	臨床栄養学実習Ⅱ 【3年次後期】	4	頑張って作った献立なので、朝昼夕の献立全てをみんなに配ってほしい。 課題に対する質問について答えるようにしてほしいです。
医療情報学科	病院実習 【3年次後期】	1	病院実習先を選択できるようにしてほしいと思います。
	情報ネットワーク実験 【2年次後期】	2	グループワークの時間を長くしてほしい。 この科目の中で知識・スキルを身につけるのは役に立ちますが、知識の部分は予習ではなく それに対応する科目が欲しかった。

平成 27 年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

大学院医療保健学研究科長　木村　哲

1. 授業評価アンケートに対する感想

〇14 の質問項目全体の授業評価集計結果の前年度別比較では、「そう思う」と「ややそう思う」を含めると平均 94.5%で前年度の 90.0%より 4.5 ポイント増加した。
また、14 の質問項目すべてにおいて 0.2～8.9 ポイント前年度より上回り、平成 23 年以来初めてのことだった。

〇昨年度ポイントが前年度より 3 ポイント以上低下した質問項目「この授業内容は将来役立つと思うか」と「授業はシラバスに沿って行われたと思うか」は今年度それぞれ 2.6 ポイント、7.7 ポイントと上昇し、努力が窺えるものだった。しかし、大学院の講義はかなり幅広い領域を対象として行われているものが多く、院生に直接的に将来役立つかどうかを見極めるのは困難な場合も否めない。また、シラバスの作成において、授業内容と照らし合わせて院生が予習しやすい項目を立てることなどは今後も必要であると思われた。

〇今年度は 14 項目中「授業内容を良く理解できたと思うか(88.1%)」以外すべて 90%以上の評価であった。今後とも、院生が授業に積極的に取り組めるように配慮するとともに、期待した授業内容となるような工夫が必要であるといえる。

〇医療機関や関連企業において、感染制御との関わりのある職種においては、基本的感染制御を身に付ける上で大変役立っている様子が窺えた。講義においては、それぞれの現場で仕事をする際に必要となる知識の基盤となる部分を含んでいる。

〇大学院の授業評価は対象となる人数も少ないので、面接形式など併用することを検討してもよいのではないか。

〇少人数の受講者であったため、かえって個々の受講者の学習状況や関心に合わせて講義をすることが難しいと感じた。

〇質問に対する回答は肯定的だったが、受講人数が少ないことや回答者の背景を考えると、学部と同じアンケート項目である必要はなく、授業評価アンケートの質問内容について再検討すべき点は多いと考えている。

2. 授業において工夫した点

〇「学生のレベルを把握した授業」については、事前に学生の能力について情報を得ることが難しいので、極力授業内でディスカッションをしながら理解を確認した。

〇基本的な感染制御学に加えて、世界的に話題となっている薬剤耐性菌(AMR)、新興感染症、メディカルツーリズムにかかわるアウトブレイクの話題などを取りあげた。

〇消毒に関する事項では、日常的に臨床現場で困っていることなどを中心に Q&A を 90 分間実施し、些細な事での疑問解決に役立ったと思う。
〇講義でのパワーポイント配布資料は、スライドの細部にわたって記載するのではなく、教員が板書した事項を各自が直接書き込みできるように余白を取り白黒印刷とした。
〇自施設で必ずしも感染制御に関わっていない院生も受講していることから、分かり易い資料、丁寧な説明、授業中に質問し易い雰囲気作りに心掛けた。
〇学生が計画的に事前課題に取り組めるよう、初回授業で、最終授業までの事前課題を提示した。
〇題材(学生の看護実践)を固定し、さまざまな角度(論理的思考、倫理的視座)で学べるようにした。
〇オムニバス方式で進める新規開講科目のため、担当者 4 人と数回話し合いを持ち、修士課程に入学して最初の科目であることを含め、今後の修士論文作成につながる内容になるよう工夫した。(看護実践)
〇講義では英語文献の読解を行うが、どこまで個人ワークとしてよいのか戸惑った。昨年度は 2 名とも本学出身の院生だったので、ある程度英語の素養はあると思い一人につき論文 1 篇をすべて読んでもらった。しかし今年は、新入生歓迎会時に「英語の論文を読むことに関してどう思うか」と聞いたところ、非常に不安そうな顔をしていたので、4 人で 1 篇の論文を分担して読んでもらうこととした。
〇講義前に講義のイメージを持ち、より多くの学びができるよう負担になり過ぎない程度の課題を提示した。
〇受講生の論理的思考力を高めるための課題提示とディスカッションを行った。
〇課題の取り組みまでの時間確保が出来るように、第 1 回目の授業で資料を配布し課題の内容を伝えた。また、論文を構造的に読み解けるようワークを取り入れ、読解力の向上や今後の研究計画書作成の際に役立つよう工夫した。
〇受講生のニーズに合うように論文進度を考慮して、授業内容を決めた。またできるだけ具体的に研究方法が理解できるように簡単な演習を取り入れた。
〇受講生の調べ学習を発表する時間及びディスカッションの時間を十分取るようにした。また受講生のニーズを聞き、授業内容を検討・調整した。
〇臨床で経験を積んできた院生であり、病院の看護職を対象とした講義を基に授業内容を考えた。1 回目と 2 回目の授業の間隔を開け、その間に課題ができるようにした。
〇助産における教育力・実践能力・研究力の向上によるキャリアアップを目的とした大学院生に対し、課題学習を通して、目標の明確化、伝える力をつけるためのプレゼンテーションを行っている。その際の学習教材の選択や発表の方法は、学生と共に工夫及び探求をしている。また、災害看護など助産学専攻科の学生と共に授業に参加することにより、自己肯定感や教育的指導などに繋がっているようで継続していきたい。また、医療機器製造工場の見学などユニークな取り組みを通して、医療

安全などの学習もしている。

〇PC の組み立て、テキストマイニング演習など座学以外の部分を増加させた。

〇主担当として初めて関わり、担当コマ数も 4、5 コマから 10 コマへと増えた。授業の構成を考える上で心がけたことは、栄養を専門としない院生にも業務や研究に役立つ情報を提供すること、栄養からのアプローチの視点の重要性を伝えることだった。英文抄録を読む演習も取り入れた。

〇演習を取り入れることで、講義内容と実際を関連づけられるように工夫した。

〇最新の研究などを講義に含めたいため、講義では英文論文を使用した。論文中の専門的な言葉の意味などの理解を促すように授業を進めた。さらに、自分で考える力を養うことや研究や論文の読み取り方なども講義中に言及した。

〇授業内容に関連する新しい資料に関心を持ってもらうため、それらを解説するビデオを使い効果があったと思う。

〇2016 年度に向けて、これまでのカリキュラムを大幅に改定し、重複なく系統的に受講できるようなカリキュラムを編成し、シラバスも充実させた。

3. 授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

〇今後も、事例を中心とした具体的な内容を多く含めた構成としていきたい。また、討議の時間を十分に確保するようにしていく。

〇ある程度講義の前に院生の意見を聴き、レベルに合わせて組み立てられればよい。

〇教材や質疑応答の機会の設定、授業時間の適切な活用について、「ややそう思う」という回答があったので、より工夫をした講義を行っていこうと考えている。

〇ディスカッションや質疑応答により、学生の理解を確認しつつ考えを深めたり発展させたりしていけるようにする。

〇クリニカル・クウェスチョンからリサーチクウェスチョンへの探求を試み、自らの研究課題を明らかにすること、また、文献検討・まとめを討議するなど、分かり易い授業や研究指導を検討していきたいと考えている。

〇できるだけ院生の疑問に応える姿勢を継続したい。

〇質疑も含め、授業中の発言を引き出せるよう工夫したい。英文抄録を読む演習については、一部の院生には負担に感じられたようだが、苦手意識を植え付けないよう、グループワークやあらかじめ資料を渡しておくなどの工夫をしたい。英語論文を活用する講義は修士課程では求められるレベルなので今後も続けたい。

〇平成 28 年度も前年度同様に演習や学会等の参加を取り入れていきたい。

4. その他の記述

〇シラバスを授業の実態に近づける工夫をして、学生がある程度予習や質問項目を考えることができるように改善していくべきだと思う。

○大学院教育は少人数であるので、色々な教育技法がとりやすいと思う。そのため、たとえば Think pair share(TPS)としてクラス全体に話し合いのテーマを与え、個人思考や集団思考をまとめて発表させるなどの手法を取り入れたいと考えている。
○社会人大学院であっても質の担保のため、選抜において英語力は必要だと思う。
○受講者の人数が今後増加すると、ゼミ形式での学習がより充実するのではないかと期待している。
○教員は、学生が自ら考え行動できる能力が培われるような教育を探求し、実行していきたいと思っている。大学院生として、多くの本や文献を読み、積極的に授業や演習に取り組み、自信を持って頑張って欲しい。
○大学院生は勉学に対して積極的で、研究に真摯に取り組んでいる様子が伺え、働きながら進学できる、本学大学院の社会的意義を感じた。

平成27年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科　修士課程

〇全科目数　55科目　　**〇調査対象者数**　421人（延人数）
〇総回答数　269枚（回答率63.9％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（ ）は平成26年度集計結果】

（%）

質　問　項　目		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思うか		(55.7)	(37.8)	(5.0)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		62.8	30.9	5.6	0.4	0.3	0.0	100.0
2. この授業に興味、関心が持てたと思うか		(62.0)	(32.5)	(4.5)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		70.6	25.7	2.6	0.4	0.4	0.3	100.0
3. 授業内容をよく理解できたと思うか		(36.1)	(49.5)	(12.9)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		47.2	40.9	10.0	1.5	0.4	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役立つと思うか		(67.4)	(25.2)	(6.9)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		72.5	22.7	3.7	0.7	0.0	0.4	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容だったか		(54.3)	(31.3)	(11.9)	(1.5)	(1.0)	(0.0)	(100.0)
		63.2	28.6	6.7	0.7	0.4	0.4	100.0
6. この授業を、ほかの人にも勧めたいと思うか		(56.9)	(30.2)	(11.4)	(1.0)	(0.5)	(0.0)	(100.0)
		65.4	27.5	6.0	0.0	1.1	0.0	100.0
7. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか		(47.0)	(40.1)	(11.4)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		67.3	27.5	4.1	0.7	0.4	0.0	100.0
8. この授業の進め方は適切だったと思うか		(62.4)	(24.3)	(11.4)	(1.5)	(0.4)	(0.0)	(100.0)
		67.7	27.9	3.0	0.7	0.7	0.0	100.0
9. この授業の教材・教具等は適切だったと思うか		(55.8)	(30.8)	(12.4)	(0.5)	(0.5)	(0.0)	(100.0)
		65.4	29.0	4.1	1.1	0.4	0.0	100.0
10. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか		(65.9)	(27.7)	(5.9)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		76.2	20.1	2.6	0.0	1.1	0.0	100.0
11. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか		(63.5)	(27.9)	(6.1)	(2.0)	(0.5)	(0.0)	(100.0)
		71.7	25.7	0.7	0.7	0.7	0.5	100.0
12. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか		(70.8)	(23.8)	(5.0)	(0.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		84.0	14.1	1.1	0.4	0.4	0.0	100.0
13. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか		(54.5)	(33.7)	(9.9)	(1.0)	(0.9)	(0.0)	(100.0)
		69.5	23.4	5.6	1.1	0.4	0.0	100.0
14. この授業は総合的に満足出来たと思うか		(61.9)	(29.7)	(6.9)	(0.5)	(1.0)	(0.0)	(100.0)
		75.1	21.2	2.6	0.7	0.4	0.0	100.0
全質問項目の平均	**平成26年度**	**(58.2)**	**(31.8)**	**(8.7)**	**(1.0)**	**(0.3)**	**(0.0)**	**(100.0)**
	平成27年度	**68.5**	**26.0**	**4.2**	**0.7**	**0.5**	**0.1**	**100.0**

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科　修士課程

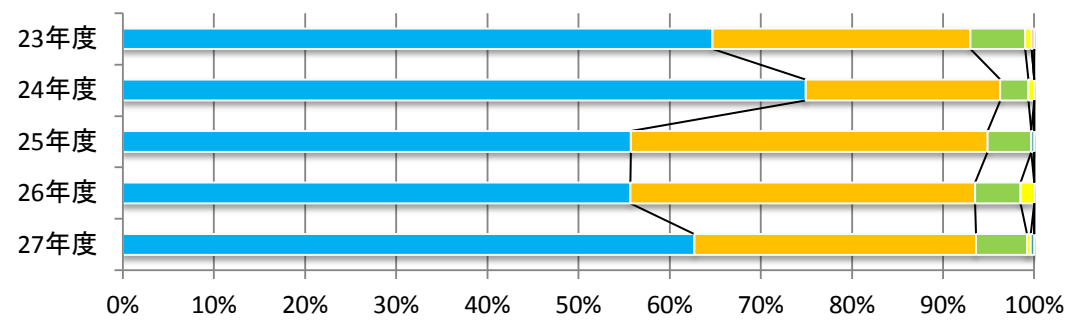
◆ 年度別 授業評価集計結果

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	37科目	44科目	46科目	48科目	55科目
調査対象者数（延人数）	347人	375人	421人	314人	421人
総回答数（回答率）	243枚（70%）	323枚（86%）	314枚（75%）	202枚（64%）	269枚（64%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

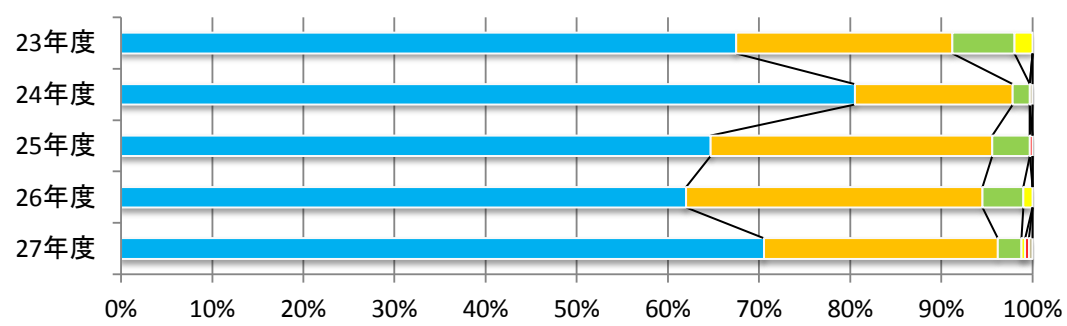
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	64.9	28.4	93.3	－
24年度	74.9	21.4	96.3	＋3.0
25年度	55.7	39.2	94.9	△ 1.4
26年度	55.7	37.8	93.5	△ 1.4
27年度	62.8	30.9	93.7	＋0.2

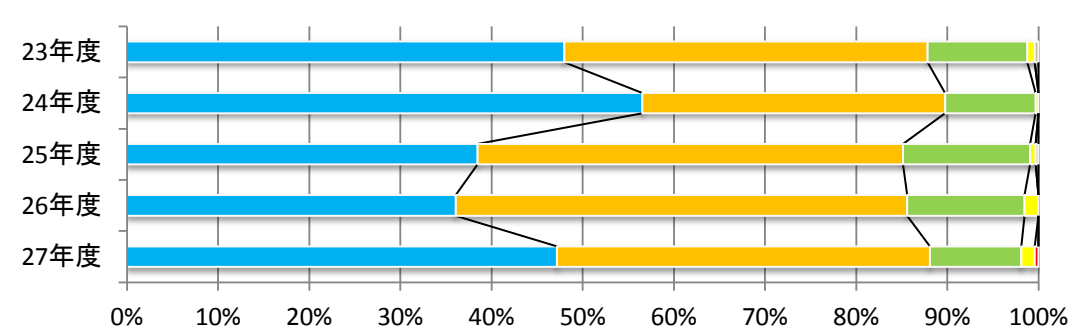
Q2.この授業に興味・関心が持てたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	67.5	23.7	91.2	―
24年度	80.5	17.3	97.8	＋6.6
25年度	64.7	30.9	95.6	△ 2.2
26年度	62.0	32.5	94.5	△ 1.1
27年度	70.6	25.7	96.3	＋1.8

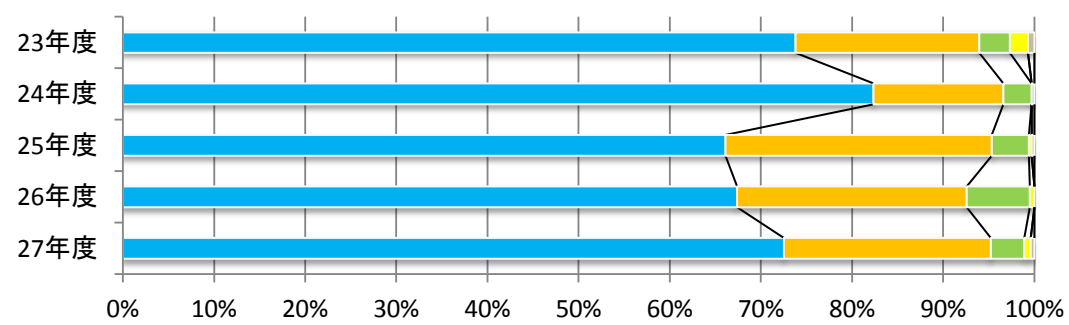
Q3.授業内容をよく理解できたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	48.2	40.0	88.2	－
24年度	56.3	33.1	89.4	＋1.2
25年度	38.6	46.8	85.4	△ 4.0
26年度	36.1	49.5	85.6	＋0.2
27年度	47.2	40.9	88.1	＋2.5

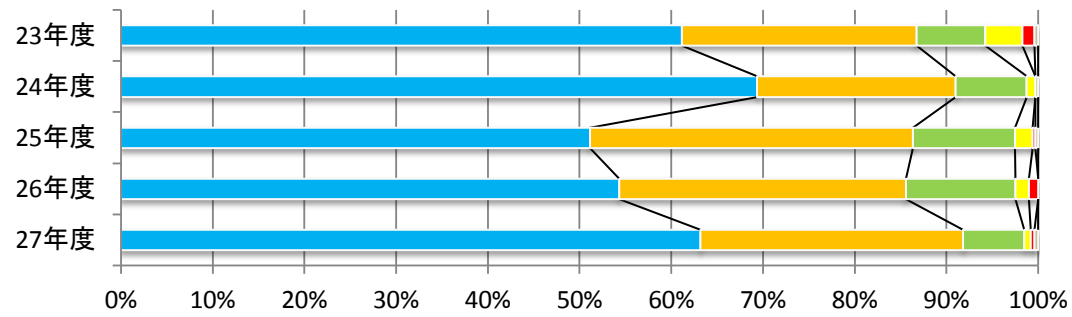
Q4.この授業は将来役立つと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	74.3	20.3	94.6	－
24年度	82.4	14.2	96.6	＋2.0
25年度	66.3	29.3	95.6	△ 1.0
26年度	67.4	25.2	92.6	△ 3.0
27年度	72.5	22.7	95.2	＋2.6

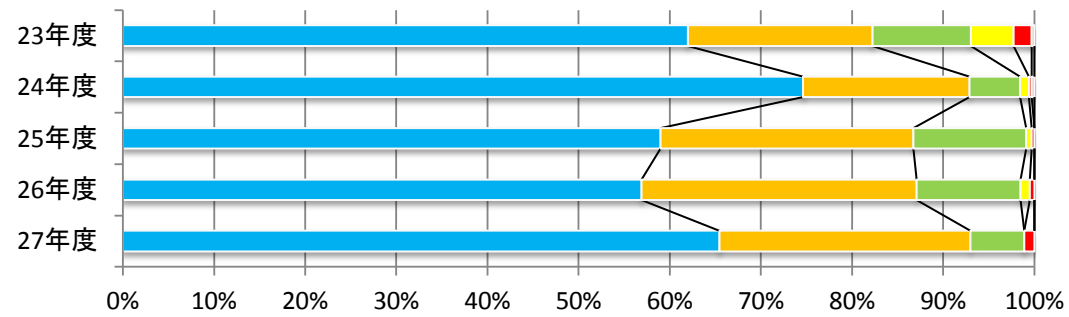
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	61.4	25.7	87.1	－
24年度	69.3	21.7	91.0	＋3.9
25年度	51.3	35.4	86.7	△ 4.3
26年度	54.3	31.3	85.6	△ 1.1
27年度	63.2	28.6	91.8	＋6.2

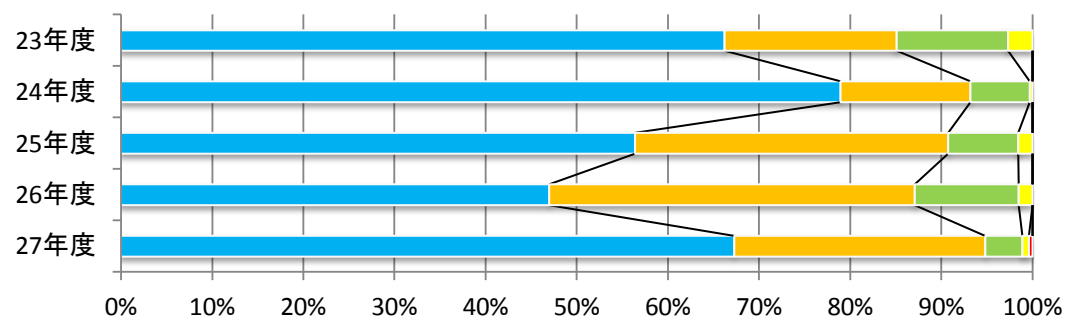
Q6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	62.2	20.3	82.5	―
24年度	74.6	18.3	92.9	＋10.4
25年度	59.0	27.7	86.7	△ 6.2
26年度	56.9	30.2	87.1	＋0.4
27年度	65.4	27.5	92.9	＋5.8

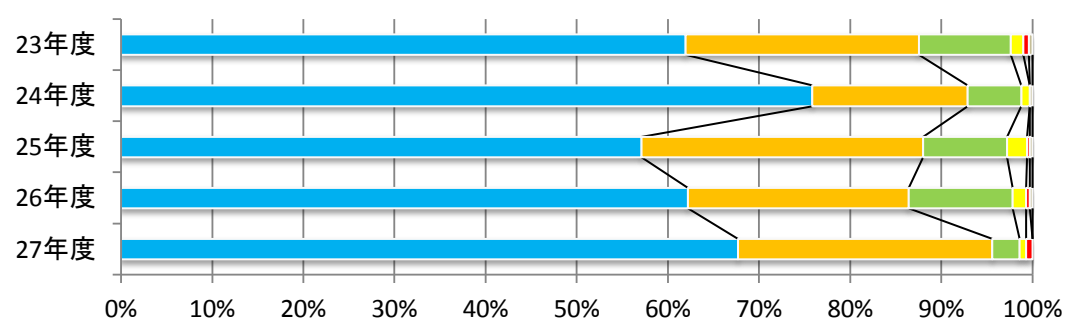
Q7.授業はシラバスに沿って行われたと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	66.2	18.9	85.1	―
24年度	78.9	14.2	93.1	＋8.0
25年度	56.4	34.4	90.8	△ 2.3
26年度	47.0	40.1	87.1	△ 3.7
27年度	67.3	27.5	94.8	＋7.7

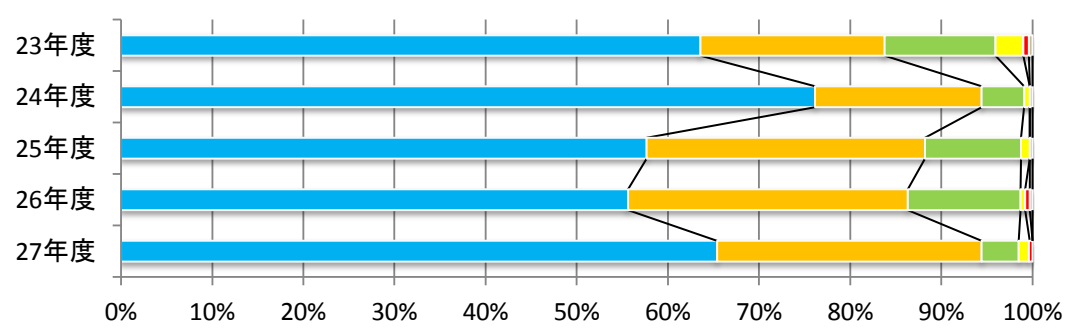
Q8.この授業の進め方は適切だったと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	62.2	25.7	87.9	－
24年度	75.9	17.0	92.9	＋5.0
25年度	57.1	30.9	88.0	△ 4.9
26年度	62.4	24.3	86.7	△ 1.3
27年度	67.7	27.9	95.6	＋8.9

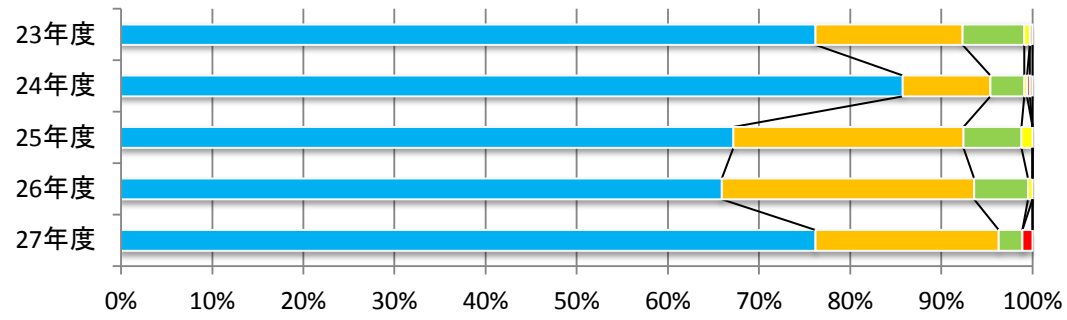
Q9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか



（%）

	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
23年度	63.8	20.3	84.1	－
24年度	76.2	18.3	94.5	＋10.4
25年度	57.6	30.6	88.2	△ 6.3
26年度	55.8	30.8	86.6	△ 1.6
27年度	65.4	29.0	94.4	＋7.8

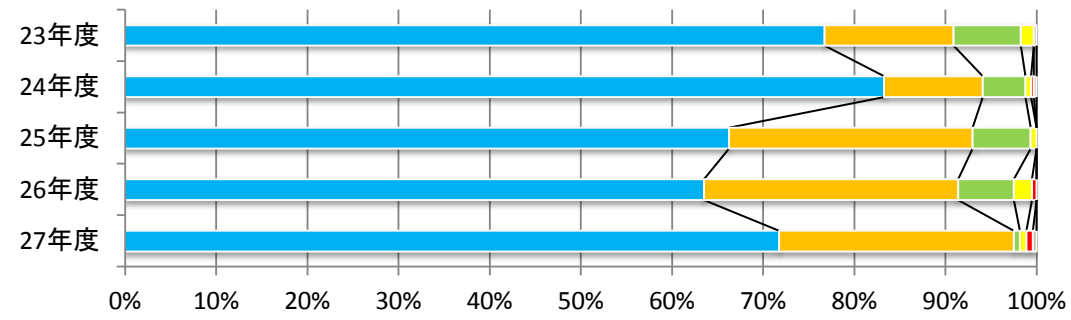
Q10.教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか



（%）

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23年度	76.4	16.2	92.6	―
24年度	85.8	9.6	95.4	＋2.8
25年度	67.2	25.2	92.4	△ 3.0
26年度	65.9	27.7	93.6	＋1.2
27年度	76.2	20.1	96.3	＋2.7

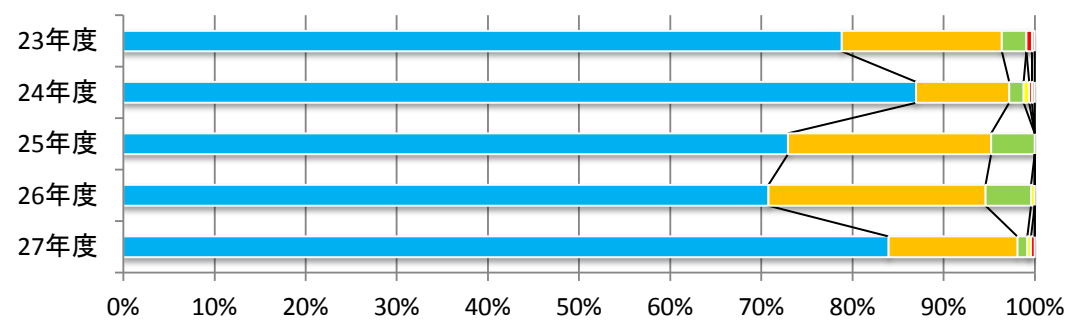
Q11.教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか



（%）

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23年度	77.0	14.2	91.2	―
24年度	83.3	10.8	94.1	＋2.9
25年度	66.2	26.8	93.0	△ 1.1
26年度	63.5	27.9	91.4	△ 1.6
27年度	71.7	25.7	97.4	＋6.0

Q12.教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか

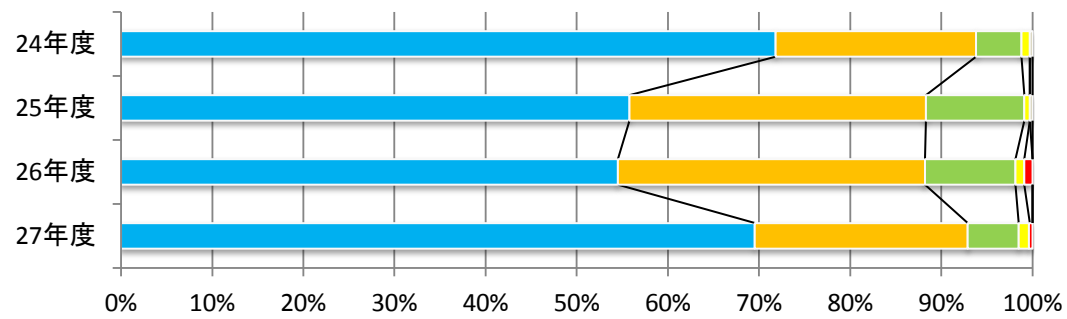


（%）

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23年度	79.1	17.6	96.7	―
24年度	87.0	10.2	97.2	＋0.5
25年度	72.9	22.3	95.2	△ 2.0
26年度	70.8	23.8	94.6	△ 0.6
27年度	84.0	14.1	98.1	＋3.5

Q13.教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか

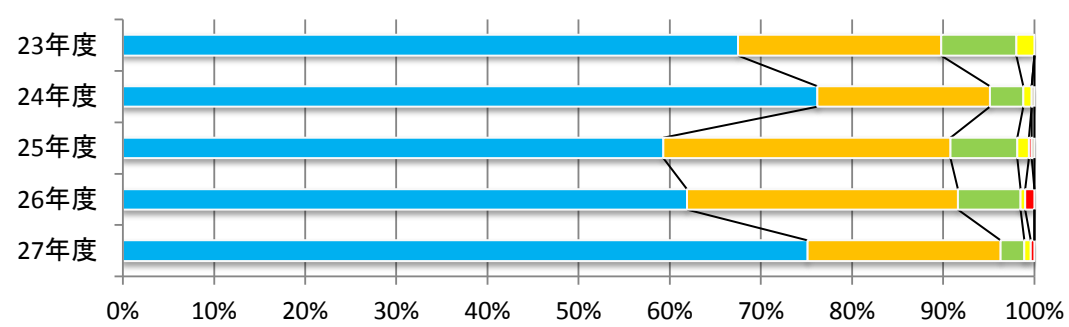
（24年度新規質問項目）



（%）

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24年度	71.8	22.0	93.8	―
25年度	55.8	32.5	88.3	△ 5.5
26年度	54.5	33.7	88.2	△ 0.1
27年度	69.5	23.4	92.9	＋4.7

Q14.この授業は総合的に満足出来たと思いますか



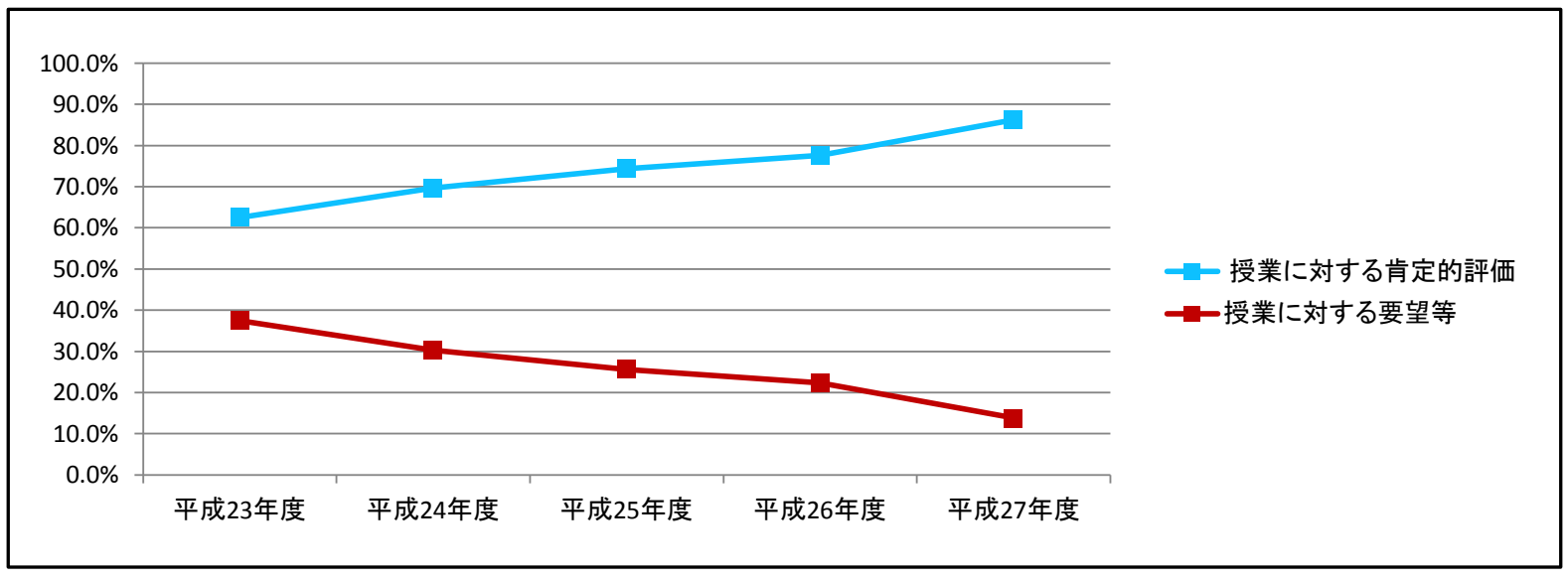
（%）

	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23年度	67.5	22.3	89.8	-
24年度	76.2	18.9	95.1	＋5.3
25年度	59.3	31.5	90.8	△ 4.3
26年度	61.9	29.7	91.6	＋0.8
27年度	75.1	21.2	96.3	＋4.7

◆ 年度別　自由記述集計結果

	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(62.5%)	45	(69.7%)	23	(74.4%)	87	(77.6%)	59	(86.2%)	75
授業に対する要望等	(37.5%)	27	(30.3%)	10	(25.6%)	30	(22.4%)	17	(13.8%)	12
総件数	(100.0%)	72	(100.0%)	33	(100.0%)	117	(100.0%)	76	(100.0%)	87

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容（平成27年度）

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	75	貴重なご講義を受けられたと思いました。はじめはどんな講義内容か緊張しましたが、次々と現場や自らに活かされるものが講義の中にあふれあっというまでした。 ”考える力”を感じることの出来た学びで、その考える力は今も継続出来ています。 ありがとうございました。
		他の分野・領域の方々と学べること、演習も知識も増やせたこと、 本当に色々なことが想像以上でした。 院で学ぶ栄養学を知れてよかったです。ありがとうございます。
		科目の解き方、砕き力（理解するための咀嚼力）、語り口（伝え方）、面白さ、非常に多くの方が学べたと感じました。かけがえのない機会でした。 その学んだことを最大限修士論文に活かしたいと思いました。 ありがとうございました。
		とても興味深く、この教科を全員で学び議論出来たことはとてもよかった。院に入って良かった！と思う教科の１つです。
		組織の基本的考え方、捉え方が理解ができたと同時に、今、自施設で起きている組織の変化をネガティブに捉えていた考え方がポジティブに変化させることができました。 とても学びの深い授業でした。ありがとうございました。
		講義は具体的で理解しやすく知識が深まりました。 学生同士のグループワークはとても学びになりました。
		授業ありがとうございました。 病院勤務でない私でも分かりやすい指導内容で理解が深まりました。
		生体防御をもっと根底において、日々の業務に生かしていかなければと思わせてくれる講義でした。 また、先生の方が課題に取り組まれて解決して来られる姿に、私たちも自調自考し、”もっと頑張らなくちゃ！”という気持ちにさせられ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
		難しい内容を私たちでも理解できるよう、毎回資料とスライドを用いて、分かりやすく講義して下さいました。 また、日頃の業務で悩んでいることや困っていることについても、気軽に相談しやすい雰囲気を作ってくださいましたし、講義について相談すると、次の講義までには沢山の文献や専門図書等を紹介して下さり、お忙しい中丁寧にご指導して頂きました。
		研究演習を通して、研究とは何か気づく基盤ができました。 手厚いご指導ありがとうございました。
授業に対する要望等	12	質的研究の基本を知りたくて入学したので満足です。今後もこういった講義、演習が続くと思うととても楽しみでありますとともに引き続き期待しております。
		講義内容が毎回興味深く、しかも面白かったです。ただ欲を言えば質問する時間を全く取っていただかなかったので残念でした。質問時間があればその時に自分なりにもっと深められたと思うので、今後は質問タイムを入れて欲しいです。
		学習理論の討議はとても勉強になりました。（時間が足りないと感じる位でした。） 合理的配慮に関して、事例をまじえて説明して頂いたのでとても分かりやすかったので、こういった事例などをまじえた説明は良いと思います。
計	87	

平成 27 年度 授業評価実施結果についての概要

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

〇本学部では、前期・後期に実施された講義・演習科目及び実習・実験科目の全授業科目について、学生による授業評価を実施しました。授業評価結果については、当該教員に配布し、次年度以降の授業改善の基礎データとして活用していただくこととしており、その具体的な内容等については、学部年報に記載し公表するとともに、授業評価結果に対する考察を公表しております。

〇授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため平成 25 年度から「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」について尋ねる記述式の質問を新たに加えております。
また、自由記述件数は、各年度により記述項目の増減があり、これに伴い、総件数も増減していますが、「授業に対する肯定的評価」は総件数の概ね 8 割で安定的に推移しています。

〇授業評価結果の各質問項目別の集計結果については、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」及び「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
また、自由記述については、「授業に対する肯定的評価」、「授業に対する要望等」及び「施設・設備等に関する要望等」に分類するとともに、その主な具体的意見等が分かるよう表記しております。

質問項目別の肯定的な回答の「そう思う」「ややそう思う」の割合は以下のとおりとなっています。

			前年度
Ⅰ.	学生として自分自身の授業態度について	86.3%	(86.7%)
Ⅱ.	授業内容について	81.3%	(81.5%)
Ⅲ.	教員の教え方について	80.9%	(80.4%)
Ⅳ.	教員の姿勢について	80.7%	(80.9%)
全質問項目の平均		82.0%	(81.8%)

平成27年度 東が丘・立川看護学部の授業評価結果に対する考察

副学長　学部長　山西　文子
副学長　　草間　朋子

〇授業評価を行う対象学生数は延べ14,772人で、評価対象になった科目数は157科目である。授業アンケートへの回答率は、97.4%で年々増加傾向にあり、授業評価の重要性に対する学生の意識が高まりつつあることを示しており、教員も授業評価の結果を教育の質向上のために活用していく姿勢がより一層求められていることを認識している。

〇平成 26 年度から、本学部の 1 年次の定員を 100 名から 200 名に増員し、「臨床看護学コース」と「災害看護学コース」の2つのコースに分け、看護の基礎教育に関連した科目(指定規則上、必要な科目)については全く同じカリキュラムの下で講義・演習・実習を展開することにしている。しかし、講義、演習、実習の担当教員、実習施設等はそれぞれコースごとに別に決め、学生の理解度などを高める工夫をしている。今回の授業評価(臨床看護学コース：1～4 年次生、災害看護学コース：1～2 年次生)については 2 つのコースの結果をまとめたものに対して考察する。

〇「学生としての自分自身の授業態度について」の全ての評価項目(3 項目)で、「そう思う」「ややそう思う」が 80%以上を占めており、学生の授業態度に対する自己評価が高いことを示している。しかし、これとは別に実施されている「学生生活実態調査」の結果では、1 日当たりの自主学習の時間が想像以上に短いことが示されており、専門職をめざす学生にとって、事前学習、事後学習の必要性をしっかり認識させていく必要があると考えている。「授業内容」に関する全ての評価項目(3 項目)、「教員の教え方」に関する全ての評価項目(3 項目)、「教員の姿勢」に関する全ての評価項目(3 項目)では、「そう思う」「ややそう思う」が80%以上を占めており、教員が学生の理解度の向上に向けて積極的に教育に取り組んでいる姿勢の表れであると考えている。さらに、自由記載欄に記述さている内容を真摯に受け止め、学生の授業に対する関心・興味を高め、学生の理解度を向上させる努力をしていく必要がある。

〇本学部は、1 年次から看護・看護学に関する専門的な授業科目を取り入れて、1 年次に臨地実習を配置し、学習に対する目的意識、意欲を高め、看護学を学ぶことのモチベーションを早い時期から高めることとしており、これが今回の授業評価の結果にも反映されているものと確信している。

〇授業評価の結果を活用し、改善すべきところは改善し、本学部が教育目標に揚げている tomorrow's　Nurse の育成を目指して教職員一同、教育の質の保証・向上に努めていきたい。

以上

平成27年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○全科目数　157科目　○調査対象者数　14,772人（延人数）
○総回答数　14,383枚（回答率 97.4%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
〈質問項目番号の( )は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の授業態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1(1) 授業(実習･実験)態度はよかったと思うか。	(52.5) 48.3	(32.9) 37.4	(11.3) 11.4	(1.0) 1.0	(0.1) 0.4	(2.2) 1.5	(100) 100
2(2) 出席率はよかったと思うか。	(67.7) 63.4	(22.3) 25.9	(8.1) 8.3	(0.7) 0.6	(0.2) 0.3	(1.0) 1.5	(100) 100
3(3) 積極的に取り組んだと思うか。	(52.0) 46.8	(32.8) 37.1	(12.9) 13.4	(1.0) 1.2	(0.3) 0.4	(1.0) 1.1	(100) 100
計	(57.4) 52.8	(29.3) 33.5	(10.8) 11.0	(0.9) 0.9	(0.2) 0.3	(1.4) 1.4	(100) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4(4) 授業(実習･実験)に興味・関心が持てたと思うか。	(47.2) 42.4	(35.8) 39.5	(13.5) 13.6	(1.7) 1.9	(0.6) 0.9	(1.2) 1.5	(100) 100
5(5) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。	(39.2) 37.4	(39.8) 41.5	(16.8) 16.0	(2.4) 2.5	(0.7) 1.1	(1.1) 1.5	(100) 100
6(6) この授業(実習･実験)内容は将来役立つと思うか。	(50.4) 46.0	(31.9) 36.9	(12.6) 13.0	(1.4) 1.7	(0.7) 0.8	(3.0) 1.6	(100) 100
計	(45.6) 42.0	(35.9) 39.3	(14.3) 14.2	(1.8) 2.1	(0.7) 0.9	(1.7) 1.5	(100) 100
Ⅲ　教員の教え方について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8(7) 授業(実習･実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。	(46.9) 44.2	(33.5) 37.9	(13.5) 13.9	(1.1) 1.5	(0.6) 0.7	(4.4) 1.8	(100) 100
14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(46.2) 42.3	(34.1) 37.3	(15.4) 15.3	(1.8) 2.1	(0.9) 1.0	(1.6) 2.0	(100) 100
計	(46.6) 43.3	(33.8) 37.6	(14.4) 14.6	(1.5) 1.8	(0.7) 0.8	(3.0) 1.9	(100) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15(10) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。	(47.9) 43.7	(33.5) 37.4	(13.3) 14.0	(1.6) 1.9	(0.7) 1.0	(3.0) 2.0	(100) 100
16(11) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(50.3) 45.2	(32.8) 36.7	(13.4) 13.3	(1.1) 1.7	(0.6) 0.9	(1.8) 2.2	(100) 100
17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習･実験)を行ったと思うか。	(44.6) 41.3	(33.5) 37.8	(14.8) 14.9	(2.7) 2.3	(2.7) 1.2	(1.7) 2.5	(100) 100
計	(47.6) 43.4	(33.3) 37.3	(13.9) 14.1	(1.8) 2.0	(1.3) 1.0	(2.1) 2.2	(100) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18(13) この授業は総合的に満足できたと思うか。	(42.0) 40.6	(31.2) 37.2	(14.1) 14.4	(2.7) 2.0	(2.7) 1.1	(7.3) 4.7	(100) 100
全質問項目の平均	(48.9) 45.1	(32.9) 36.9	(13.3) 13.5	(1.6) 1.7	(0.9) 0.8	(2.4) 2.0	(100) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

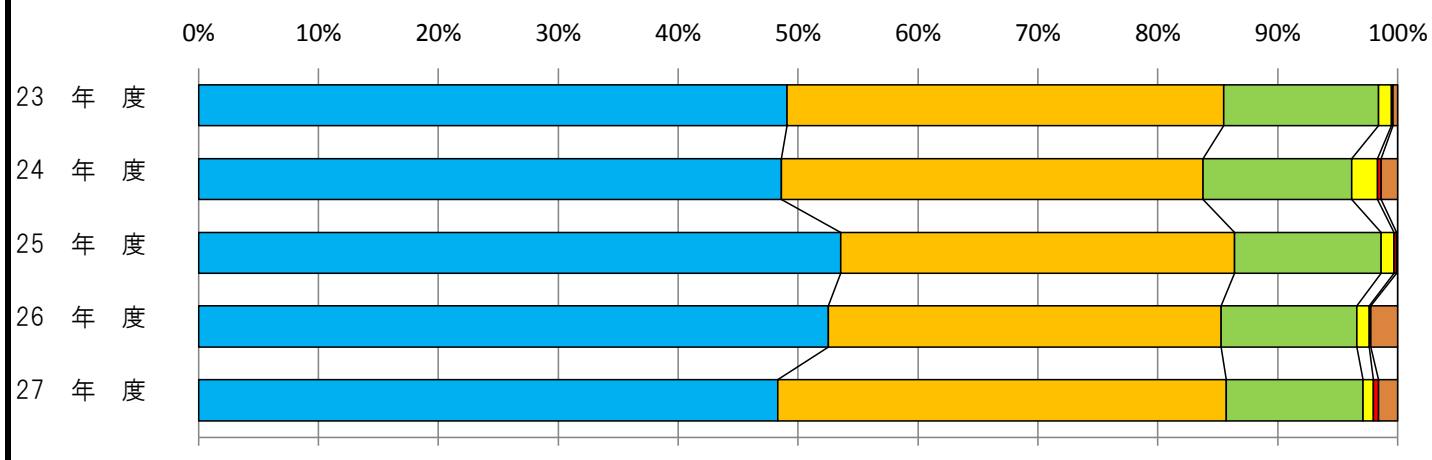
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	88科目	103科目	103科目	119科目	157 科目
調査対象者数	8404人	9,499人	10,115人	12,915人	14,772人
総回答数（回答率）	7727枚（92%）	8876枚（93.4%）	9,195枚（90.9%）	12,360枚（95.7%）	14,383枚（97.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

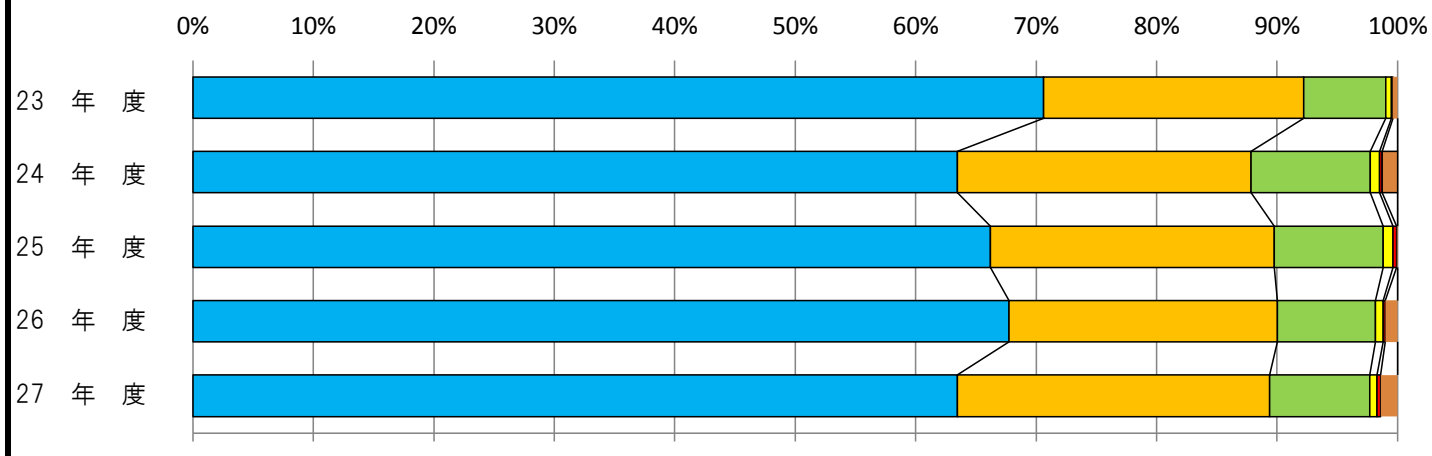
Ⅰ 学生として、自分自身の授業態度について

1(1) 授業(実習･実験)態度はよかったと思うか。



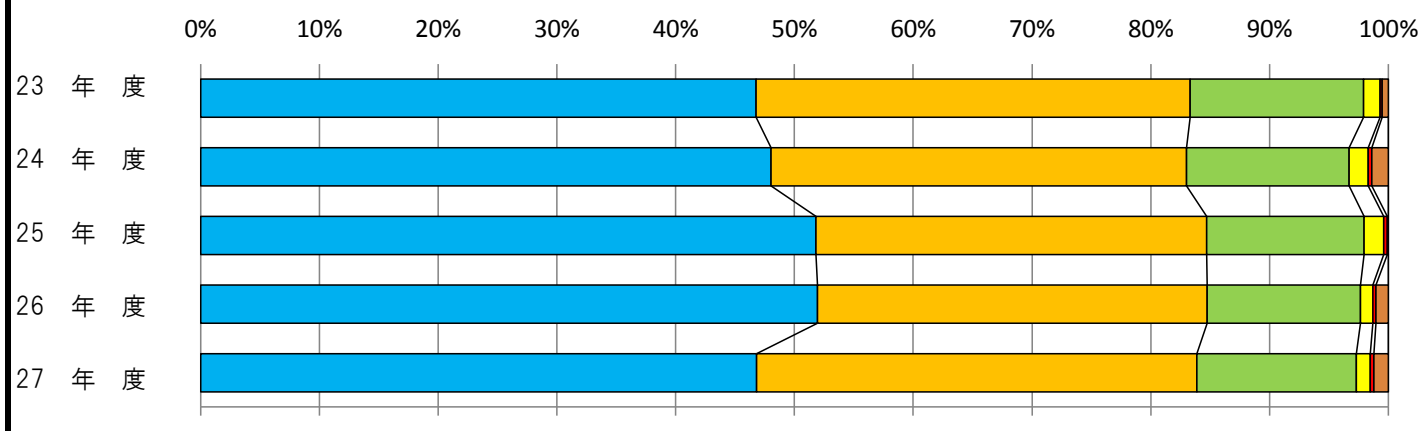
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.1	36.4	85.5	－
49.5	35.8	85.3	△0.2
53.5	32.9	86.4	＋1.1
52.5	32.8	85.3	△1.1
48.3	37.4	85.7	＋0.4

2(2) 出席率はよかったと思うか。



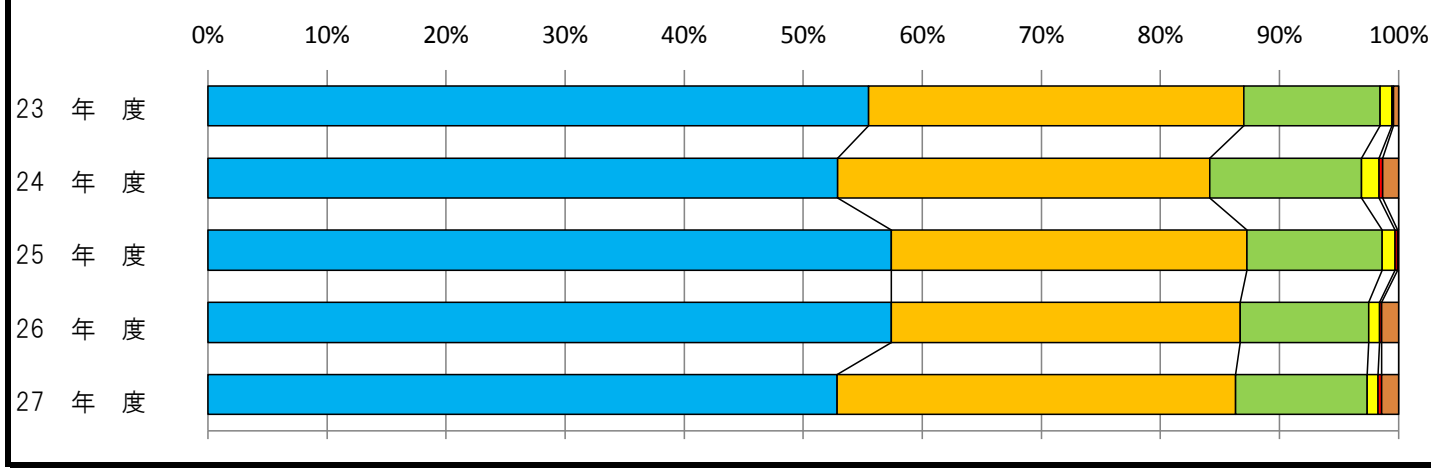
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
70.6	21.6	92.2	－
64.2	24.7	88.9	△3.3
66.3	23.6	89.9	＋1.0
67.7	22.3	90.0	＋0.1
63.4	25.9	89.3	△0.7

3(3) 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
46.8	36.6	83.4	－
48.3	35.2	83.5	＋0.1
51.6	32.8	84.4	＋0.9
52.0	32.8	84.8	＋0.4
46.8	37.1	83.9	△0.9

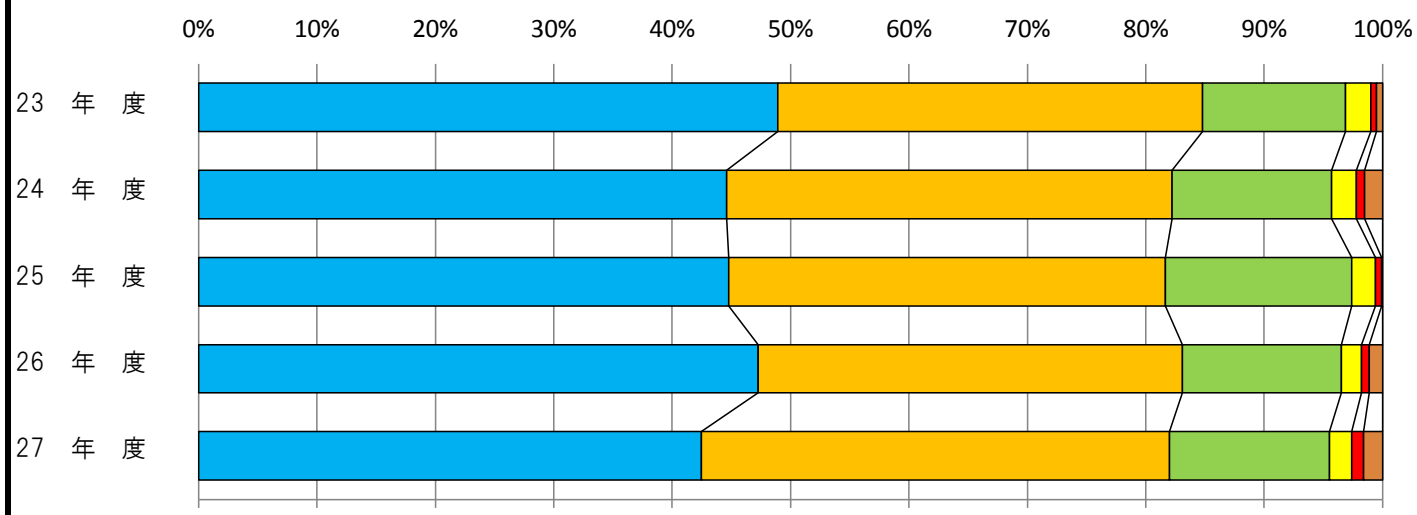
「計」（質問項目 1(1) ～ 3(3)）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.5	31.5	87.0	－
54.0	31.9	85.9	△1.1
57.2	29.8	87.0	＋1.1
57.4	29.3	86.7	△0.3
52.8	33.5	86.3	△0.4

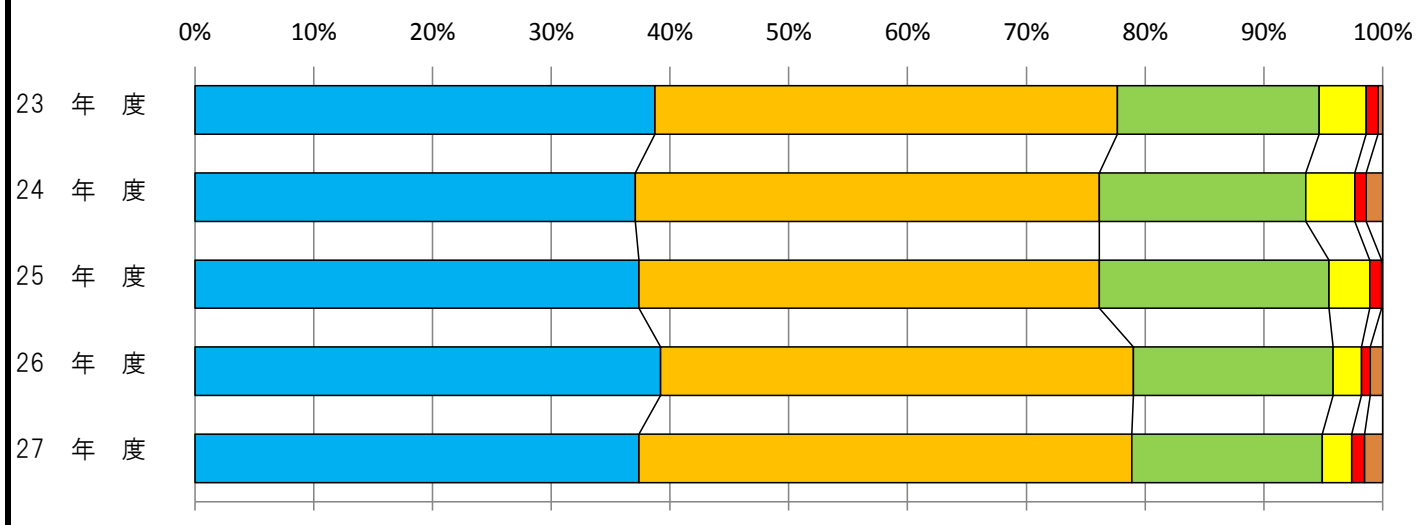
Ⅱ　授業内容について

4(4) 授業(実習･実験)に興味・関心が持てたと思うか。



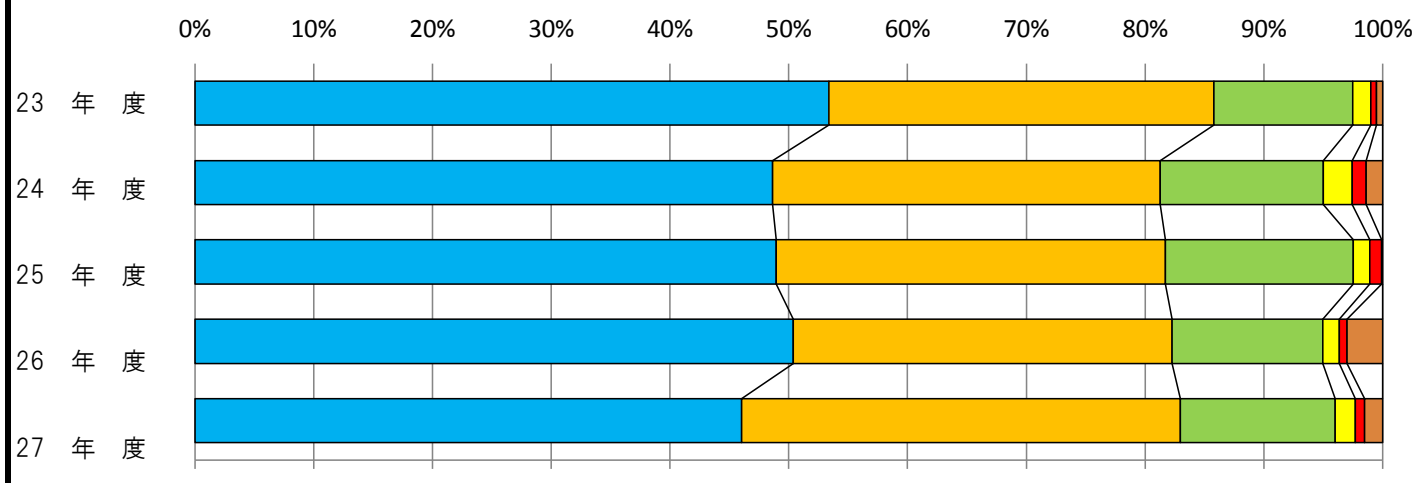
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.6	35.7	84.3	－
44.6	37.6	82.2	△2.1
44.5	36.7	81.2	△1.0
47.2	35.8	83.0	＋1.8
42.5	39.6	82.1	△0.9

5(5) 授業(実習･実験)内容をよく理解できたと思うか。



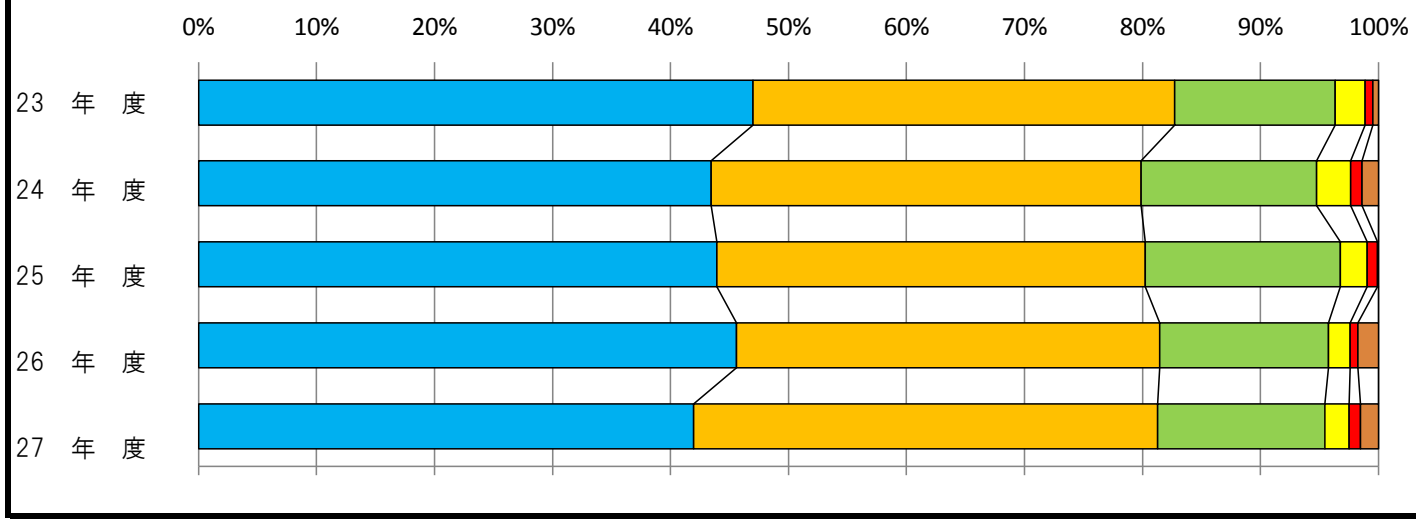
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.2	39.4	78.6	－
37.9	39.9	77.8	△0.8
37.7	39.2	76.9	△0.9
39.2	39.8	79.0	＋2.1
37.4	41.5	78.9	△0.1

6(6) この授業(実習･実験)内容は将来役立つと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.3	32.4	85.7	－
49.6	33.3	82.9	△2.8
49.5	33.2	82.7	△0.2
50.4	31.9	82.3	△0.4
46.0	36.9	82.9	＋0.6

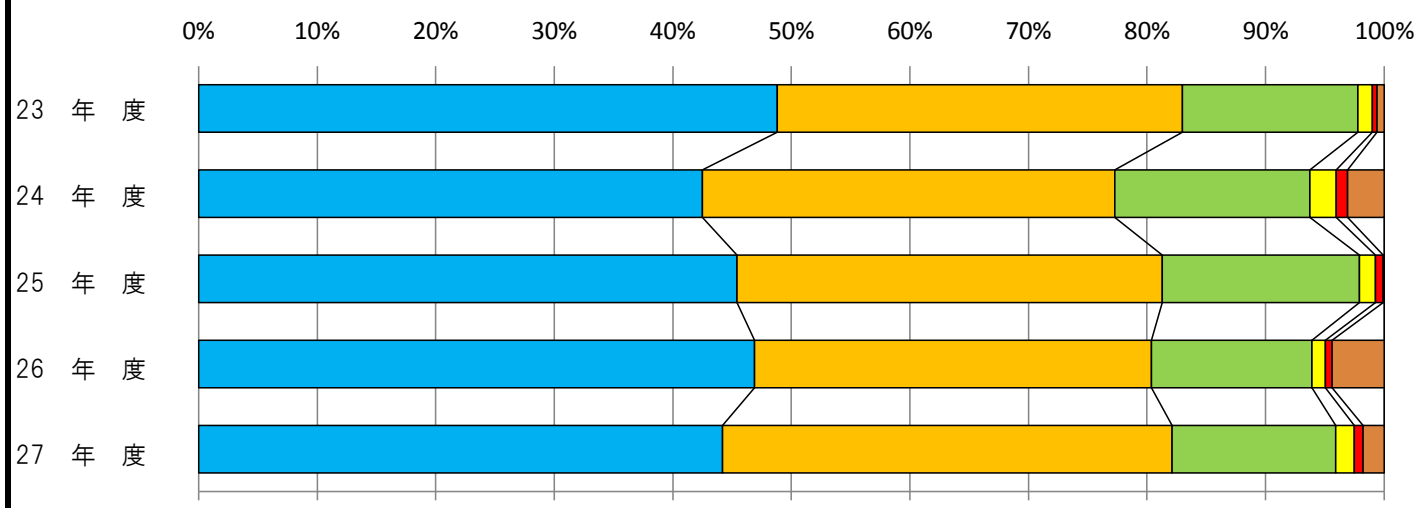
「計」(質問項目 4(4) ～ 6(6))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.0	35.8	82.8	－
44.1	36.9	81.0	△1.8
43.9	36.3	80.2	△0.8
45.6	35.9	81.5	＋1.3
42.0	39.3	81.3	△0.2

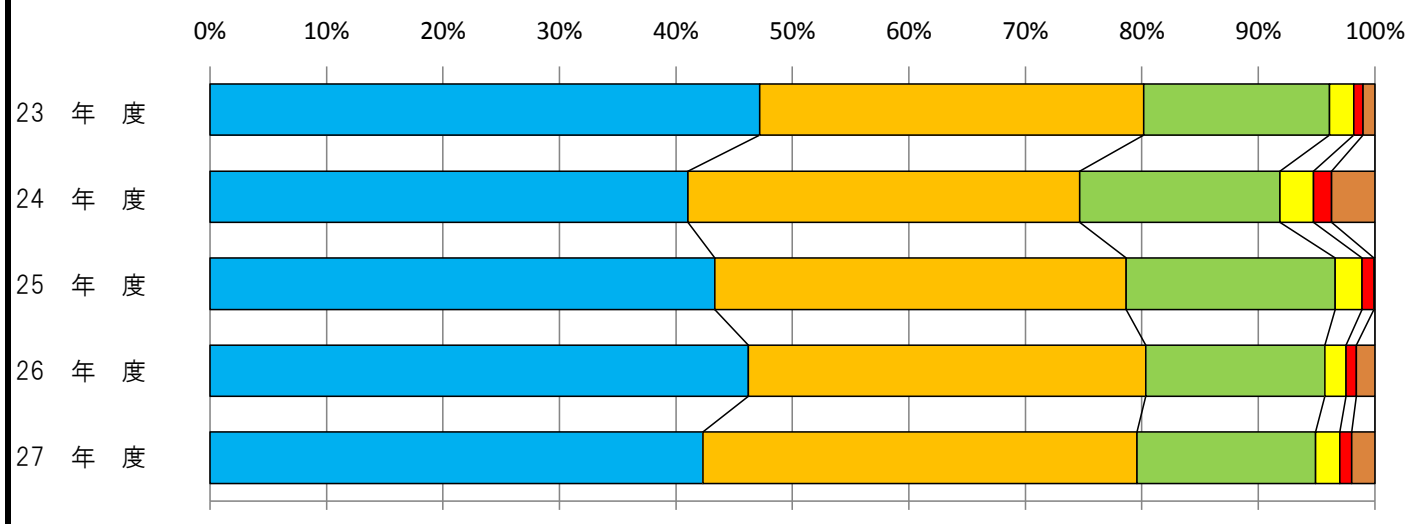
Ⅲ　教員の教え方について

8(7) 授業(実習･実験)はシラバスに沿って行われたと思うか。



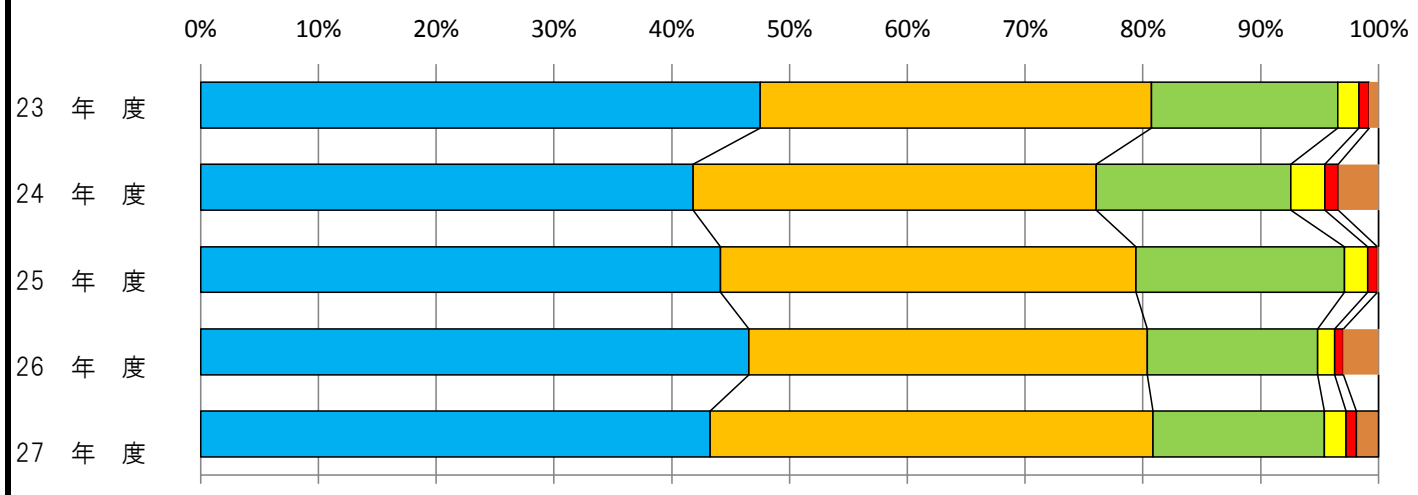
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.8	34.2	83.0	－
44.0	36.0	80.0	△3.0
45.3	35.8	81.1	＋1.1
46.9	33.5	80.4	△0.7
44.2	37.9	82.1	＋1.7

14(9) 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.3	33.0	80.3	－
42.9	35.2	78.1	△2.2
43.4	35.3	78.7	＋0.6
46.2	34.1	80.3	＋1.6
42.3	37.3	79.6	△0.7

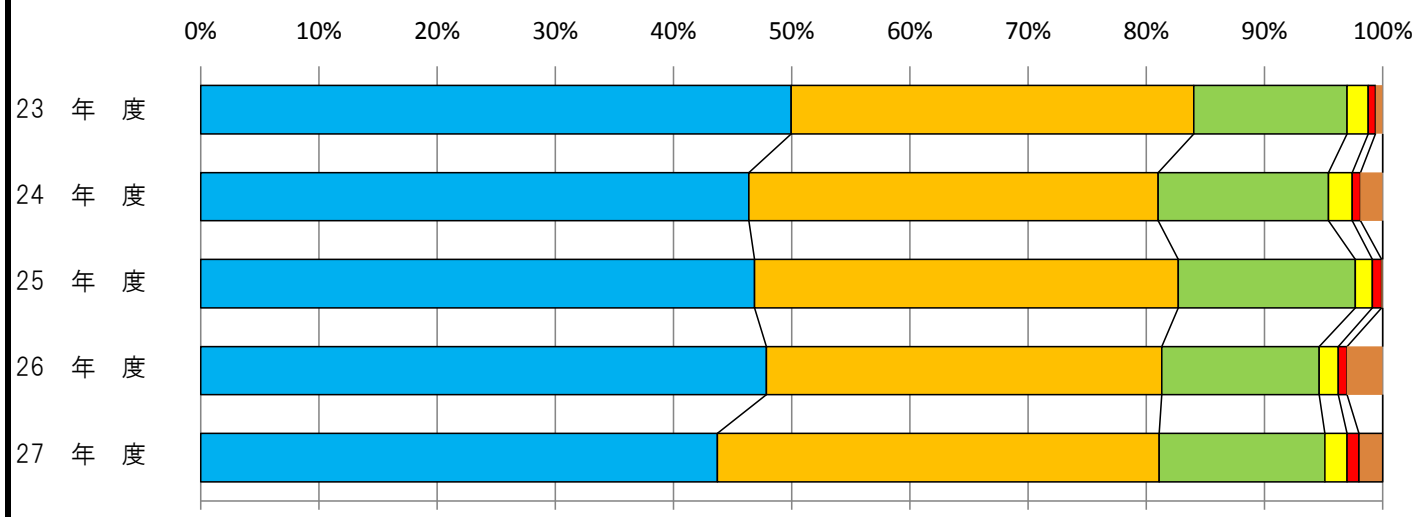
「計」(質問項目 8(7) ・14(9))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
48.1	33.6	81.7	－
43.5	35.6	79.1	△2.6
44.4	35.5	79.9	＋0.8
46.6	33.8	80.4	＋0.5
43.3	37.6	80.9	＋0.5

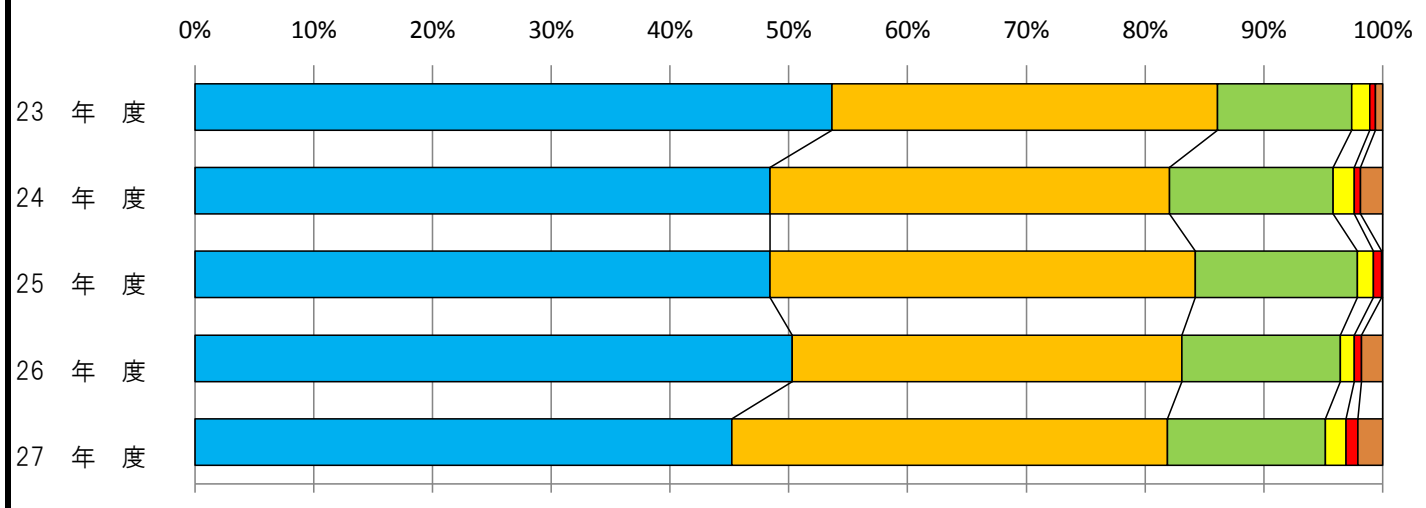
Ⅳ　教員の姿勢について

15(10) 教員は限られた授業(実習･実験)時間を適切に活用したと思うか。



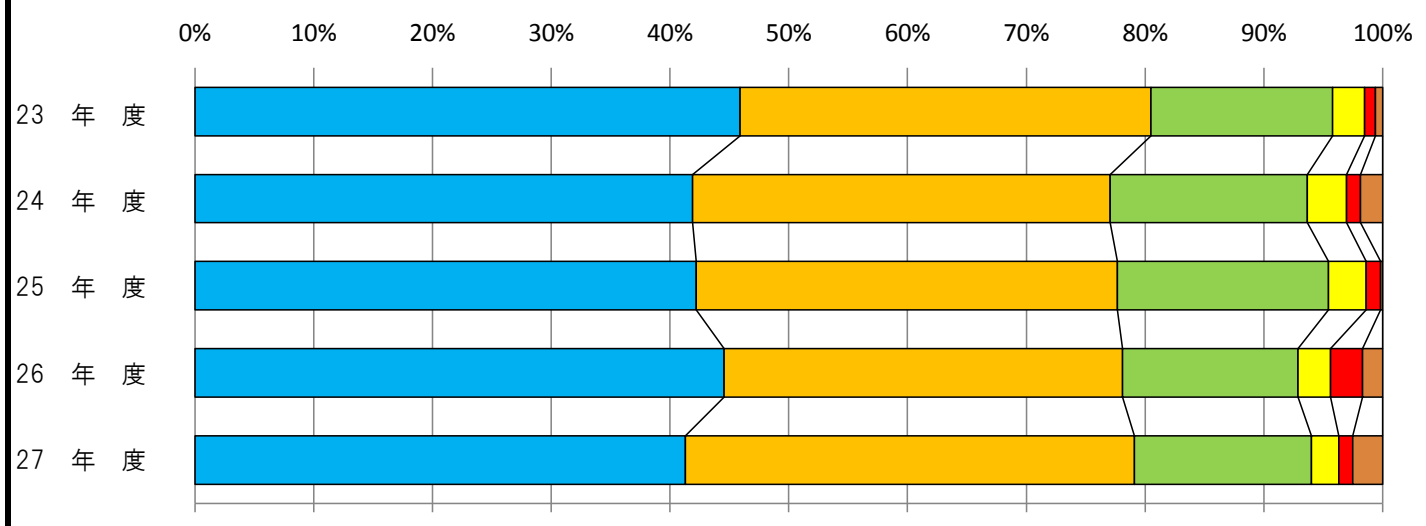
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.0	34.1	84.1	－
46.6	34.8	81.4	△2.7
46.2	35.3	81.5	＋0.1
47.9	33.5	81.4	△0.1
43.7	37.4	81.1	△0.3

16(11) 教員は授業(実習･実験)に熱意を持って臨んでいたと思うか。



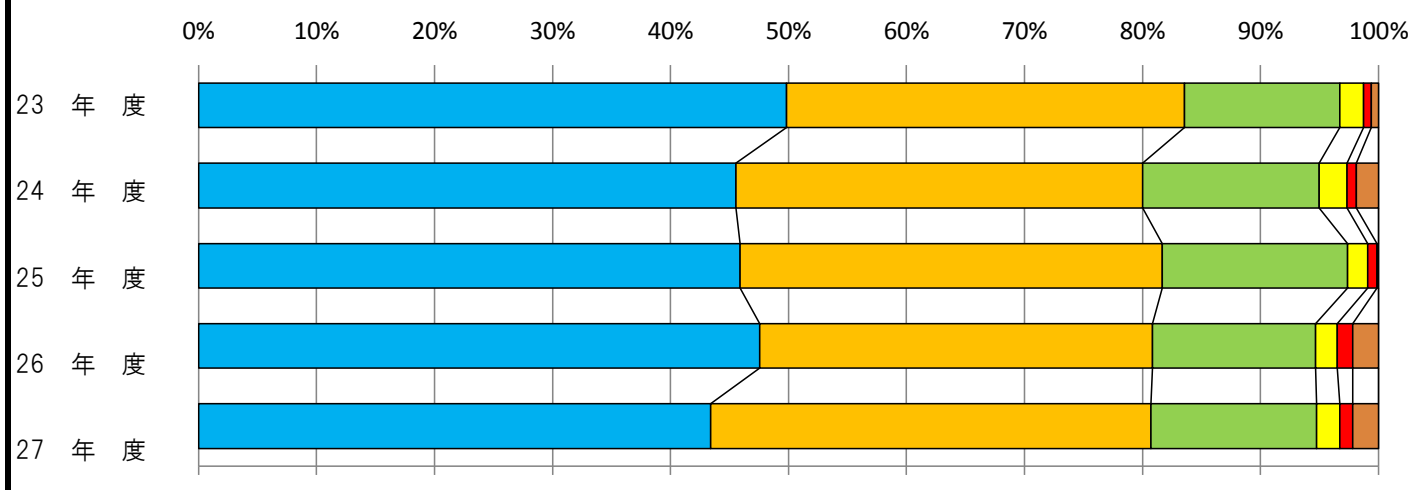
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.7	32.5	86.2	－
48.8	33.9	82.7	△3.5
47.8	35.3	83.1	＋0.4
50.3	32.8	83.1	0.0
45.2	36.7	81.9	△1.2

17(12) 教員は学生のレベルを把握して授業(実習･実験)を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.9	34.6	80.5	－
42.9	36.0	78.9	△1.6
42.8	35.9	78.7	△0.2
44.6	33.5	78.1	△0.6
41.3	37.8	79.1	＋1.0

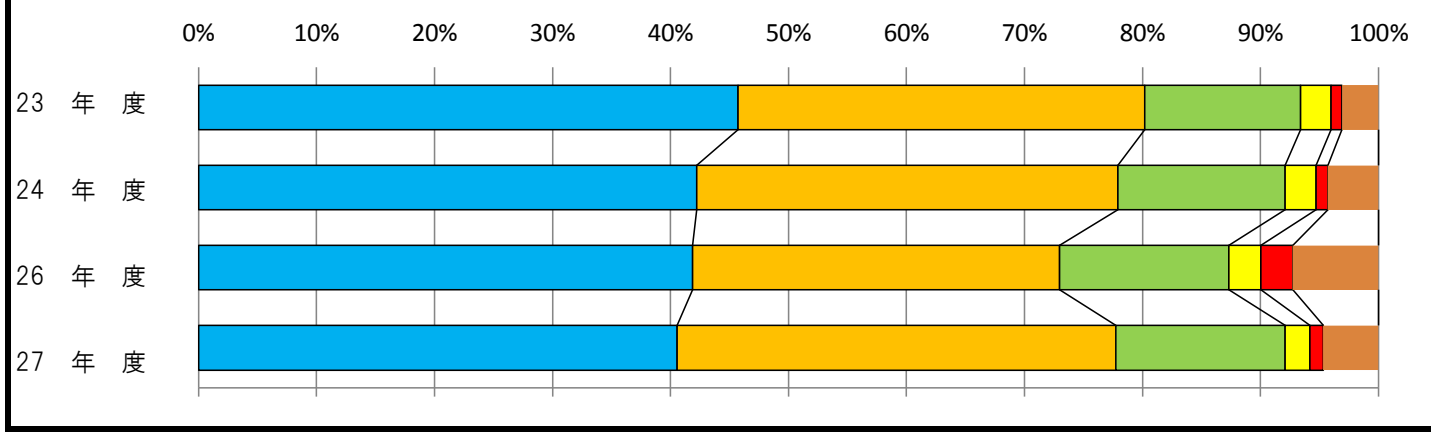
「計」(質問項目 15(10) ～ 17(12))



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.9	33.7	83.6	－
46.1	34.9	81.0	△2.6
45.6	35.5	81.1	＋0.1
47.6	33.3	80.9	△0.2
43.4	37.3	80.7	△0.2

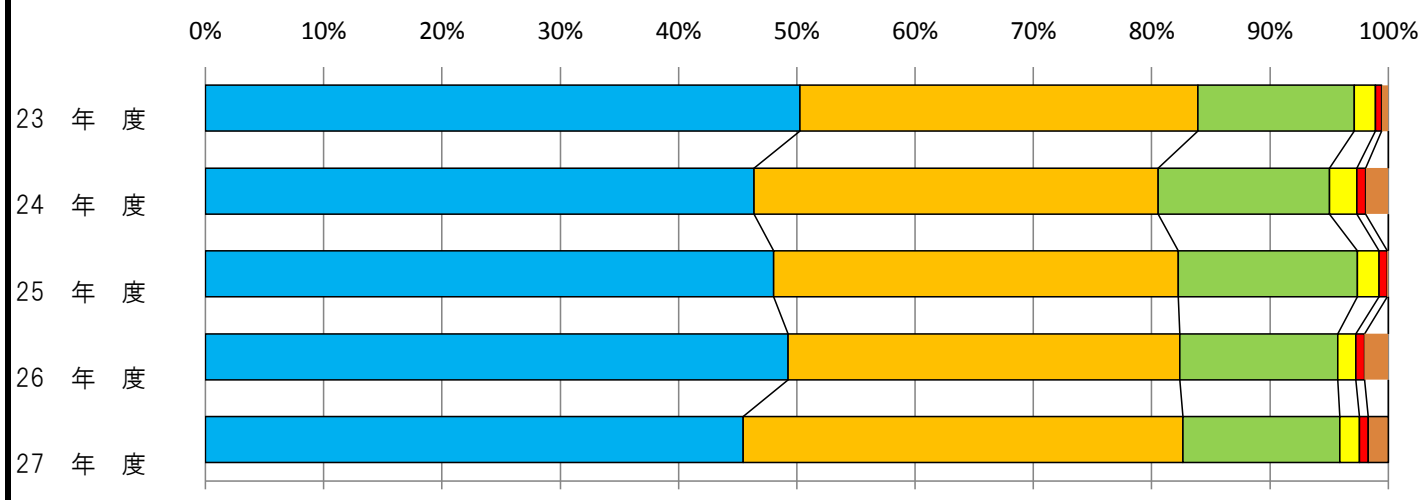
Ⅴ 総合評価

18(13) この授業(実習･実験)は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.7	34.5	80.2	－
42.2	35.7	77.9	△2.3
42.0	31.2	73.2	△4.7
40.6	37.2	77.8	＋4.6

全質問項目の平均

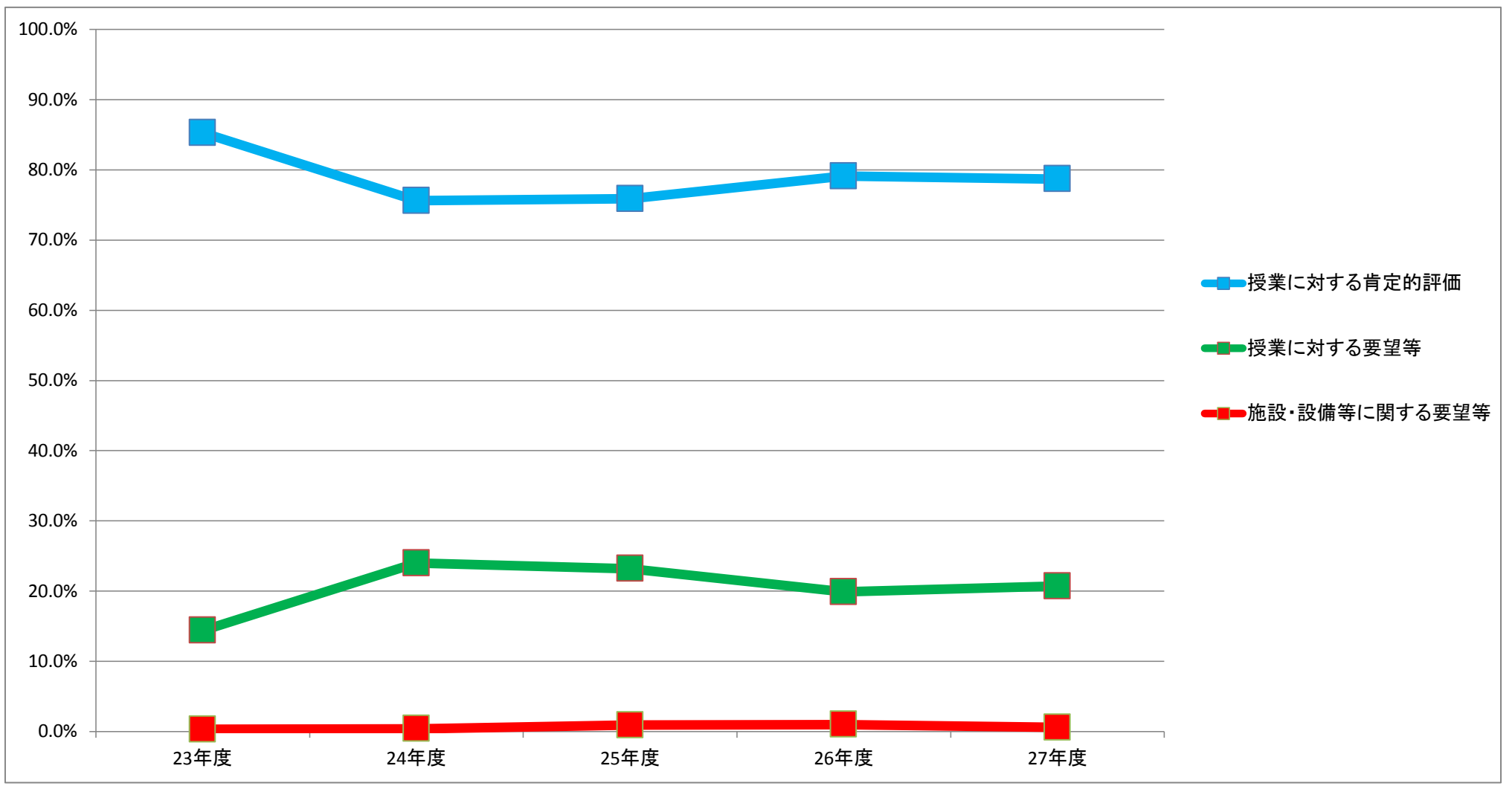


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.3	33.7	84.0	－
47.2	34.8	82.0	△2.0
48.0	34.2	82.2	＋0.2
48.9	32.9	81.8	△0.4
45.1	36.9	82.0	＋0.2

◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(85.3%)	1,699	(75.6%)	1,853	(75.9%)	245	(79.1%)	743	(78.7%)	373
授業に対する要望等	(14.4%)	287	(24.0%)	589	(23.2%)	75	(19.9%)	187	(20.7%)	98
施設・設備等に関する要望等	(0.3%)	5	(0.4%)	9	(0.9%)	3	(1.0%)	9	(0.6%)	3
総件数	(100.0%)	1,991	(100.0%)	2,451	(100.0%)	323	(100.0%)	939	(100.0%)	474

※（　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



内容	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	373	・どの先生も説明が丁寧で、実際に画像を見せてくれたりしてわかりやすかった。 ・質問にしっかり答えていただき、ありがたかったです。 ・いろんなことを考える機会になり、とても充実したおもしろい講義でした。 ・全く新しい内容でおもしろかった。興味がもてた。
授業に対する要望等	98	・レポートを減らしてほしかった。 ・うるさい人を注意してほしい。 ・予習ができるので、課題があった方がいい。
施設・設備等に関する要望等	3	・座席を１つあけにしてほしい。
計	474	

平成27年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○全科目数　140科目　○調査対象者数　13,052人（延人数）
○総回答数　12,803枚（回答率 98.1%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の授業態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 授業態度はよかったと思うか。	(49.4) 45.8	(35.0) 39.0	(12.1) 12.4	(1.1) 1.0	(0.2) 0.4	(2.2) 1.4	(100.0) 100
2. 出席率はよかったと思うか。	(65.6) 60.9	(24.0) 27.7	(8.5) 9.0	(0.7) 0.7	(0.1) 0.3	(1.1) 1.4	(100.0) 100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(49.1) 43.8	(34.6) 38.7	(13.8) 14.5	(1.1) 1.3	(0.3) 0.4	(1.1) 1.3	(100.0) 100
計	(54.7) 50.2	(31.2) 35.1	(11.4) 12.0	(1.0) 1.0	(0.2) 0.4	(1.5) 1.4	(100.0) 100
Ⅱ　授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。	(44.4) 39.5	(37.8) 41.3	(14.1) 14.4	(1.8) 2.1	(0.7) 1.0	(1.2) 1.7	(100.0) 100
5. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(36.6) 35.0	(41.3) 42.5	(17.8) 17.1	(2.6) 2.7	(0.8) 1.2	(0.9) 1.5	(100.0) 100
6. この授業内容は将来役立つと思うか。	(47.9) 43.4	(33.6) 38.7	(13.2) 14.0	(1.5) 1.9	(0.7) 0.9	(3.1) 1.5	(100.0) 100
7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。	(41.3) 37.4	(35.0) 38.8	(17.3) 17.9	(2.4) 2.6	(1.2) 1.5	(2.8) 1.8	(100.0) 100
計	(42.5) 38.8	(36.9) 40.3	(15.6) 15.9	(2.1) 2.3	(0.8) 1.1	(2.1) 1.6	(100.0) 100
Ⅲ　教員の教え方について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。	(44.9) 42.0	(34.9) 39.1	(13.7) 14.7	(1.1) 1.6	(0.6) 0.7	(4.8) 1.9	(100.0) 100
9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。	(44.3) 39.5	(36.3) 40.1	(14.3) 15.2	(2.0) 2.5	(0.8) 1.1	(2.3) 1.6	(100.0) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(47.3) 41.7	(33.7) 38.1	(14.0) 15.3	(1.9) 2.2	(0.7) 1.2	(2.4) 1.5	(100.0) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。	(41.5) 36.9	(33.0) 37.2	(17.6) 18.0	(1.9) 2.5	(1.0) 1.3	(5.0) 4.1	(100.0) 100
12. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(43.8) 39.6	(34.2) 38.8	(16.1) 16.0	(1.7) 2.6	(0.9) 1.2	(3.3) 1.8	(100.0) 100
13. 12の場合に、ﾌﾟﾘﾝﾄ等が配布された際にﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄによる説明を聞くだけではなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。	(43.2) 38.5	(34.0) 38.5	(15.7) 17.2	(1.7) 2.4	(0.9) 1.2	(4.5) 2.2	(100.0) 100
14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(44.9) 39.9	(35.6) 38.8	(15.6) 16.1	(1.7) 2.2	(0.8) 1.1	(1.4) 1.9	(100.0) 100
計	(44.3) 39.7	(34.5) 38.7	(15.3) 16.1	(1.7) 2.3	(0.8) 1.1	(3.4) 2.1	(100.0) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
15. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(46.4) 41.8	(34.8) 38.8	(13.6) 14.9	(1.5) 1.9	(0.6) 1.0	(3.1) 1.6	(100.0) 100
16. 教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(49.7) 43.0	(33.8) 38.2	(13.2) 14.1	(1.0) 1.7	(0.5) 1.0	(1.8) 2.0	(100.0) 100
17. 教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。	(44.8) 39.4	(35.7) 39.1	(15.1) 15.7	(2.0) 2.5	(1.0) 1.3	(1.4) 2.0	(100.0) 100
計	(47.0) 41.4	(34.8) 38.7	(13.9) 14.9	(1.5) 2.0	(0.7) 1.1	(2.1) 1.9	(100.0) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
18. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(41.9) 38.3	(33.1) 38.6	(14.3) 15.2	(1.9) 2.1	(1.0) 1.3	(7.8) 4.5	(100.0) 100
全質問項目の平均	(46.0) 41.5	(34.5) 38.5	(14.4) 15.0	(1.6) 2.0	(0.7) 1.0	(2.8) 2.0	(100.0) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

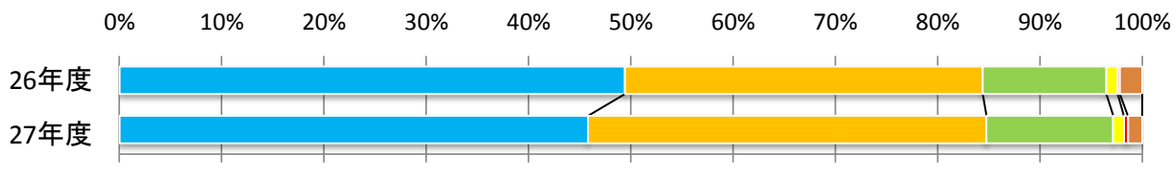
	26年度	27年度
全科目数	104科目	140科目
調査対象者数	11,295人	13,052人
総回答数（回答率）	10,904枚（96.5%）	12,803枚（98.1%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　やや そう思う　どちらとも いえない　そう 思わない　全くそう 思わない　無回答

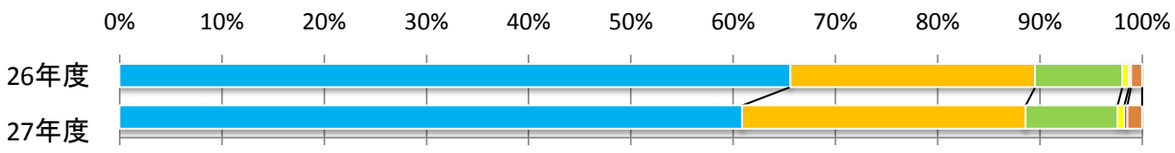
Ⅰ 学生として、自分自身の授業態度について

1. 授業態度はよかったと思うか。



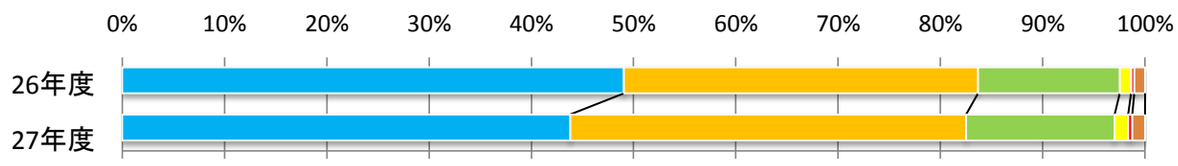
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.4	35.0	84.4	―
45.8	39.0	84.8	＋0.4

2. 出席率はよかったと思うか。



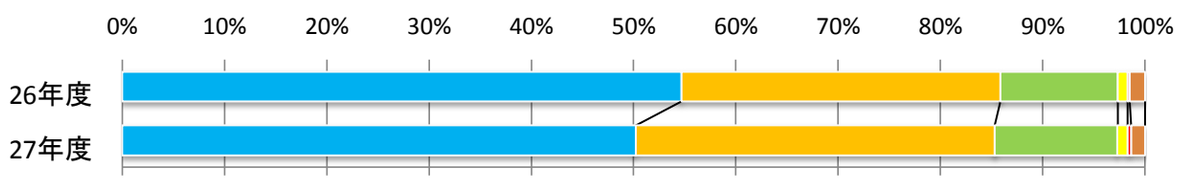
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
65.6	24.0	89.6	―
60.9	27.7	88.6	△1.0

3. 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.1	34.6	83.7	―
43.8	38.7	82.5	△1.2

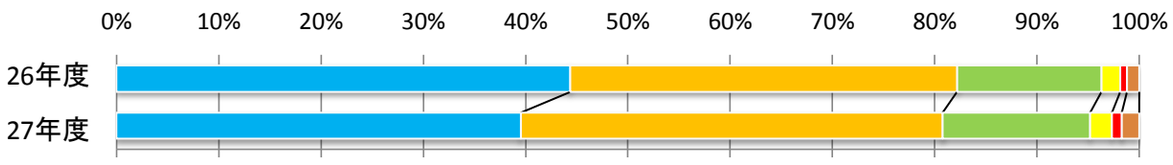
「計」（質問項目 1 ～ 3 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.7	31.2	85.9	―
50.2	35.1	85.3	△0.6

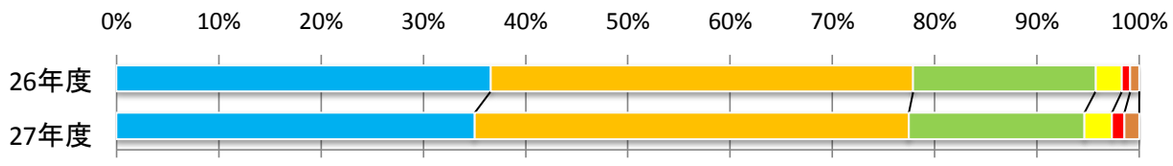
Ⅱ 授業内容について

4. 授業に興味・関心が持てたと思うか。



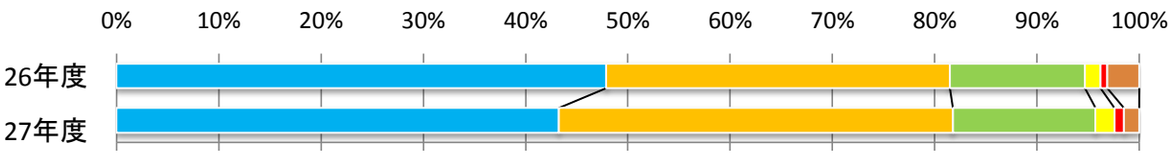
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.4	37.8	82.2	―
39.5	41.3	80.8	△1.4

5. 授業内容をよく理解できたと思うか。



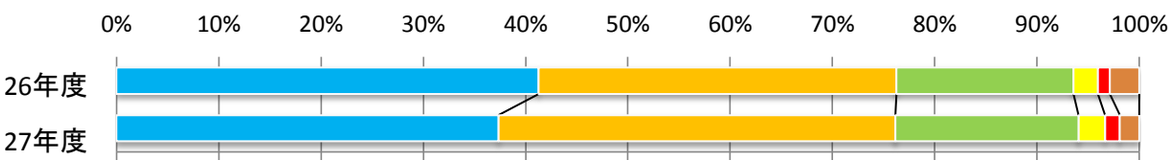
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.6	41.3	77.9	―
35.0	42.5	77.5	△0.4

6. この授業内容は将来役立つと思うか。



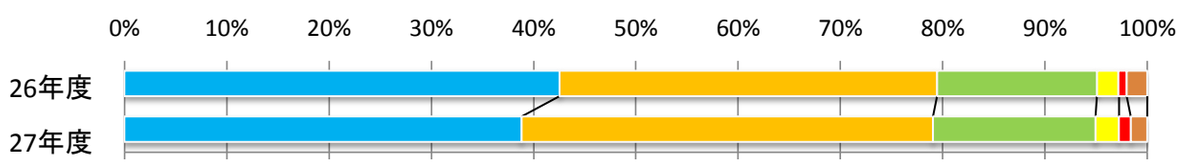
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.9	33.6	81.5	―
43.4	38.7	82.1	＋0.6

7. この授業は他学科の学生等にも薦めたいと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.3	35.0	76.3	―
37.4	38.8	76.2	△0.1

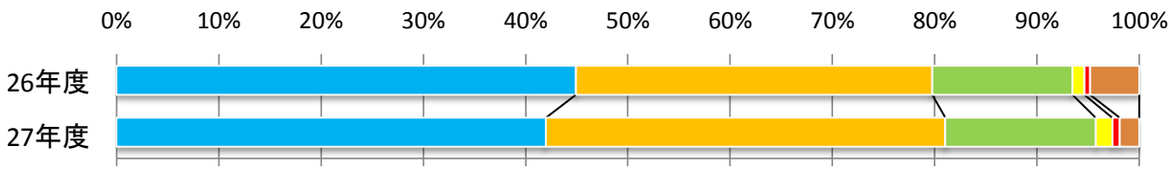
「計」（質問項目 4 ～ 7 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.5	36.9	79.4	―
38.8	40.3	79.1	△0.3

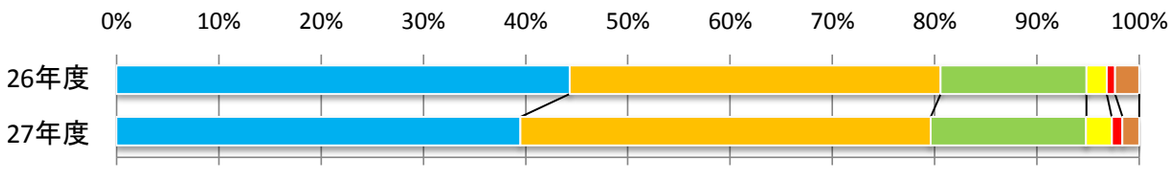
Ⅲ　教員の教え方について

8. 授業はシラバスに沿って行われたと思うか。



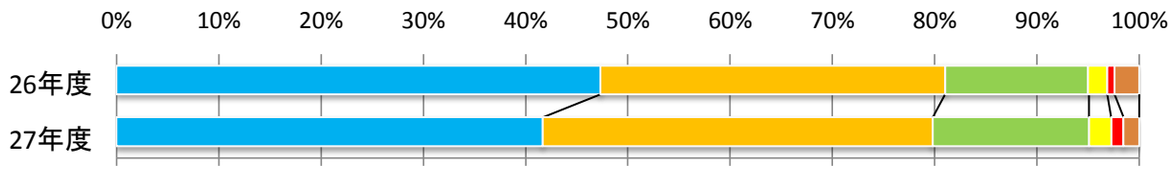
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.9	34.9	79.8	―
42.0	39.1	81.1	＋1.3

9. 授業に集中できる雰囲気が保たれていたと思うか。



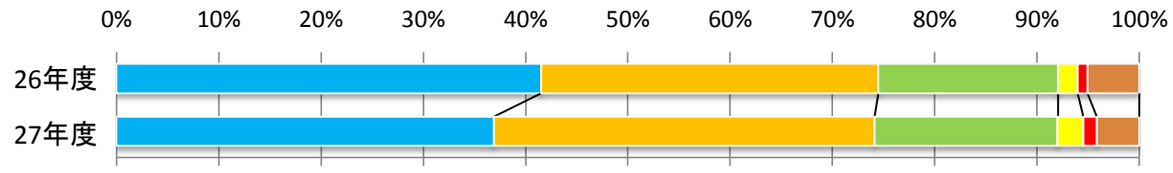
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.3	36.3	80.6	―
39.5	40.1	79.6	△1.0

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



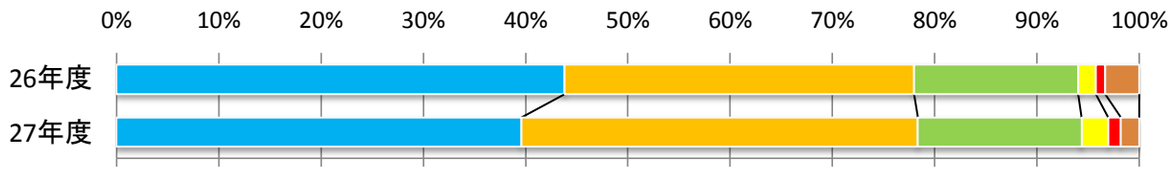
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.3	33.7	81.0	―
41.7	38.1	79.8	△1.2

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい板書であったと思うか。



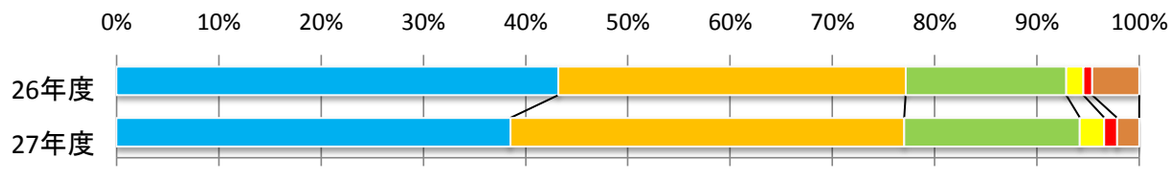
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.5	33.0	74.5	―
36.9	37.2	74.1	△0.4

12. ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容はわかりやすかったと思うか。



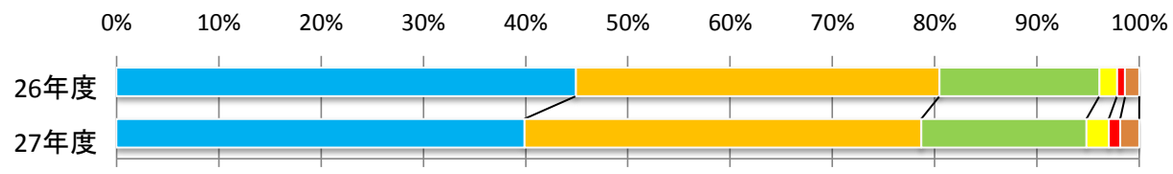
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.8	34.2	78.0	―
39.6	38.8	78.4	＋0.4

13. 12の場合に、プリント等が配布された際にﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄによる説明を聞くだけではなく、授業内容の要点を書き留めるよう予め指示等があったと思うか。



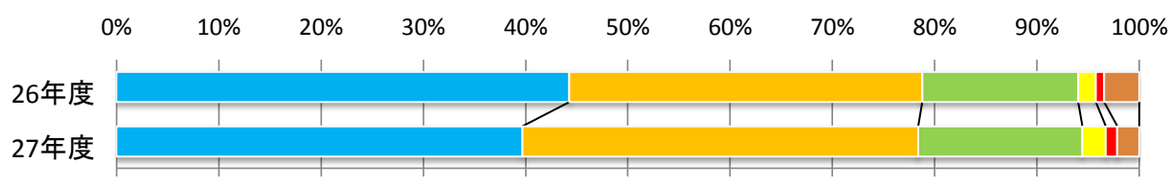
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.2	34.0	77.2	―
38.5	38.5	77.0	△0.2

14. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.9	35.6	80.5	―
39.9	38.8	78.7	△1.8

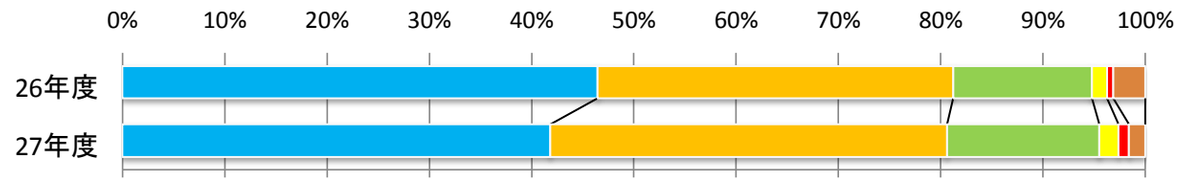
「計」（質問項目 8 ～ 14 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.3	34.5	78.8	―
39.7	38.7	78.4	△0.4

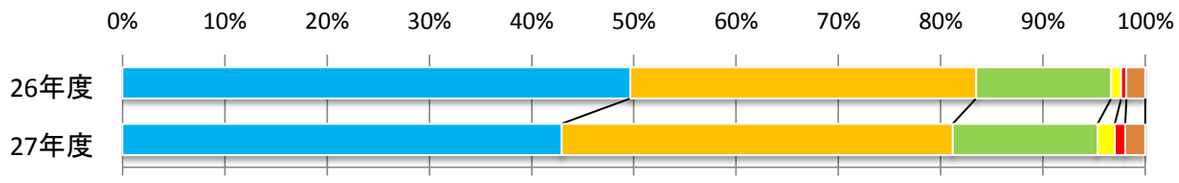
Ⅳ　教員の姿勢について

15.　教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



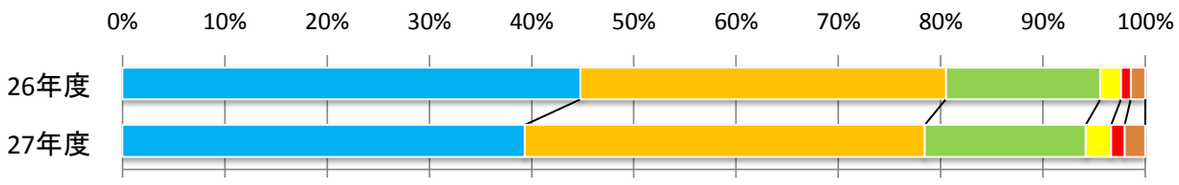
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
46.4	34.8	81.2	―
41.8	38.8	80.6	△0.6

16.　教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思うか。



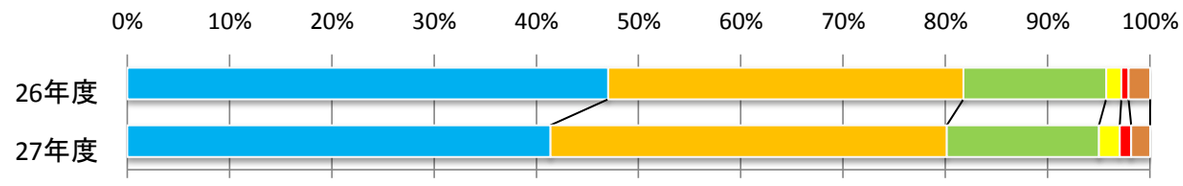
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
49.7	33.8	83.5	―
43.0	38.2	81.2	△2.3

17.　教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
44.8	35.7	80.5	―
39.4	39.1	78.5	△2.0

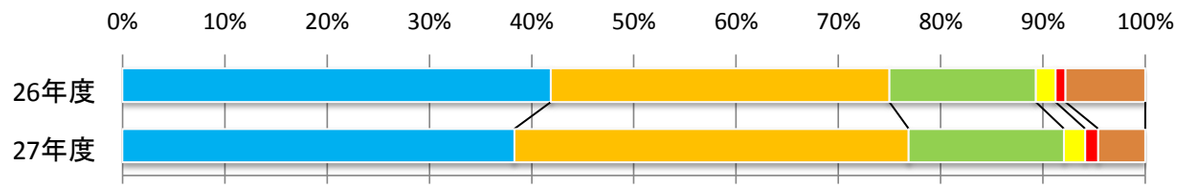
「計」（質問項目 15 ～ 17 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
47.0	34.8	81.8	―
41.4	38.7	80.1	△1.7

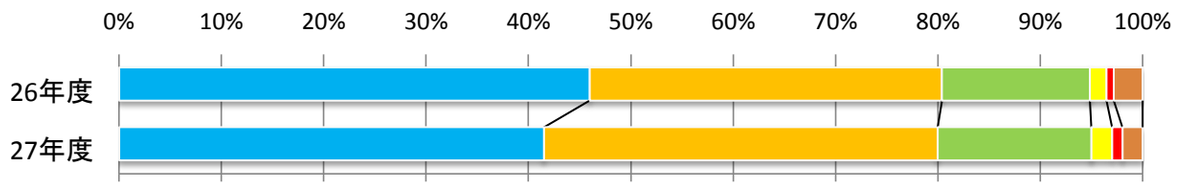
Ⅴ 総合評価

18.　この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.9	33.1	75.0	―
38.3	38.6	76.9	＋1.9

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
46.0	34.5	80.5	―
41.5	38.5	80.0	△0.5

◆　Ⅶ この授業を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　1,032】

科目名	件数	主な内容
看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） 【災害看護学コース：１年次前期】	26	・この授業は看護師になるために必要だと思いました。 ・自分では気づかない・考えも及ばないことに多く気づけた。根拠をもって手技ができるようになった。 ・実際に看護師になってから生かせる技術について学べてとてもよかったです。
看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 【臨床看護学コース：１年次後期】	16	・清潔のケアについて知識・技術ともに学ぶことができた。 ・自分で考えて行動するということが大切ということがわかったためよかった。 ・実施と評価が鍛えられた。
成人看護の探求 【3年次後期】	8	・先生方の体験をもとに働いてから考えることになるようなことを考えられた。 ・自分自身に問いかけるようなレポートでとても考えながら授業のふり返りができました。 ・楽しかったです。本当に教養が深まったと思う。
看護政策論 【４年次前期】	9	・ありがとうございました。ディベートや興味のあった交渉術について学ぶことができたのは、とてもよかった。 ・様々な立場の先生のお話を聞くことが出来て面白かったです。ありがとうございました。 ・行政に関わっている色々な人達の実際の話が聞けて、イメージしやすかったし楽しかった。

◆　Ⅷ この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　507】

科目名	件数	主な内容
看護学概論 【災害看護学コース：１年次前期】	12	・プリントを穴うめにしてほしい。 ・パワーポイントの使い方が、少し授業を分かりにくくしているように思われた。 ・教科書をもう少し活用してほしい。
家族看護学 【災害看護学コース：2年次後期】	6	・レジュメとパワポの統一制がなかった。分かりづらくてどう課題をすすめればよいか分からなかった。 ・声が聞こえにくかった。
成人看護実践論Ⅲ（回復期） 【3年次後期】	6	・実演する人は事前に知らせた方がぐだぐだしない。 ・課題提出期限を変更するのは仕方ないのですが、早くするのはやめてもらいたいです。
在宅看護学概論 【3年次前期】	6	・テストの日程を直前でかえないでほしい。 ・ＶＴＲも大切だと思いますが、知識を入れるのも大切ではないかと思います。

平成27年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○実習・実験科目数　17科目　　○調査対象者数　1,720人（延人数）
○総回答数　　1,580 枚（回答率 91.9%）

◆ 質問項目別集計結果

〈上段( )は平成26年度アンケート結果〉

質　問　項　目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計
Ⅰ　学生として、自分自身の実習・実験態度について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. 実習・実験態度はよかったと思うか。	(76.4) 69.0	(16.1) 24.2	(5.7) 3.6	(0.5) 0.3	(0.1) 0.2	(1.2) 2.7	(100.0) 100
2. 出席率はよかったと思うか。	(84.2) 84.5	(9.5) 10.8	(5.1) 2.8	(0.6) 0.3	(0.1) 0.2	(0.5) 1.5	(100.0) 100
3. 積極的に取り組んだと思うか。	(73.8) 71.1	(18.9) 23.3	(6.1) 4.1	(0.4) 0.3	(0.1) 0.1	(0.7) 1.1	(100.0) 100
計	(78.1) 74.8	(14.8) 19.4	(5.7) 3.5	(0.5) 0.3	(0.1) 0.2	(0.8) 1.8	(100.0) 100
Ⅱ　実習・実験内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。	(68.6) 66.6	(21.4) 24.6	(8.1) 6.9	(0.8) 0.4	(0.5) 0.3	(0.6) 1.2	(100.0) 100
5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(59.1) 56.9	(28.2) 33.5	(9.4) 7.1	(0.8) 0.5	(0.1) 0.1	(2.4) 1.9	(100.0) 100
6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。	(69.0) 71.4	(19.2) 22.2	(8.7) 4.5	(0.7) 0.7	(0.4) 0.1	(2.0) 1.1	(100.0) 100
計	(65.6) 65.0	(22.9) 26.8	(8.7) 6.1	(0.8) 0.5	(0.3) 0.2	(1.7) 1.4	(100.0) 100
Ⅲ　教員の実習・実験指導について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。	(61.8) 62.4	(23.0) 28.1	(12.3) 6.9	(1.2) 0.9	(0.5) 0.3	(1.2) 1.4	(100.0) 100
8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。	(56.3) 59.1	(24.2) 27.3	(11.8) 8.1	(2.9) 2.2	(1.3) 0.6	(3.5) 2.7	(100.0) 100
9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。	(59.4) 62.0	(23.3) 24.9	(12.6) 7.8	(2.5) 1.6	(1.3) 0.3	(0.9) 3.4	(100.0) 100
計	(59.2) 61.2	(23.5) 26.8	(12.2) 7.5	(2.2) 1.6	(1.0) 0.4	(1.9) 2.5	(100.0) 100
Ⅳ　教員の姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(56.0) 59.9	(23.4) 25.0	(13.5) 6.9	(2.5) 1.7	(1.6) 0.7	(3.0) 5.8	(100.0) 100
11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(57.8) 64.2	(24.0) 23.8	(11.7) 6.4	(2.5) 1.8	(1.6) 0.6	(2.4) 3.2	(100.0) 100
12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。	(55.5) 57.2	(24.6) 26.9	(14.6) 7.7	(2.5) 1.1	(1.4) 0.6	(1.4) 6.5	(100.0) 100
計	(56.4) 60.4	(24.0) 25.2	(13.3) 7.0	(2.5) 1.5	(1.5) 0.6	(2.3) 5.3	(100.0) 100
Ⅴ　総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(43.0) 59.7	(17.2) 25.3	(12.3) 7.7	(8.2) 1.2	(15.5) 0.1	(3.8) 6.0	(100.0) 100
全質問項目の平均	(63.1) 64.9	(21.0) 24.6	(10.2) 6.2	(2.0) 1.0	(1.9) 0.3	(1.8) 3.0	(100.0) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

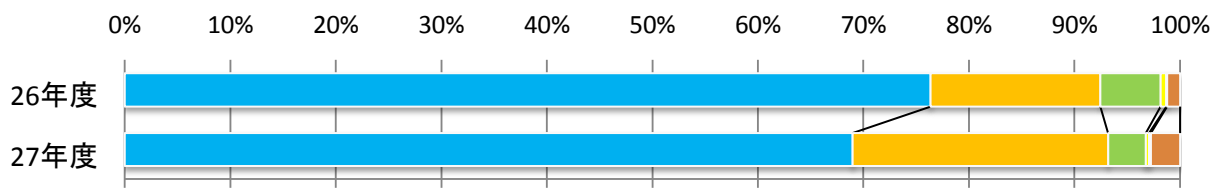
	26年度	27年度
全科目数	15科目	17科目
調査対象者数	1,620人	1,720人
総回答数（回答率）	1,456枚（89.9%）	1,580枚（91.9%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

そう思う　ややそう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない　無回答

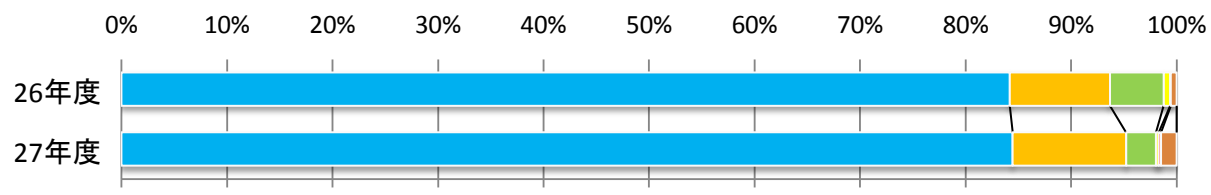
Ⅰ　学生として、自分自身の実習・実験態度について

1. 実習・実験態度はよかったと思うか。



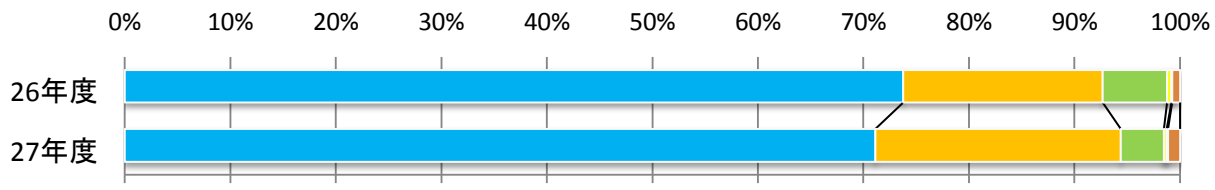
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
76.4	16.1	92.5	―
69.0	24.2	93.2	＋0.7

2. 出席率はよかったと思うか。



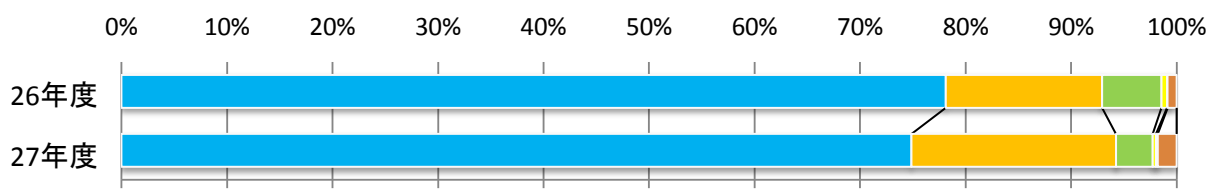
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
84.2	9.5	93.7	―
84.5	10.8	95.3	＋1.6

3. 積極的に取り組んだと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
73.8	18.9	92.7	―
71.1	23.3	94.4	＋1.7

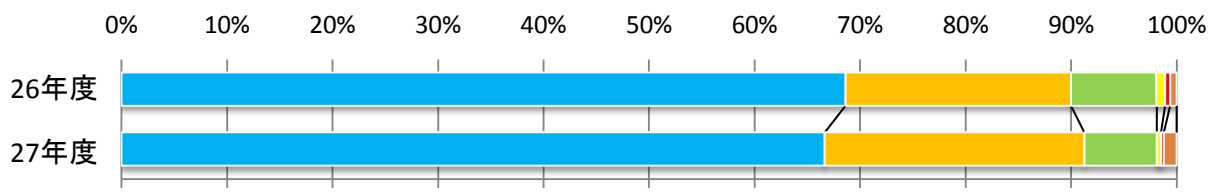
「計」（質問項目１～３）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
78.1	14.8	92.9	―
74.8	19.4	94.2	＋1.3

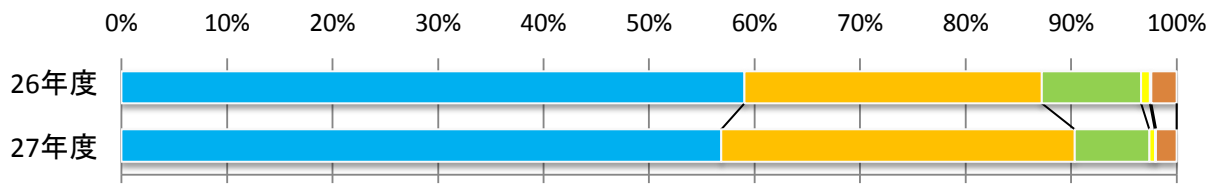
Ⅱ　実習・実験内容について

4. 実習・実験に興味・関心が持てたと思うか。



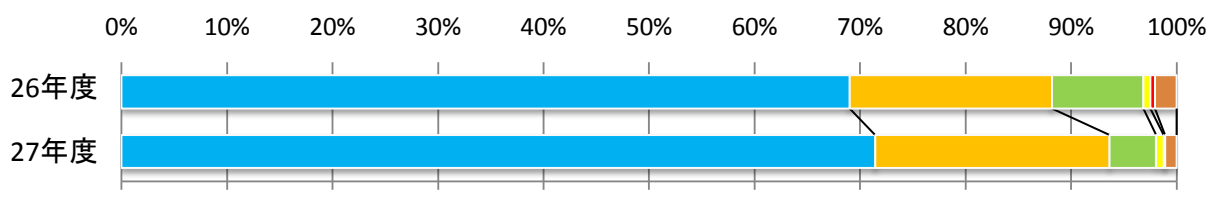
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
68.6	21.4	90.0	―
66.6	24.6	91.2	＋1.2

5. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



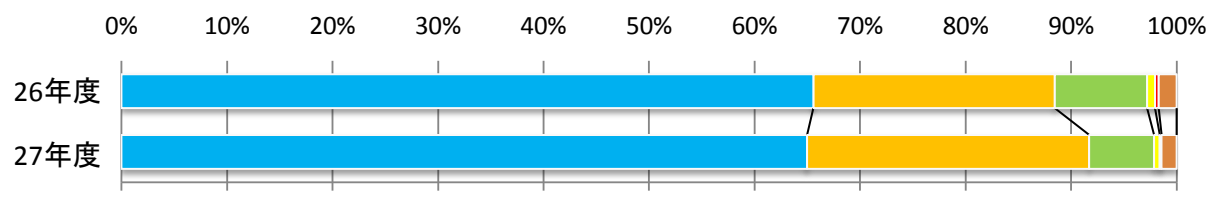
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.1	28.2	87.3	―
56.9	33.5	90.4	＋3.1

6. この実習・実験内容は将来役立つと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
69.0	19.2	88.2	―
71.4	22.2	93.6	＋5.4

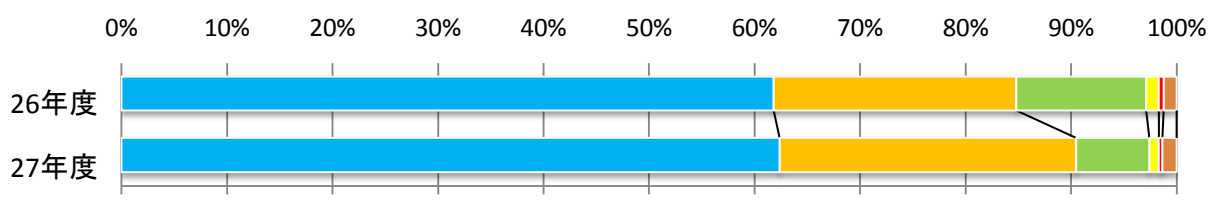
「計」（質問項目 4 ～6 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
65.6	22.9	88.5	―
65.0	26.8	91.8	＋3.3

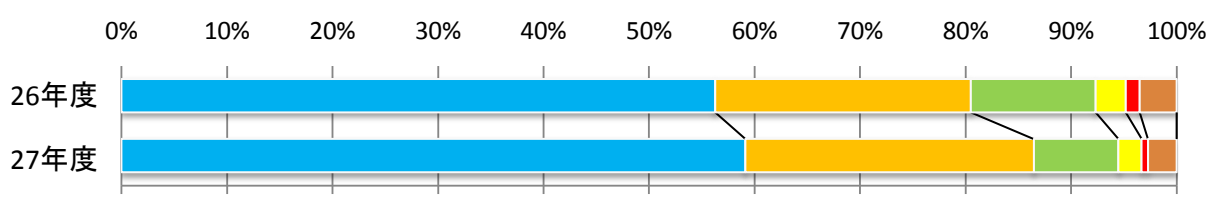
Ⅲ　教員の実習・実験指導について

7. 実習・実験はシラバスに沿って行われたと思うか。



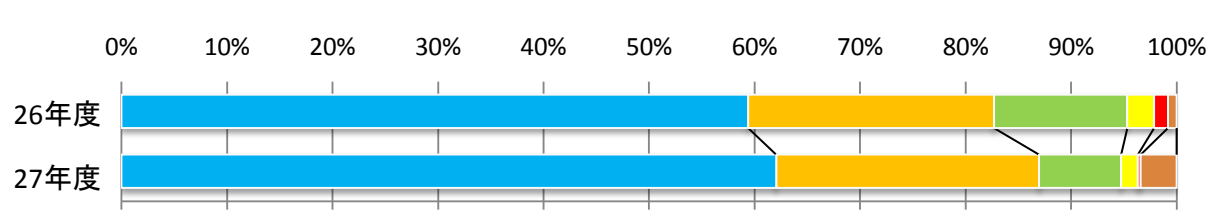
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
61.8	23.0	84.8	―
62.4	28.1	90.5	＋5.7

8. 教員の指導は実習・実験内容に応じて適切だったと思うか。



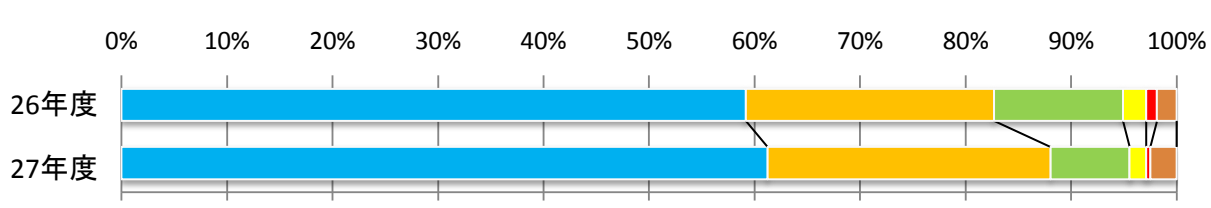
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
56.3	24.2	80.5	―
59.1	27.3	86.4	＋5.9

9. 教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.4	23.3	82.7	―
62.0	24.9	86.9	＋4.2

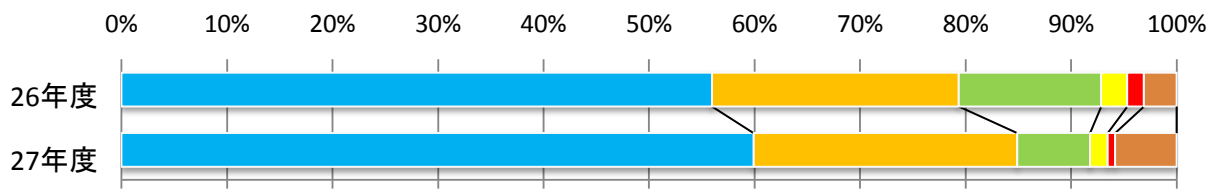
「計」（質問項目 7 ～ 9 ）



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.2	23.5	82.7	―
61.2	26.8	88.0	＋5.3

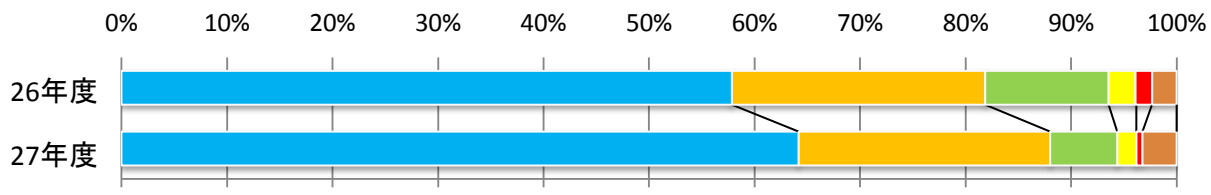
Ⅳ　教員の姿勢について

10. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



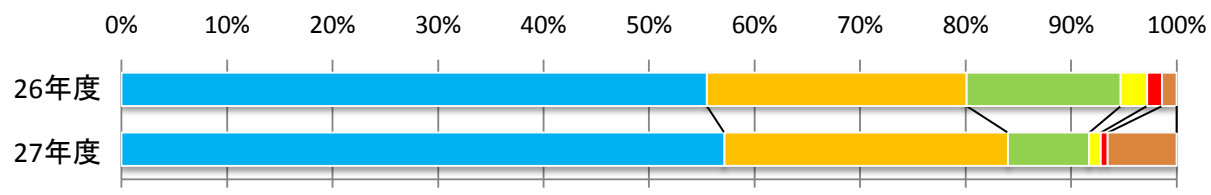
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.0	23.4	79.4	―
59.9	25.0	84.9	＋5.5

11. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



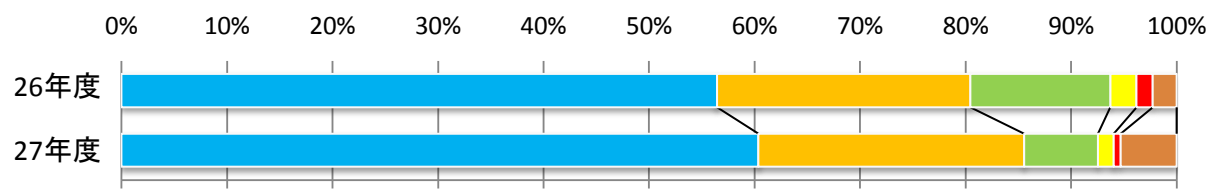
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
57.8	24.0	81.8	―
64.2	23.8	88.0	＋6.2

12. 教員は学生のレベルを把握して実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.5	24.6	80.1	―
57.2	26.9	84.1	＋4.0

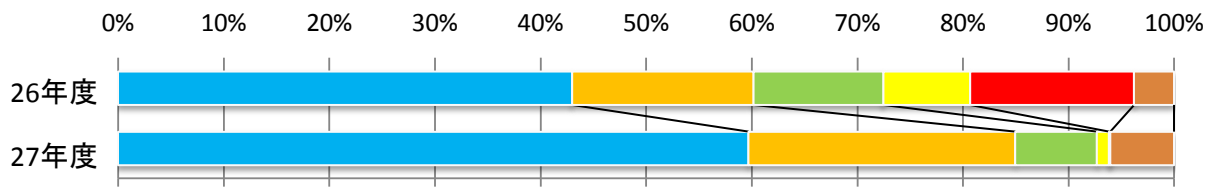
「計」（質問項目 10 ～ 12 ）



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
56.4	24.0	80.4	―
60.4	25.2	85.6	＋5.2

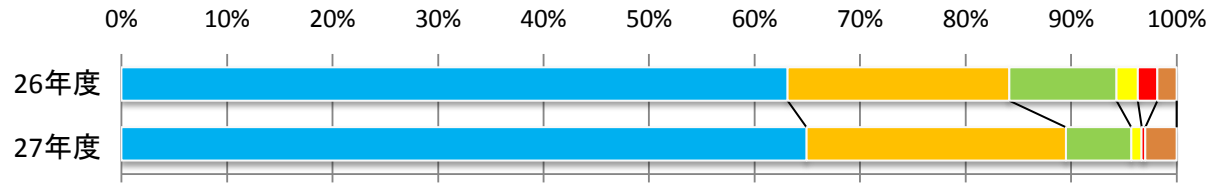
Ⅴ 総合評価

13. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.0	17.2	60.2	―
59.7	25.3	85.0	＋24.8

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
63.1	21.0	84.1	―
64.9	24.6	89.5	＋5.4

◆　Ⅵ この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。　【総数　224】

科目名	件数	主な内容
基礎看護学体験実習 【災害看護学コース：１年次前期】	23	・知識、経験不足を痛感したが、自分が今何をやらなければならないのか明確になった。 ・看護というものをより深く理解することができた。 ・看護師に大切なことの優先順位を理解できた。
日常生活援助展開実習 【臨床看護学コース：１年次後期】	17	・実習の目的以上のことを学べたと思います。自分の不足している部分がわかったので、勉強しやすくなりました。 ・座学では学ぶことのできないたくさんのことを学ぶことができ、今後のモチベーションにもつながった。 ・実際に個別性を踏まえた援助ができて良かった。
成人看護学実習Ⅰ 【3年次後期】	14	・先生が豆知識をたくさん教えてくれたことがよかった。 ・パンフレットなどの作成ができたこと・なかなか入ることのできないオペがみれたこと。 ・どの先生も本当に学生のことを考えてくれている気がした。とても勉強になる実習だった。
精神看護学実習 【3年次後期】	12	・先生の対応がとても良かったです。 ・自分自身の思考のクセが、看護計画にどう影響を与えているのかを一部ですが客観的に見ることができました。 ・精神単科病院の実際の様子を体感することができた。
在宅看護学実習 【４年次前期】	6	・学生がばらけて、複数の施設の情報を知ることができ、より在宅の実情を学ぶことができた。 ・病院とはまた異なる場で実習を経験できて良かった。

◆　Ⅶ この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。　【総数　142】

科目名	件数	主な内容
基礎看護学統合実習 【臨床看護学コース：2年次前期】	5	・基礎の教員とその他の教員間で課題や実習の目的に対する理解の差が大きい。始まる前に周知してほしい。 ・病棟の差と、担当の先生の差。
老年看護学実習Ⅰ 【災害看護学コース：2年後期】	5	・老人ホームに行きたかったです。 ・要項を見るだけで、実習内容が分かるようにしてほしかった。先生ごとに言っていることが異なっていたので、統一してほしい。
小児看護学実習 【3年次後期】	13	・授業の内容と実習の内容がかけはなれすぎていてすごく困った。 ・１０人ほどの多人数で病棟実習に行っていたので、記録を書いたりしたいときなど机が使えなかったりして大変だった。
看護学統合実習 【4年次前期】	3	・夜間実習が短時間だったこと。金曜日に行えたら良かったと思います。 ・実習の目的と、内容、教員の介入方法にゼミごと、教員ごとにばらつきがあり何を目的として実習をしていけばいいのか最後まで分かりにくかった。学生が混乱していた。

平成 27 年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・研究科長　　草間　朋子

「高度実践看護コース」「高度実践助産コース」「看護科学コース」の学生による授業評価の対象科目数は、それぞれ 22 科目、33 科目、12 科目であり、回答した大学院生は、延べ 345 名、183 名、21 名、回答率は、88.9%、92.4%、95.5%であった。高度実践看護コースを除く 2 コースの回答率は、年々増加傾向にあり、学生による授業評価の結果を、教育の質の確保、カリキュラム改善等にフィードバックさせていきたい。

「高度実践看護コース」

〇8 項目の評価項目の中の 1 項目(「授業内容は将来役に立つと思うか」)を除き、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が前年度(平成 26 年度)に比べて減少しており、特に「期待していた通りの内容であったか」及び「授業の進め方は適切であったか」の減少率が高かったので、改善に向けての努力をお願いしたい。

時間数・コマ数を増やして欲しいとの要望が多いが、学生の自己学習(事前、事後学習)で対応して欲しいと思っている。ＮＰとしての自覚、モチベーションを高めるためにも本コースの修了生から授業を受けるコマ数が徐々に増えていくことを期待したい。

「高度実践助産コース」

〇1 つの評価項目(「授業内容をよく理解できたかどうか」)を除く 7 評価項目で、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生の割合が、昨年度に比べて大幅に増加した。これは、学生自身が授業に意欲的、積極的に取り組んだことと、授業の進め方、教材、教具等の改善が図られた結果であると思われる。一方、フィジカルアセスメント、妊娠期診断・技術、分娩期診断・技術等の助産師にとって不可欠とされる最も基本的な知識・技術に関する授業科目の学生の理解度・到達度に問題があるように思われるので、学生の基礎知識の実態を考慮した授業展開を行う努力が教員側に求められる。

「看護科学コース」

〇授業評価の対象学生が数名であり、授業評価結果の解釈・考察は難しい。すべて夜間開講の授業であり現任看護職(教員も含む)と大学院生とを兼ねているので、他の 2 コースに比べて自己学習の時間が十分取れない状況である。学生の生活実態を考慮した課題レポートの提出を求めるなどの工夫をし、自主的な自己学習を通して、学生の到達度を高めていくことが必要である。

〇平成 27 年度から、「高度実践看護コース」「高度実践助産コース」「看護科学コース」の選択科目として「ラボラトリーメソッド特論」を取り入れた。看護の基礎的な知識・技術を、実験(実体験)を通して理解できるようにした授業で学生には好評であった。

時間と教員配置の関係で 1 学生あたり 2 項目の実験しか体験できなかったために、全ての実験を経験したかったという要望が多く見られたので、学生当たりの実験項目を増やすことが可能かどうか検討して欲しい。

以上

平成27年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

〇全科目数 67科目　　**〇調査対象者数　608枚（延人数）**
〇総回答数　549枚（回答率90.3％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は平成26年度集計結果】

（%）

質　問　項　目	非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(30.8)	(57.1)	(10.7)	(1.0)	(0.4)	(100.0)
	30.5	59.7	8.4	1.3	0.2	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。	(16.5)	(62.3)	(18.2)	(1.6)	(1.4)	(100.0)
	19.5	58.1	16.8	5.5	0.2	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(22.8)	(49.3)	(22.1)	(2.0)	(3.8)	(100.0)
	28.1	44.0	22.6	4.9	0.4	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(47.9)	(43.9)	(6.6)	(1.2)	(0.4)	(100.0)
	50.5	44.4	4.2	0.9	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(26.6)	(48.9)	(18.1)	(5.2)	(1.2)	(100.0)
	27.4	45.6	20.8	5.3	0.9	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(23.6)	(49.3)	(20.0)	(5.3)	(1.8)	(100.0)
	25.4	43.5	23.6	6.2	1.3	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(23.0)	(46.3)	(23.9)	(4.8)	(2.0)	(100.0)
	25.4	47.4	22.1	4.6	0.5	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(27.5)	(51.6)	(15.5)	(4.2)	(1.2)	(100.0)
	26.3	52.2	15.5	5.5	0.5	100.0
全質問項目の平均　平成26年度	(27.3)	(51.1)	(16.9)	(3.2)	(1.5)	(100.0)
全質問項目の平均　平成27年度	29.1	49.4	16.7	4.3	0.5	100.0

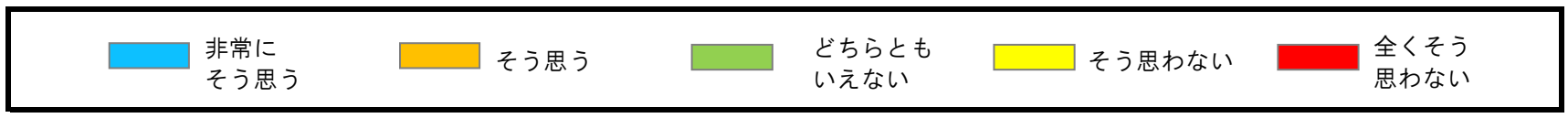
授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程

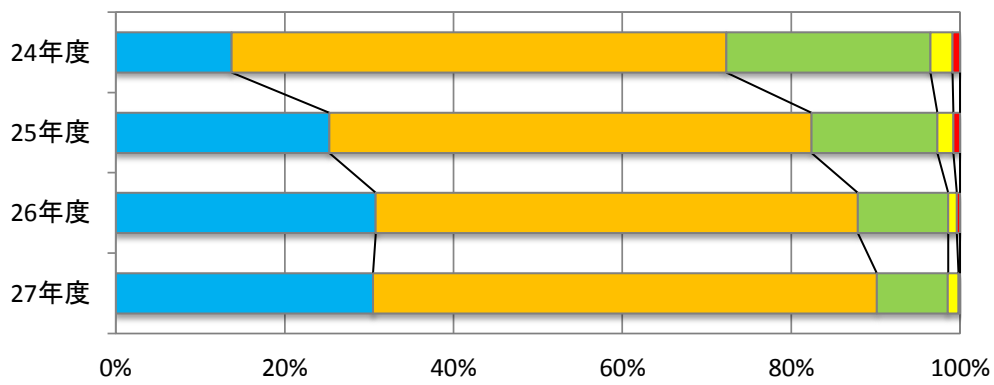
◆ 年度別 授業評価集計結果

	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	48科目	48科目	63科目	67科目
調査対象者数（延人数）	588人	621人	584人	608人
総回答数（回答率）	343枚（58.3%）	524枚（84.4%）	497枚（85.1%）	549枚（90.3%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



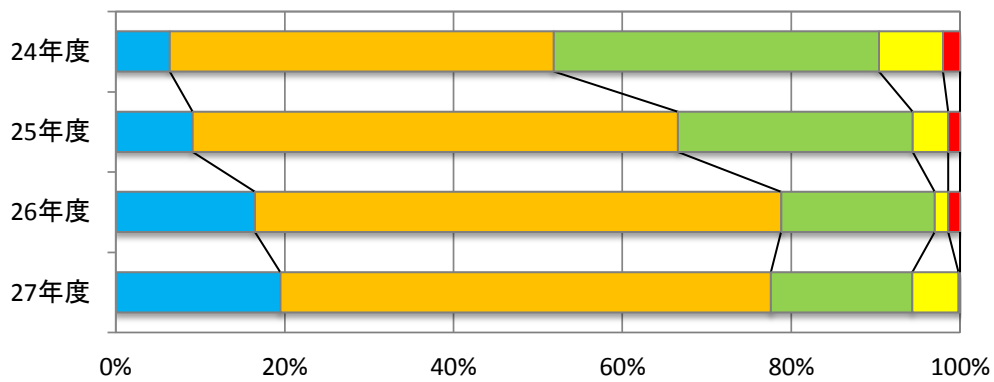
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	13.7	58.6	72.3	―
25年度	25.3	57.1	82.4	＋10.1
26年度	30.8	57.1	87.9	＋5.5
27年度	30.5	59.7	90.1	＋2.2

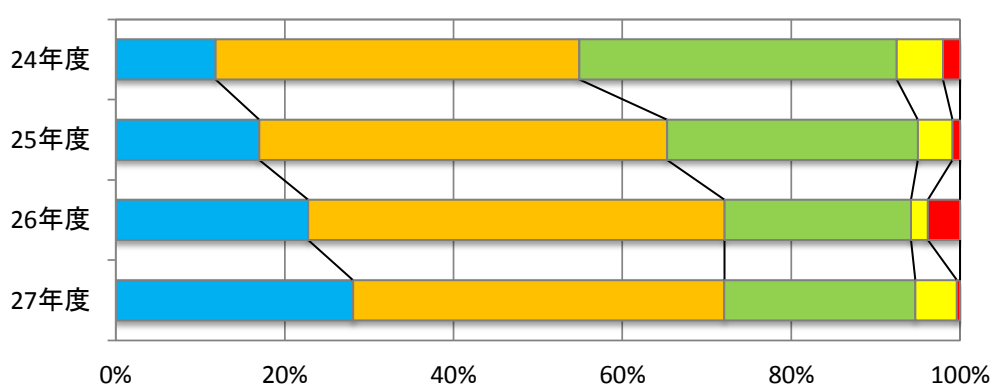
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.4	45.5	51.9	―
25年度	9.1	57.5	66.6	＋14.7
26年度	16.5	62.3	78.8	＋12.2
27年度	19.5	58.1	77.6	△ 1.2

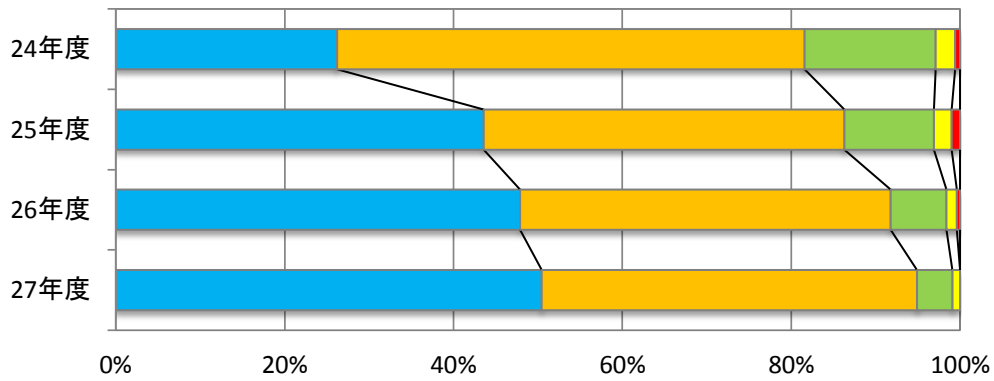
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	11.8	43.1	54.9	―
25年度	17.0	48.3	65.3	＋10.4
26年度	22.8	49.3	72.1	＋6.8
27年度	28.1	44.0	72.1	0.0

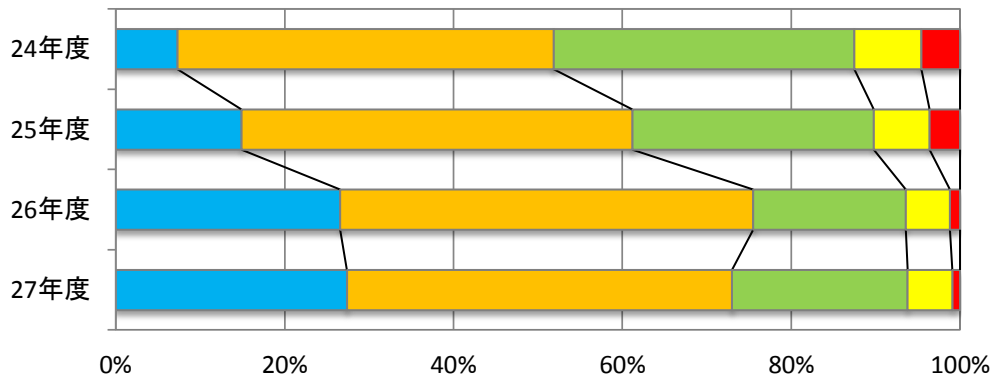
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	26.2	55.4	81.6	―
25年度	43.6	42.7	86.3	＋4.7
26年度	47.9	43.9	91.8	＋5.5
27年度	50.5	44.4	94.9	＋3.1

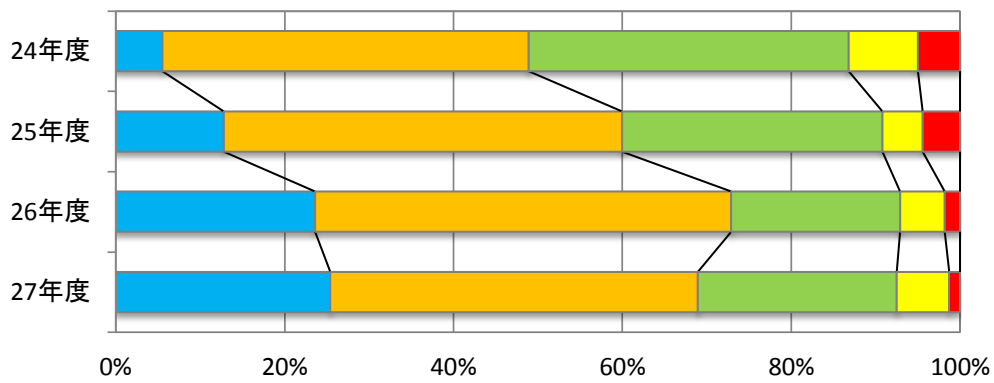
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	7.3	44.6	51.9	―
25年度	14.9	46.3	61.2	＋9.3
26年度	26.6	48.9	75.5	＋14.3
27年度	27.4	45.6	73.0	△ 2.5

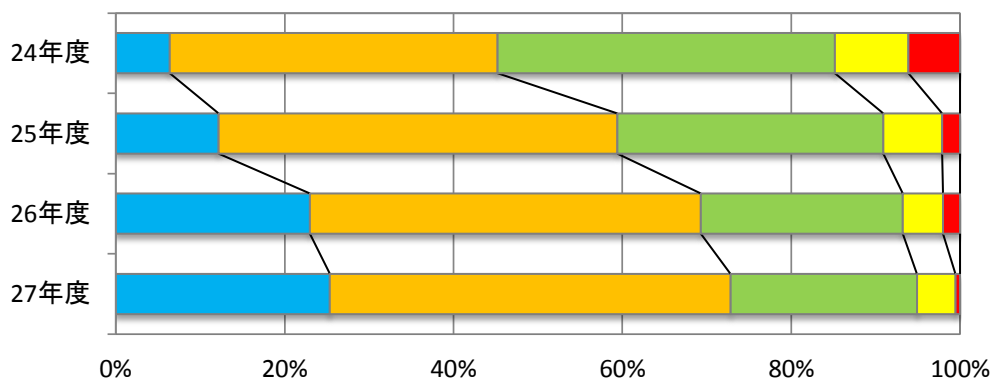
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	5.5	43.4	48.9	―
25年度	12.8	47.2	60.0	＋11.1
26年度	23.6	49.3	72.9	＋12.9
27年度	25.4	43.5	68.9	△ 4.0

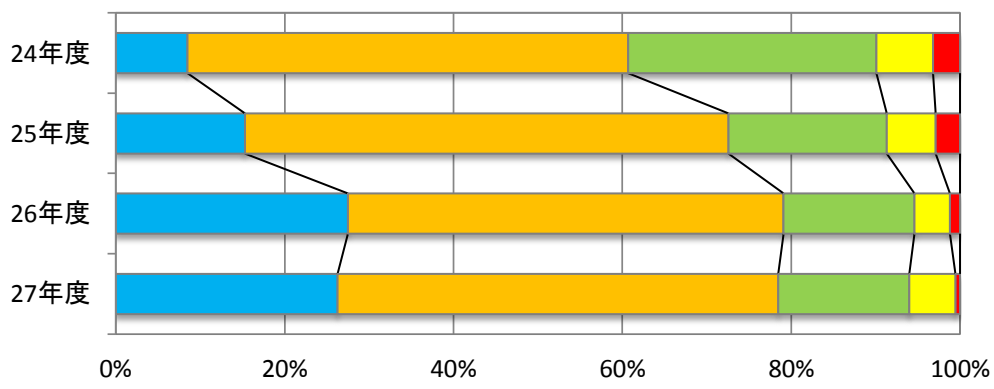
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.4	38.8	45.2	―
25年度	12.2	47.2	59.4	＋14.2
26年度	23.0	46.3	69.3	＋9.9
27年度	25.4	47.4	72.8	＋3.5

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	8.5	52.2	60.7	―
25年度	15.3	57.3	72.6	＋11.9
26年度	27.5	51.6	79.1	＋6.5
27年度	26.3	52.2	78.5	△ 0.6

◆ 年度別　自由記述集計結果

高度実践看護コース

	24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(39.3%)	178	(58.1%)	265	(58.0%)	145	(59.6%)	124
授業に対する要望等	(60.7%)	275	(41.9%)	191	(42.0%)	105	(40.4%)	84
計	(100.0%)	453	(100.0%)	456	(100.0%)	250	(100.0%)	208

高度実践助産コース

	24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(73.3%)	11	(71.6%)	58	(57.4%)	35	(59.8%)	67
授業に対する要望等	(26.7%)	4	(28.4%)	23	(42.6%)	26	(40.2%)	45
計	(100.0%)	15	(100.0%)	81	(100.0%)	61	(100.0%)	112

看護科学コース

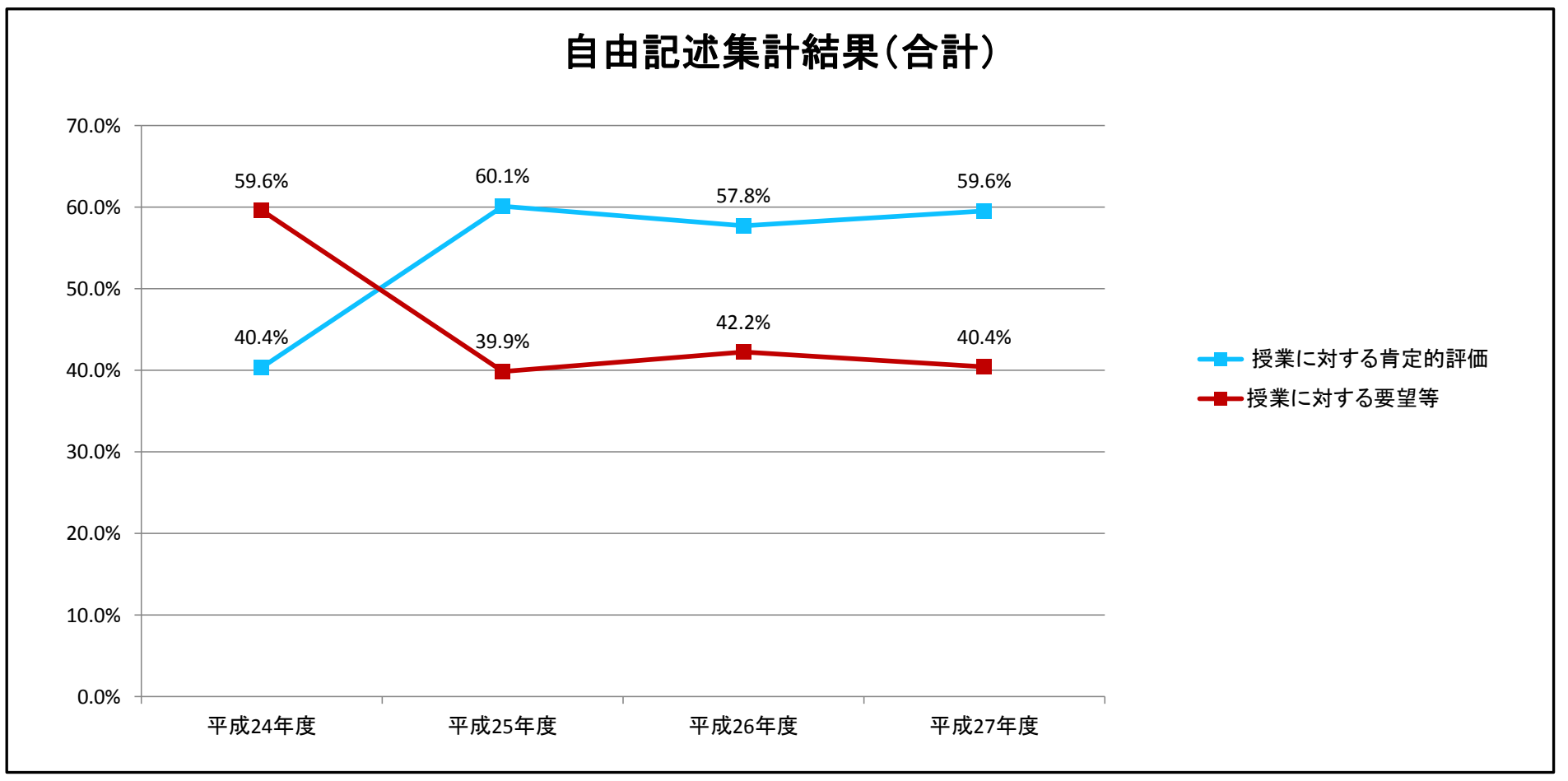
	24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	―	―	―	―	(55.6%)	10	(55.6%)	5
授業に対する要望等	―	―	―	―	(44.4%)	8	(44.4%)	4
計	―	―	―	―	(100.0%)	18	(100.0%)	9

3コースの合計

24年度、25年度は高度実践看護コースと高度実践助産コースの2コースの合計

	24年度		25年度		26年度		27年度	
授業に対する肯定的評価	(40.4%)	189	(60.1%)	323	(57.8%)	190	(59.6%)	196
授業に対する要望等	(59.6%)	279	(39.9%)	214	(42.2%)	139	(40.4%)	133
合計	(100.0%)	468	(100.0%)	537	(100.0%)	329	(100.0%)	329

※（　　）内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆　自由記述の主な内容（平成27年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	124	看護から一歩踏み出した医療の視点で身体評価を行うことで、より、専門的に学ぶことができた。
		苦手な分野は授業が理解できるか不安だったが、とても興味深く聞くことができた。
		NPの先輩から話が聞けてよかった。
		実際に演習をして、自分の課題が明確になり、とても良かったと思います。
		実際に院内で演習することができたり、座学で学んだ後の演習なので、理解が深まった。
授業に対する 要望等	84	授業の中でGWを行なったり、事例について討議する時間がもっとあればより理解を深められたと思います。
		画像の講義については後日の復習のために、スライドをいただきたかった。
		自らの分担された領域に関しては、ある程度理解できたと思うが、その他に関しては、まだ学習しなければいけないと思う。
		いろいろなレポートや課題に追われ、復習や自己学習が追いつかなかった為、全体の満足度は低めですが、今後しっかり復習していこうと思っています。
計	208	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	67	ドクターに直接教えてもらうことで、いい刺激になった。
		先生方が質問を受け付けてくださり、色々なことを聴きやすい雰囲気（環境）でありがたかったです。
		将来、働いた時に役に立つ内容ばかりだったと思う。
		毎回楽しみな授業だった。
授業に対する 要望等	45	もう少し講義時間を増やして欲しい。
		グループワークのテーマをグループごとに考えたかった。
		テスト勉強の時間がとれなかった。
		実習記録を丁寧に見ていただいたが、もう少しだけ先生からの指導をいただきたかった。
計	112	

看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する 肯定的評価	5	普段見ることや、触ることのないものを多く取り入れた講義であったので大変深く学習できました。
		大変ためになる講義内容でした。根拠の理解ができたと思います。
		研究で統計を実際に使う時に役立つ内容であった。
授業に対する 要望等	4	研究方法などの内容は、前期に全ての講義をしていただけると、自分の修士論文を考える上でも助かります。
		自己学習の進め方がつかめるまで大変苦労しました。
計	9	

平成27年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

〇全科目数 22科目　　**〇調査対象者数　388人（延人数）**
〇総回答数　　345枚（回答率88.9％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は平成26年度集計結果】

（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(37.6)	(54.0)	(7.1)	(1.0)	(0.3)	(100.0)
		25.6	64.2	8.4	1.5	0.3	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(18.4)	(62.6)	(15.6)	(1.6)	(1.8)	(100.0)
		12.5	66.3	17.7	3.2	0.3	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(25.2)	(53.1)	(17.1)	(2.5)	(2.1)	(100.0)
		23.0	48.8	23.3	4.4	0.6	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(57.8)	(37.9)	(3.7)	(0.3)	(0.3)	(100.0)
		50.0	45.9	3.5	0.6	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(29.8)	(49.7)	(14.9)	(4.7)	(0.9)	(100.0)
		20.6	52.3	20.9	4.9	1.2	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(26.6)	(49.1)	(18.1)	(5.0)	(1.2)	(100.0)
		17.2	49.3	27.1	5.0	1.5	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(25.9)	(46.6)	(21.9)	(3.8)	(1.8)	(100.0)
		17.5	51.9	24.8	5.0	0.9	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(31.5)	(51.0)	(13.0)	(3.3)	(1.2)	(100.0)
		19.0	59.5	15.2	5.5	0.9	100.0
全質問項目の平均	平成26年度	(31.6)	(50.5)	(13.9)	(2.8)	(1.2)	(100.0)
	平成27年度	23.2	54.8	17.6	3.7	0.7	100.0

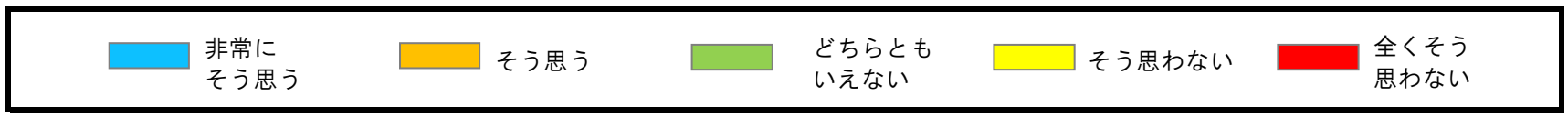
授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践看護コース

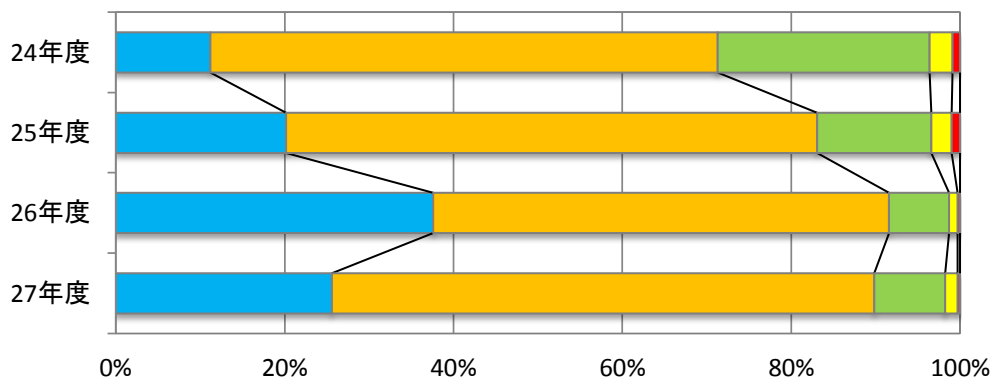
◆ 年度別 授業評価集計結果

	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	20科目	20科目	20科目	22科目
調査対象者数（延人数）	410人	383人	343人	388人
総回答数（回答率）	331枚（80.7%）	377枚（98.4%）	322枚（93.9%）	345枚（88.9%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



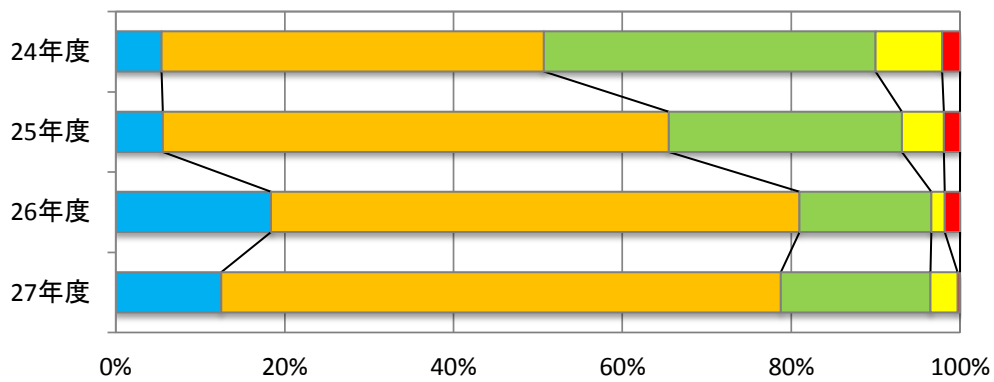
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	11.2	60.1	71.3	―
25年度	20.2	62.9	83.1	＋11.8
26年度	37.6	54.0	91.6	＋8.5
27年度	25.6	64.2	89.8	△ 1.8

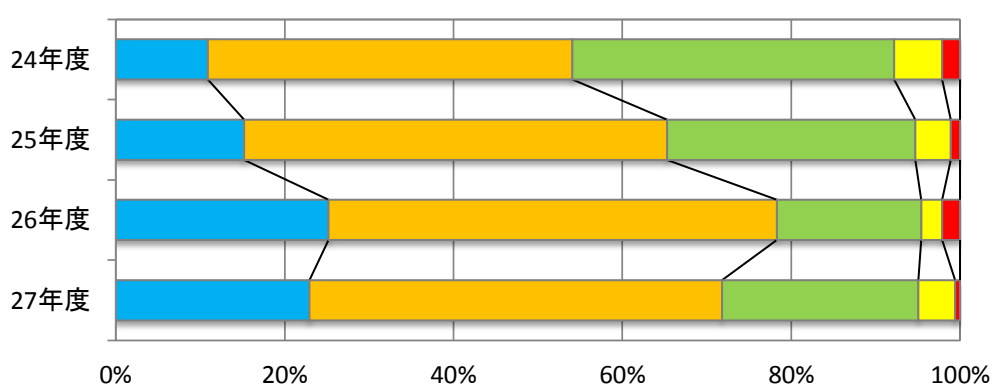
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	5.4	45.3	50.7	―
25年度	5.6	59.9	65.5	＋14.8
26年度	18.4	62.6	81.0	＋15.5
27年度	12.5	66.3	78.8	△ 2.2

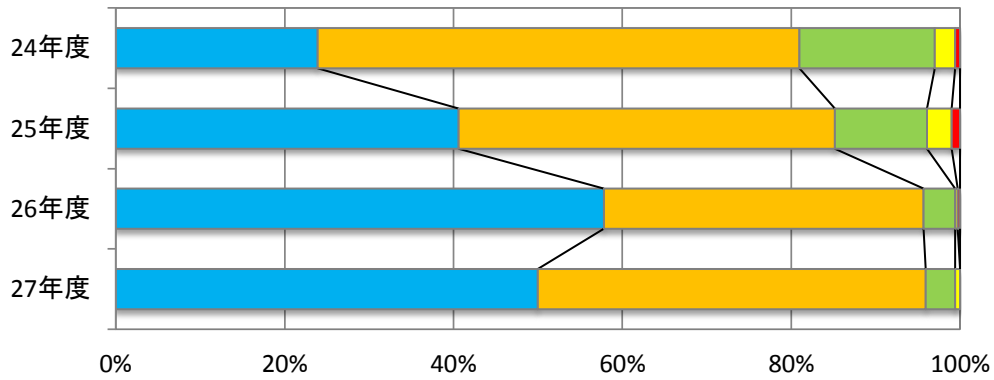
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	10.9	43.2	54.1	―
25年度	15.2	50.1	65.3	＋11.2
26年度	25.2	53.1	78.3	＋13.0
27年度	23.0	48.8	71.8	△ 6.5

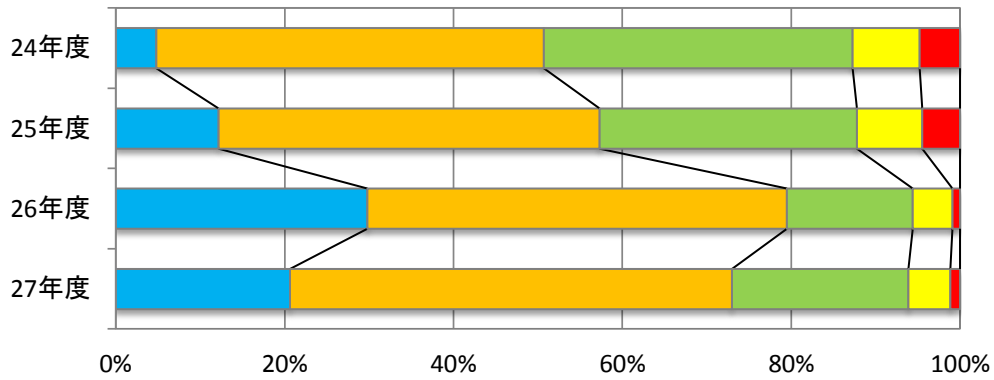
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	23.9	57.1	81.0	―
25年度	40.6	44.6	85.2	＋4.2
26年度	57.8	37.9	95.7	＋10.5
27年度	50.0	45.9	95.9	＋0.2

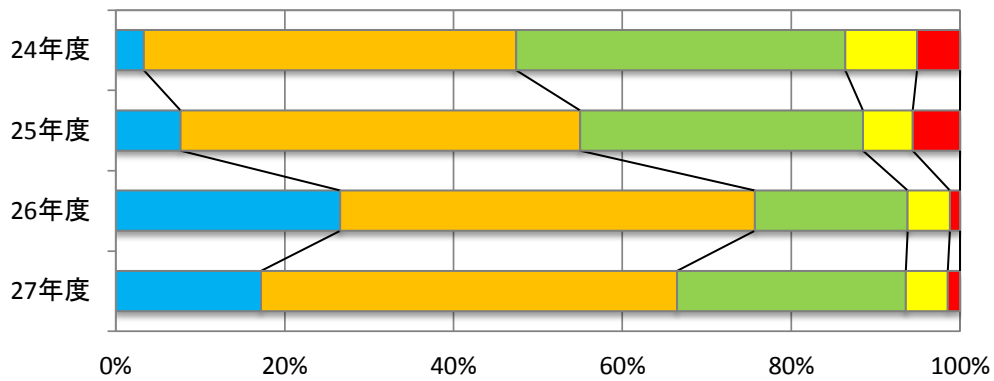
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	4.8	45.9	50.7	―
25年度	12.2	45.1	57.3	＋6.6
26年度	29.8	49.7	79.5	＋22.2
27年度	20.6	52.3	73.0	△ 6.5

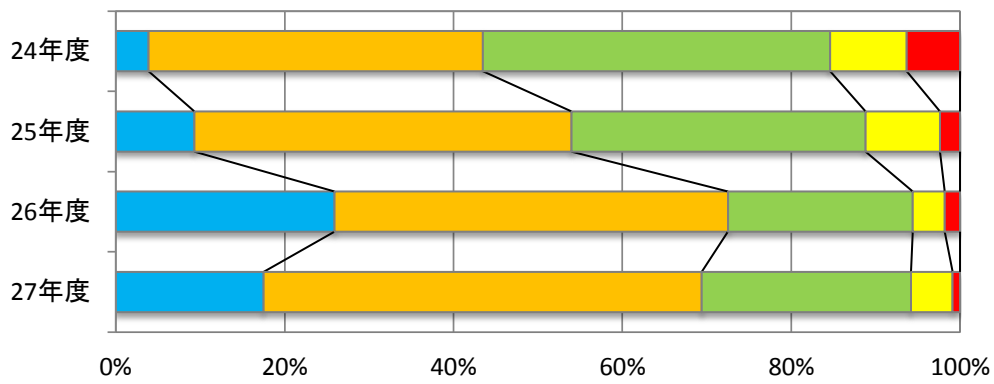
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	3.3	44.1	47.4	―
25年度	7.7	47.3	55.0	＋7.6
26年度	26.6	49.1	75.7	＋20.7
27年度	17.2	49.3	66.5	△ 9.2

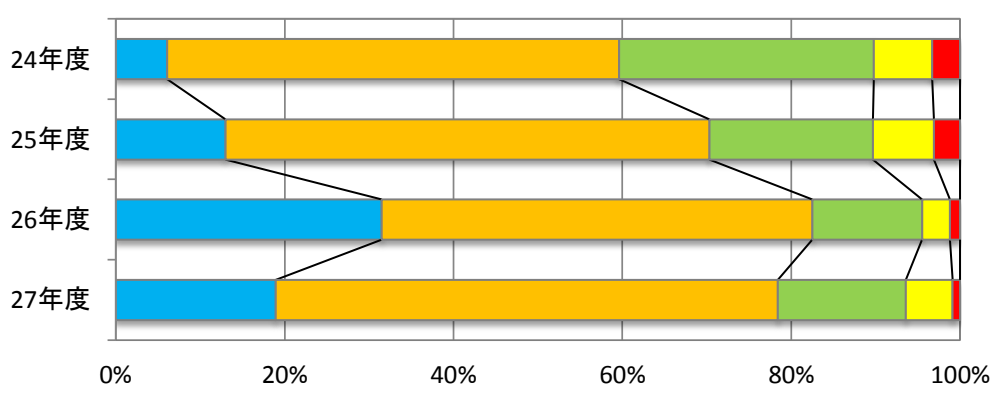
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	3.9	39.6	43.5	―
25年度	9.3	44.7	54.0	＋10.5
26年度	25.9	46.6	72.5	＋18.5
27年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.1

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	6.1	53.5	59.6	―
25年度	13.0	57.3	70.3	＋10.7
26年度	31.5	51.0	82.5	＋12.2
27年度	19.0	59.5	78.4	△ 4.1

平成27年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

〇全科目数 33科目　　**〇調査対象者数　198人（延人数）**
〇総回答数　　183人（回答率92.4％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は平成26年度集計結果】

（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(18.1)	(63.9)	(16.7)	(0.7)	(0.6)	(100.0)
		39.3	50.8	8.7	1.1	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(14.6)	(62.5)	(20.8)	(1.4)	(0.7)	(100.0)
		32.6	41.3	15.8	10.3	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(18.8)	(43.1)	(28.5)	(1.4)	(8.2)	(100.0)
		37.2	36.1	20.2	6.6	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(29.2)	(54.9)	(12.5)	(2.8)	(0.6)	(100.0)
		51.6	40.8	6.0	1.6	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(20.2)	(48.6)	(22.9)	(6.9)	(1.4)	(100.0)
		38.8	35.5	18.6	6.6	0.5	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(18.1)	(51.4)	(21.5)	(6.3)	(2.7)	(100.0)
		39.3	33.9	16.4	9.3	1.1	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(17.4)	(45.8)	(27.1)	(6.9)	(2.8)	(100.0)
		38.6	40.8	16.3	4.3	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(18.8)	(54.9)	(19.4)	(5.6)	(1.3)	(100.0)
		38.0	40.8	15.2	6.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成26年度	(19.4)	(53.1)	(21.2)	(4.0)	(2.3)	(100.0)
	平成27年度	39.4	40.0	14.6	5.7	0.2	100.0

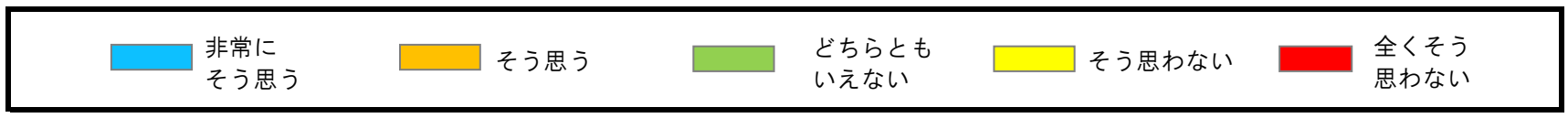
授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
高度実践助産コース

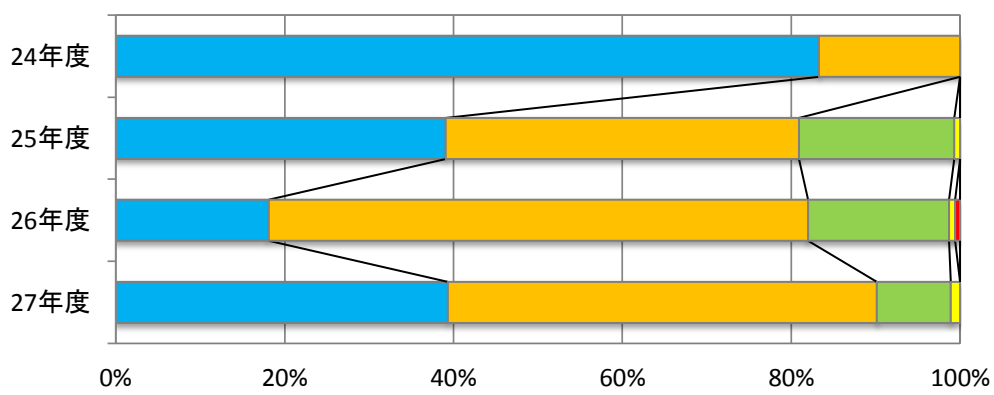
◆ 年度別 授業評価集計結果

	24年度	25年度	26年度	27年度
全科目数	28科目	28科目	31科目	33科目
調査対象者数（延人数）	178人	244人	205人	198人
総回答数（回答率）	12枚（6.7%）	141枚（57.8%）	144枚（70.2%）	183枚（92.4%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



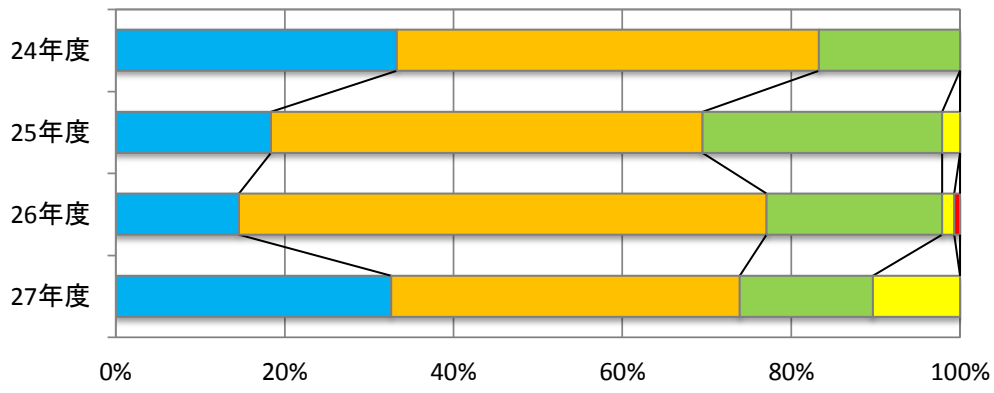
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	83.3	16.7	100.0	―
25年度	39.1	41.8	80.9	△ 19.1
26年度	18.1	63.9	82.0	＋1.1
27年度	39.3	50.8	90.2	＋8.2

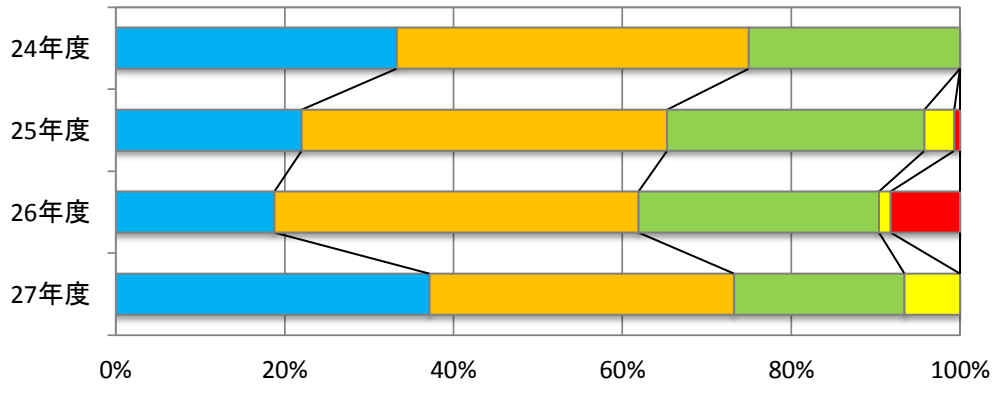
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	33.3	50.0	83.3	―
25年度	18.4	51.1	69.5	△ 13.8
26年度	14.6	62.5	77.1	＋7.6
27年度	32.6	41.3	73.9	△ 3.2

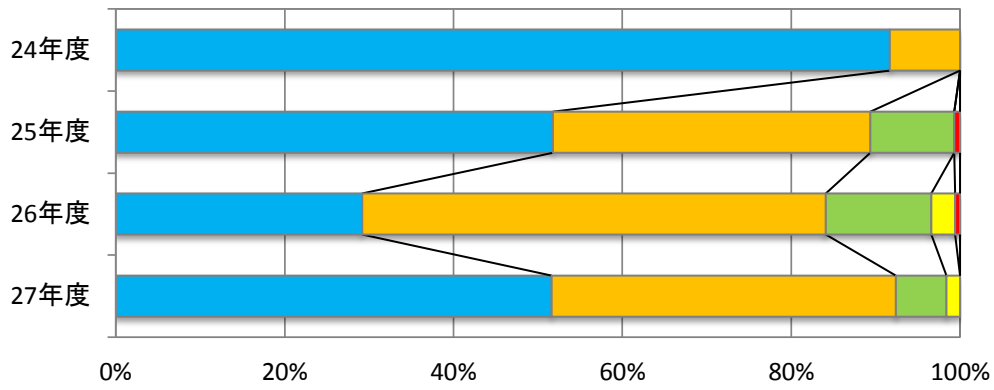
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	33.3	41.7	75.0	―
25年度	22.0	43.3	65.3	△ 9.7
26年度	18.8	43.1	61.9	△ 3.4
27年度	37.2	36.1	73.2	＋11.3

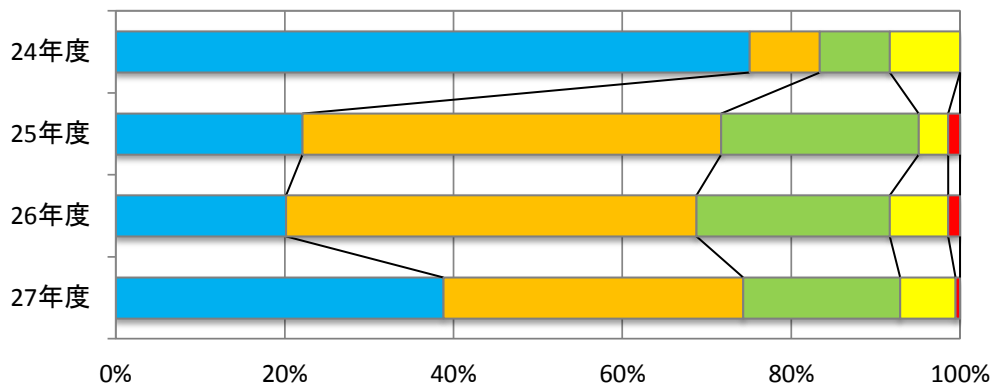
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	91.7	8.3	100.0	―
25年度	51.8	37.6	89.4	△ 10.6
26年度	29.2	54.9	84.1	△ 5.3
27年度	51.6	40.8	92.4	＋8.3

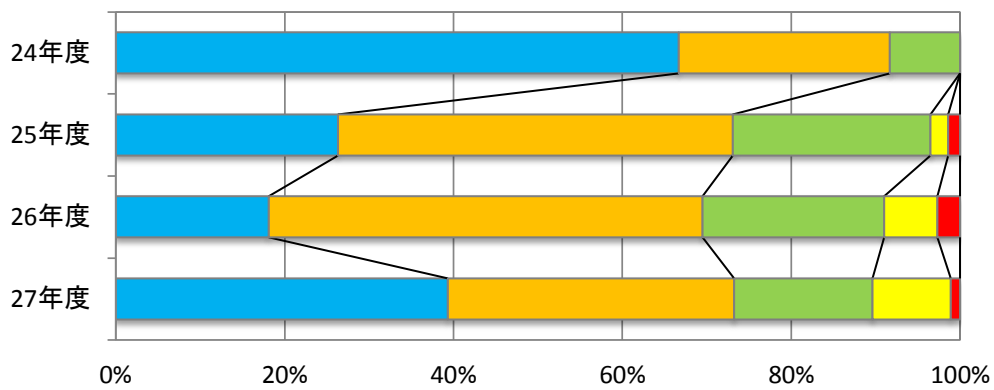
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.1	8.3	83.4	―
25年度	22.1	49.6	71.7	△ 11.7
26年度	20.2	48.6	68.8	△ 2.9
27年度	38.8	35.5	74.3	＋5.5

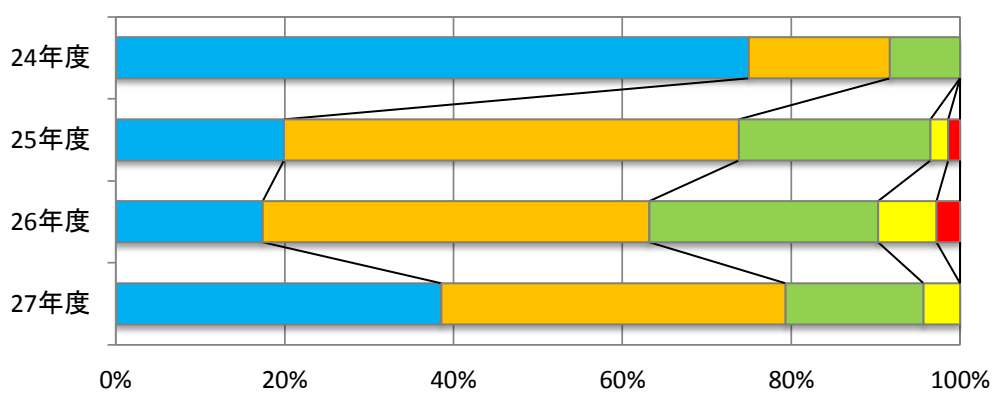
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	66.7	25.0	91.7	―
25年度	26.3	46.8	73.1	△ 18.6
26年度	18.1	51.4	69.5	△ 3.6
27年度	39.3	33.9	73.2	＋3.7

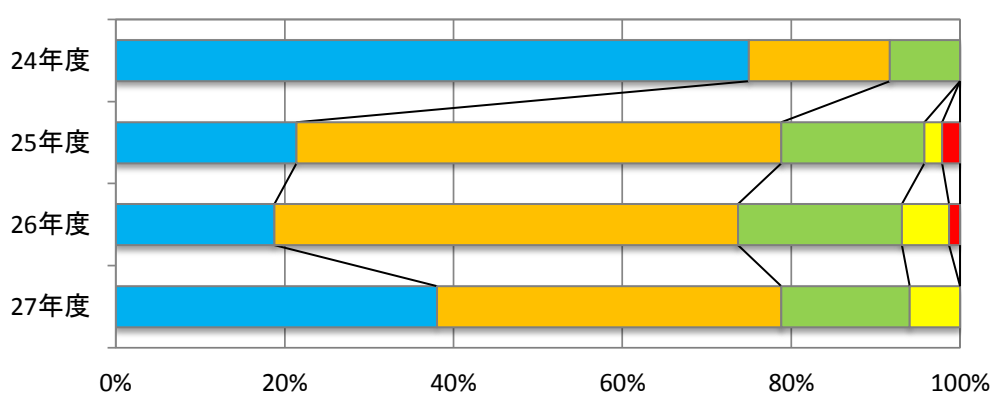
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.0	16.7	91.7	―
25年度	19.9	53.9	73.8	△ 17.9
26年度	17.4	45.8	63.2	△ 10.6
27年度	38.6	40.8	79.3	＋16.1

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
24年度	75.0	16.7	91.7	―
25年度	21.4	57.4	78.8	△ 12.9
26年度	18.8	54.9	73.7	△ 5.1
27年度	38.0	40.8	78.8	＋5.1

平成27年度　授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース

※平成26年度設置

〇全科目数 12科目　　**〇調査対象者数　22人**
〇総回答数　21枚（回答率95.5％）

◆ 質問項目別集計結果　【上段（）は平成26年度集計結果】

（%）

質　問　項　目		非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1．この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。		(19.4)	(58.0)	(19.4)	(3.2)	(0.0)	(100.0)
		33.3	61.9	4.8	0.0	0.0	100.0
2．授業内容をよく理解できたと思いますか。		(6.5)	(58.1)	(32.2)	(3.2)	(0.0)	(100.0)
		19.0	71.4	9.5	0.0	0.0	100.0
3．授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。		(16.1)	(38.7)	(45.2)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0
4．この授業内容は将来役に立つと思いますか。		(32.3)	(54.8)	(9.7)	(3.2)	(0.0)	(100.0)
		47.6	52.4	0.0	0.0	0.0	100.0
5．この授業は期待していた通りの内容でしたか。		(22.6)	(42.0)	(29.0)	(3.2)	(3.2)	(100.0)
		38.1	23.8	38.1	0.0	0.0	100.0
6．この授業の進め方は適切だったと思いますか。		(19.4)	(41.9)	(32.3)	(3.2)	(3.2)	(100.0)
		38.1	33.3	28.6	0.0	0.0	100.0
7．この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。		(19.4)	(45.2)	(29.0)	(6.4)	(0.0)	(100.0)
		38.1	33.3	28.6	0.0	0.0	100.0
8．この授業は総合的に満足できたと思いますか。		(25.8)	(45.2)	(22.6)	(6.4)	(0.0)	(100.0)
		42.9	33.3	23.8	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成26年度	(20.2)	(48.0)	(27.4)	(3.6)	(0.8)	(100.0)
	平成27年度	36.3	42.9	20.8	0.0	0.0	100.0

授業評価集計結果　年度別比較

東京医療保健大学大学院　看護学研究科　修士課程
看護科学コース
※平成26年度設置

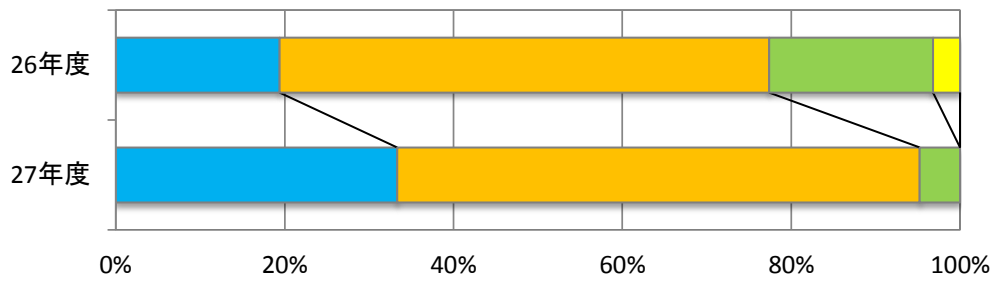
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度
全科目数	12科目	12科目
調査対象者数（延人数）	36人	22人
総回答数（回答率）	31枚（86.1%）	21枚（95.5%）

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

非常にそう思う　そう思う　どちらともいえない　そう思わない　全くそう思わない

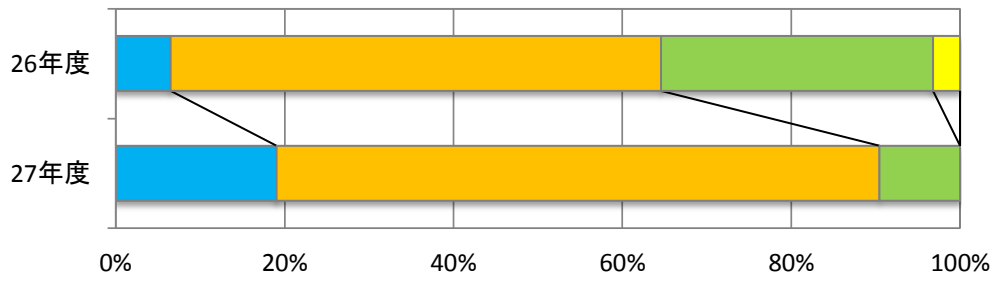
Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	58.0	77.4	－
27年度	33.3	61.9	95.2	＋17.8

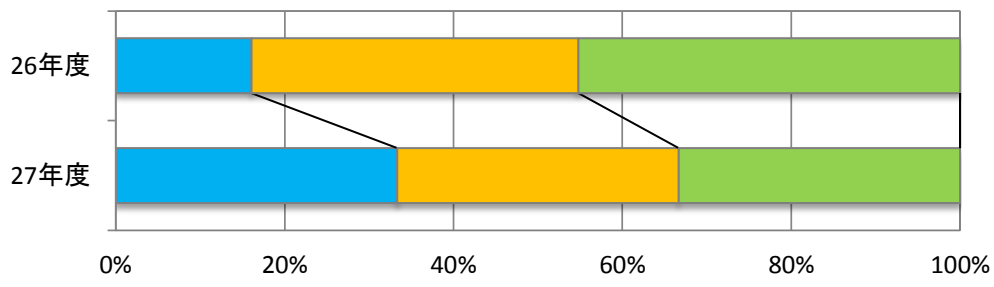
Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	6.5	58.1	64.6	－
27年度	19.0	71.4	90.5	＋25.9

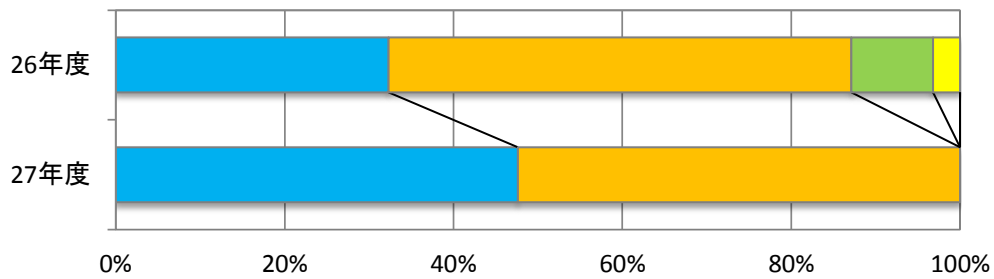
Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	16.1	38.7	54.8	－
27年度	33.3	33.3	66.7	＋11.9

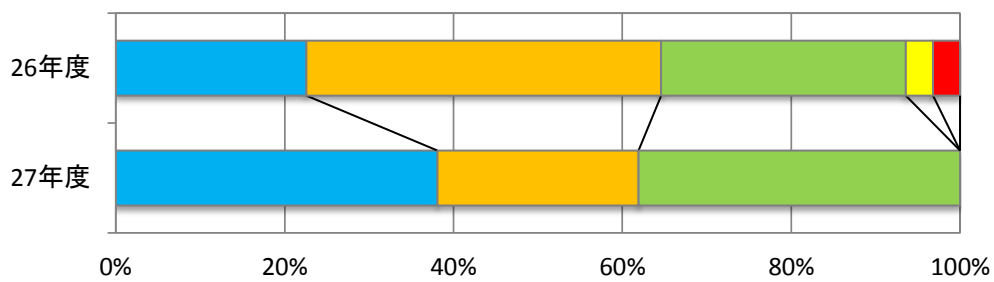
Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	32.3	54.8	87.1	－
27年度	47.6	52.4	100.0	＋12.9

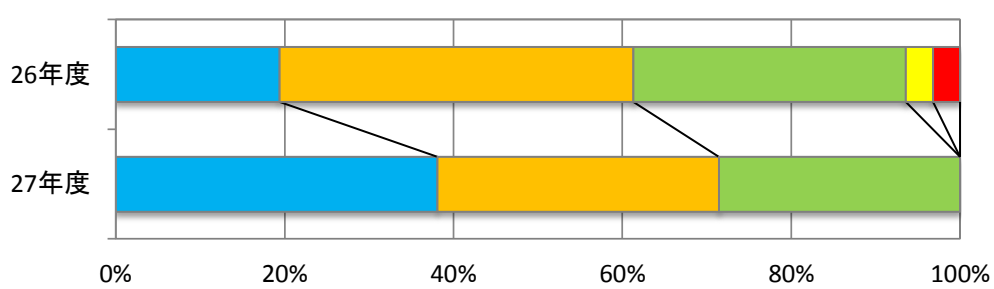
Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	22.6	42.0	64.6	－
27年度	38.1	23.8	61.9	△ 2.7

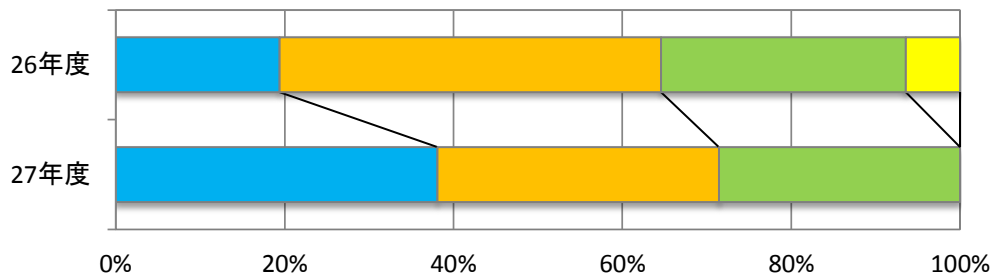
Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	41.9	61.3	－
27年度	38.1	33.3	71.4	＋10.1

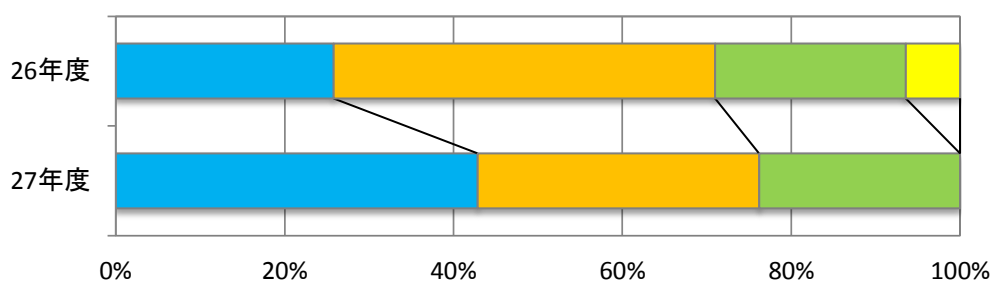
Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	45.2	64.6	－
27年度	38.1	33.3	71.4	＋6.8

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



（%）

	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.8	45.2	71.0	－
27年度	42.9	33.3	76.2	＋5.2